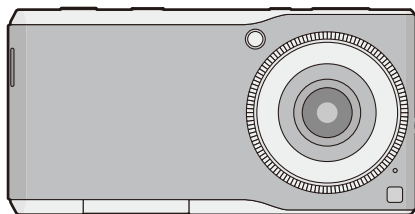


Panasonic®

取扱説明書 活用ガイド

デジタルカメラ

品番 **DMC-CM1**



LUMIX

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(付属冊子「取扱説明書」)を必ずお読みください。

困ったときは？

Q & A 故障かな？と思ったら

P180

目次

P2

さくいん

P191

最新のサポート情報は、下記サポートサイトでご確認ください。
<http://panasonic.jp/support/dsc/>

SQW0014-1
F0315WT1045

目次

1. はじめに

本書の見方	6
付属品	6
各部の名前と働き	7
ステレオヘッドセット(別売)	9
microSIMカード(別売)を入れる・取り出す	10
内蔵メモリー/microSDカード(別売)について	11
充電する	14
電源を入れる・切る	16
Android™ 初期設定	17
画面のロックを解除する	17

2. 基本操作

タッチパネルの使い方	18
画面の縦横表示を切り換える	20
ホーム画面	21
ステータスバー	23
通知パネル/クイックメニュー	24
操作アイコン	25
アプリの使い方	26
文字入力	28
基本設定	31

3. ネットワーク接続

モバイル通信接続	34
Wi-Fi® 通信接続	36
VPN接続	38
Wi-Fi テザリング設定	39
機内モードに設定する	40

4. カメラ

カメラをご利用になる前に	41
撮影の流れ	42
カメラ機能を使う	43
撮影画面の見方	44

写真を撮る.....	47
動画を撮る.....	48
撮影モードを選ぶ.....	51
ズーム・フラッシュ.....	79
コントロールリングを操作する.....	83
メニューを使って設定する.....	90
撮影メニューを使う.....	95
カスタムメニューを使う.....	115
カメラの基本的な設定をする (設定メニュー).....	121
5. ビューアー	
ギャラリー.....	123
6. Photo Search	
Photo Searchを起動する.....	126
7. 電話	
緊急通報をかける.....	129
電話をかける.....	129
電話を受ける.....	131
通話履歴.....	132
ボイスメール.....	133
電話番号通知.....	134
発信番号制限.....	134
8. 連絡帳	
連絡先を登録する.....	135
連絡先を表示する.....	136
連絡先を管理する.....	137
9. メール・メッセージ	
Eメール.....	139
Gmail™.....	142
Google ハングアウト™.....	143
10. ウェブブラウザ	
ウェブブラウザの起動.....	145
ブックマーク.....	148

11. Music

Google Play ミュージック™	149
---------------------------	-----

12. 地図

位置情報サービス	151
Google マップ™	152

13. その他のアプリ・機能

NFC	153
Google ドライブ™	153
Google キーボード™	155
カレンダー	158
YouTube™	160

14. Google Play

Google Play™ストア	161
アプリの削除	162
アクセス許可	163
提供元不明アプリのインストール	163

15. 外部機器接続

Bluetooth®通信	164
USB接続	167
印刷	169

16. 同期・バックアップ・リセット

アカウントの同期と削除	170
バックアップ	171
リセット	171

17. セキュリティ

画面ロック	172
SIMロック	173

18. アップデート

システムアップデート	174
------------------	-----

19. 設定一覧

設定一覧	176
------------	-----

20. その他・Q&A

Q & A 故障かな?と思ったら.....	180
使用上のお願い.....	186
さくいん	191

「取扱説明書 活用ガイド」は、下記サポートサイトでもご覧いただけます。
<http://panasonic.jp/support/dsc/>

1. はじめに

本書の見方

- 本文中やさしくいんの参照ページをクリックすると、該当ページへ移動します。
- Adobe Readerの画面上にある検索入力欄にキーワードを入力すると、入力したワードを検索し、該当ページへ移動します。
- お使いのAdobe Readerのバージョンによっては、操作方法などが異なる場合があります。

■ 本文中の記号について

- : お知らせを記載しています。
- : 上手に使うためのヒントやカメラでの撮影のポイントを記載しています。
- : カメラ撮影時に特定の機能が使えなくなる条件を記載しています。
- (P**): 参照ページを示しています。クリックするとそのページに移動します。

本書では、メニュー設定の手順を次のように説明しています。

ホーム画面 →  → 

付属品

記載の品番は 2015 年 1 月現在のものです。変更されることがあります。



ACアダプター
VSK0829

- microSIMカード、microSDカードは別売です。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

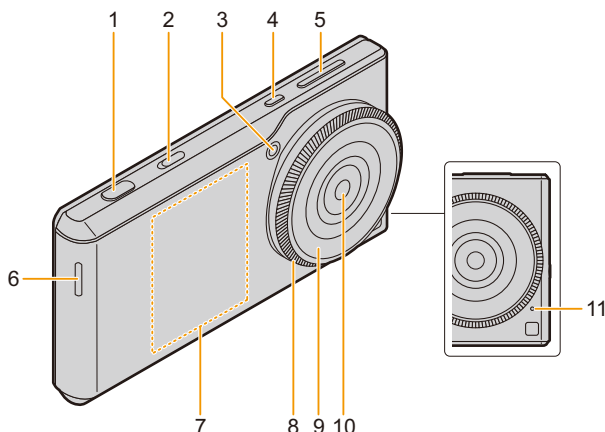
パナソニックグループの
ショッピングサイト



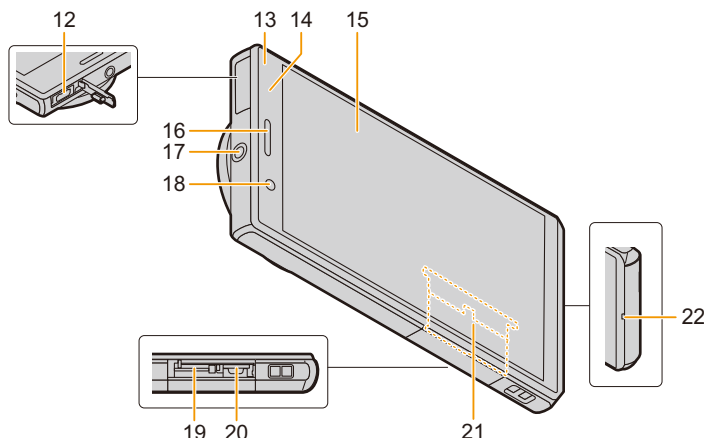
Panasonic Store

付属品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナソニック ス
トア」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナソニック ストア」のサイトをご覧ください。
<http://jp.store.panasonic.com/>

各部の名前と働き



1	シャッターボタン(P47) カメラで写真を撮影するときに押します。 半押し(軽く押す)でピントを合わせることができます。	6	スピーカー(P130) 着信音や音楽の再生音、ハンズフリー再生時に相手の声が聞こえます。
2	カメラ切替スイッチ(P43) カメラを起動、または終了します。	7	NFCアンテナ部(P153) NFCアンテナが内蔵されています。
3	フラッシュ発光部(P80)/ AF補助光ランプ(P117) カメラ撮影時に発光・点灯します。	8	コントロールリング(P83) カメラ撮影時に回すと、割り当てられた機能を使用できます。
4	[] ボタン(P16) 電源のON/OFFやスリープの設定/解除などができます。	9	レンズフロントリング(37 mm 径) (P187)
5	[]/[] ボタン (P32、120) 着信音量や受話音量、音楽などの音量を調整します。 カメラ機能の起動中は、撮影時によく使う機能を割り当てることができます。	10	アウトカメラ(P41) 写真や動画を撮影します。
		11	マイク (P41、130) 動画を撮影の際に音声を録音したり、通話相手が聞き取りやすいようにノイズを抑制します。 また、ハンズフリー通話時には自分の声をここから送ります。



12	microUSB端子 (P14、167) 充電時や外部機器と接続する際に使用します。	17	イヤホン端子(P9) ヘッドセット(別売)を接続します。
13	着信ランプ/充電ランプ (P14、177) 不在着信や新着メールがあるときに点滅し、充電時に点灯します。	18	インカメラ(P43) 写真や動画を撮影します。
14	光センサー/近接センサー 周囲の明るさを検知して画面の明るさを自動調整するセンサー、および通話中にタッチパネルの誤操作を防ぐためのセンサーです。 センサーの誤動作を防ぐためセンサー部分を手で覆ったりシールなどを貼ったりしないでください。	19	microSIMカード挿入口(P10) microSIMカードを挿入します。
15	ディスプレイ(P18) タッチパネルになっています。指で直接触れて操作します。	20	microSDカード挿入口(P11) microSDカードを挿入します。
16	受話口 相手の声都在这里から聞こえます。	21	銘板プレート 引き出し式の銘板です。移動体識別番号などが記載されています。
		22	送話口/マイク (P41、129) 動画を撮影の際に音声を録音したり、通話時には自分の声をここから送ります。

■ 移動体識別番号について

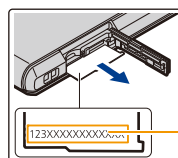
本機には固有の移動体識別番号があります。移動体識別番号の確認方法は以下のとおりです。

電子表示で確認する

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 [端末情報] → [端末の状態] → [IMEI]の項目を確認する

銘板プレートで確認する

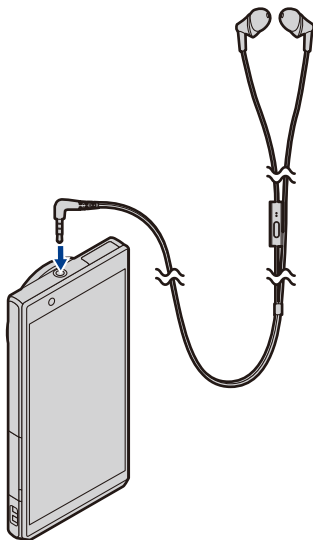
- 1 カード挿入口カバーを開く
- 2 SIMトレイを取り出す
- 3 銘板プレートを手前に引き出す
 - 強く引くと破損するおそれがありますので、お気をつけください。



移動体
識別番号

ステレオヘッドセット(別売)

音楽、動画を楽しむときなどにヘッドセット(別売)が利用できます。マイク付きヘッドセット(別売)であれば通話を行うこともできます。

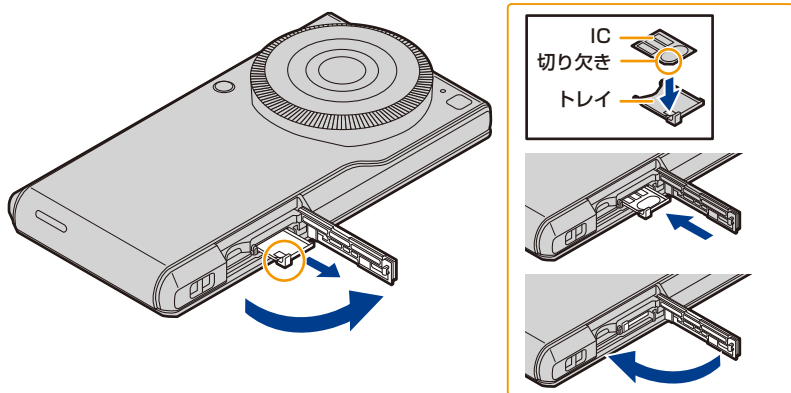


- ヘッドセット(別売)のプラグがイヤホン端子にしっかり差し込まれているか確認してください。

microSIMカード(別売)を入れる・取り出す

microSIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。microSIMカードを差し込まないと電話やメッセージ(SMS)の送受信などが行えません。

microSIMカードを付け外しする際には、IC部分に不用意に触れたり、傷をつけたりしないようにしてください。



- 1 本機のコントロールリング面を上に向けて、カード挿入口カバーを開く
- 2 トレイのつめに指先をかけ、まっすぐ水平に引き出す
- 3 microSIMカードのIC面を上にしてトレイに乗せる
●microSIMカードの切り欠きに気をつけて、正しい向きで乗せてください。
- 4 本機の向きを確認して、トレイをmicroSIMカード挿入口へまっすぐ水平に差し込む
- 5 カード挿入口カバーを閉じる

■ 取り出すときは

- 1 本機のコントロールリング面を上に向けて、カード挿入口カバーを開く
- 2 トレイのつめに指先をかけ、まっすぐ水平に引き出し、microSIMカードを取り外す
- 3 本機の向きを確認して、トレイをmicroSIMカード挿入口へまっすぐ水平に差し込む
- 4 カード挿入口カバーを閉じる

内蔵メモリー/microSDカード(別売)について

内蔵メモリーについて

- 容量: 約 10 GB
- microSDカードよりもアクセス時間が長い場合があります。
- 記録した画像はmicroSDカードにコピーすることができます。(P124)

本機で使用できるmicroSDカードについて

本機では、SD規格に準拠した以下のmicroSDカードが使用できます。
(本書では、これらをmicroSDカードと記載しています)

microSDメモリーカード (64 MB～2 GB)	●microSDHCメモリーカード、microSDXCメモリーカードは、それぞれの対応機器でのみ使用できます。 ●microSDXCメモリーカードをお使いの場合は、パソコンなどが対応しているかご確認ください。 ●対応する製造メーカーや容量など、最新の動作確認情報については下記サポートサイトをご確認ください。 http://panasonic.jp/support/dsc/ なお、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。 ●他の機器に接続時にmicroSDカードのフォーマットを促すメッセージが表示されることがありますが、フォーマットしないでください。
microSDHCメモリーカード (4 GB～32 GB)	
microSDXCメモリーカード (64 GB～128 GB)	

動画撮影とSDスピードクラスについて

動画の[画質設定](P49)によって必要なmicroSDカードが異なります。以下のSDスピードクラスに対応したmicroSDカードをお使いください。

- SDスピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。microSDカードのラベル面などでご確認ください。
- SDスピードクラスはmicroSDカードの性能であり、SDスピードクラスの性能のすべての動作を保証するものではありません。

[画質設定]	SDスピードクラス	表示の例
FHD/HD/ VGA/1:1	Class 4以上	CLASS 4 4
4K	Class 10	CLASS 10 10



- 内蔵メモリーやmicroSDカードに記録されたデータは電磁波、静電気、本機やmicroSDカードの故障などにより壊れたり消失することがあります。大切なデータはパソコンなどに保存することをお勧めします。

記録可能枚数・時間の目安

■ 記録可能枚数(写真:枚)

- 残り枚数が10000枚以上の場合は、[9999+]と表示されます。

画像横縦比 [3:2]、クオリティ [■] の場合

記録画素数	8 GB	32 GB	64 GB	128 GB
L(20M)	720	2910	5790	11600
M(10M)	1310	5310	10570	21190
S(5M)	2290	9250	18020	36100
XS(2.5M)	6010	24300	48660	97480

画像横縦比 [3:2]、クオリティ [RAW] の場合

記録画素数	8 GB	32 GB	64 GB	128 GB
L(20M)	220	920	1840	3690
M(10M)	260	1070	2150	4310
S(5M)	290	1170	2350	4700
XS(2.5M)	310	1270	2540	5100

■ 記録可能時間(動画撮影時)(h: 時間、m: 分、s: 秒)

- 記録可能時間は複数の動画を記録したときの合計時間です。

画質設定	8 GB	32 GB	64 GB	128 GB
4K 15p	20m58s	1h24m39s	2h49m30s	5h39m36s
FHD 30p	52m09s	3h30m35s	7h01m41s	14h04m49s
HD 30p	1h43m28s	6h57m44s	13h56m28s	27h55m49s
VGA 30p	4h12m27s	16h59m17s	34h01m00s	68h09m04s
1:1 30p	4h12m27s	16h59m17s	34h01m00s	68h09m04s

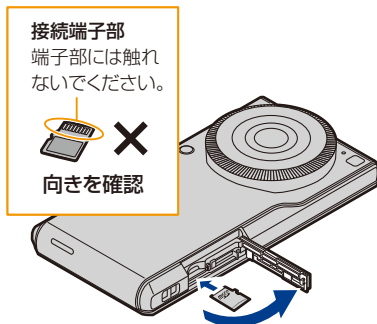
- 1つの動画として連続記録できる時間は29分59秒まで、ファイルサイズは4 GBまでです。記録できる時間は、画面で確認できます。([4K 15p]/[FHD 30p]では、ファイルサイズが大きくなるため、記録できる時間は29分59秒より短くなります)



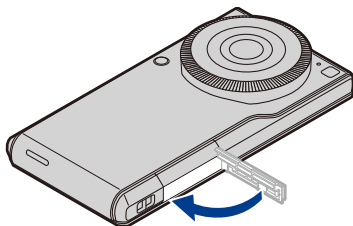
- 記録可能枚数・時間は目安です。(撮影条件、microSDカードの種類によって変化します)
- 被写体により記録可能枚数・時間は変動します。
- 画面には、連続して記録できる時間が表示されます。

microSDカードを入れる・取り出す

- 1 カード挿入口カバーを開き、microSDカードの接続端子部を下にして、向きに気を付けて「カチッ」と音がするまで確実に差し込む



- 2 カード挿入口カバーを閉じる



■ 取り出すときは

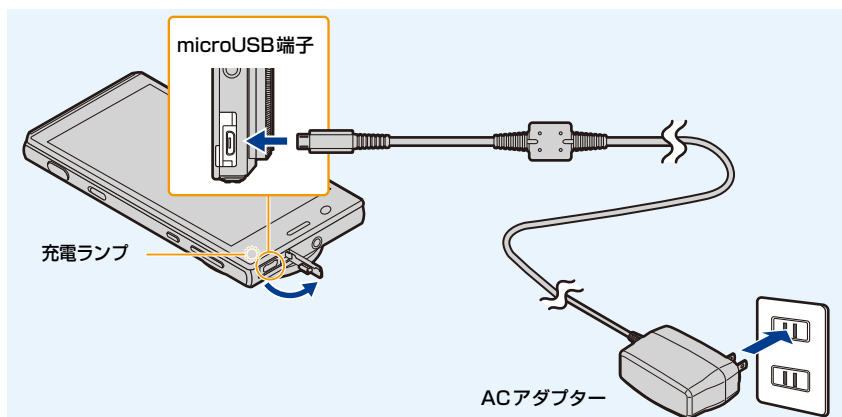
microSDカードを「カチッ」と音がするまで押し込み、まっすぐ引き抜く

充電する

- お買い上げ時、バッテリーは充電されていませんので、充電してからお使いください。

ACアダプターで充電する

本機とACアダプターをつなげて充電します。



- 1 microUSB端子カバーを開き、ACアダプターのケーブル端子の向きを確認して、microUSB端子に差し込む
- 2 ACアダプターの電源プラグをコンセントに差し込む

■ 充電が完了したら

- 1 ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜く
- 2 ACアダプターのケーブル端子を本機から抜く

- 充電中、本機やACアダプターが温かくなることがありますが、異常ではありません。
- ACアダプターの電源プラグやコンセントの形状は国/地域によって異なります。
- 付属のACアダプター以外は使わないでください。故障の原因になります。
- 電源プラグの接点部周辺に金属類(クリップなど)を放置しないでください。ショートや発熱による火災や感電の原因になります。

充電ランプの表示について

点灯：充電中

消灯：充電完了

- 電池が空の状態では充電を開始すると充電ランプが点滅することがありますが、異常ではありません。しばらく充電すると、充電ランプは点灯に変わります。

充電時間について

充電時間	約150分
------	-------

- 電池が空の状態では本機の電源を切って充電したときの目安です。本機の電源を入れたまま充電した場合、充電時間は長くなります。

電池が切れそうになると(充電お知らせ)

電池残量が15%を切ると、電池が残り少なくなっている旨のメッセージが表示され、充電をお知らせします。

電池残量がなくなると、電源を切る旨のメッセージが表示され、電源が切れます。

使用時間とカメラ撮影枚数の目安

- 本機の状態や使用環境などにより使用時間は異なります。

写真記録(条件はCIPA規格でプログラムAEモード時)

記録可能枚数	約300枚
撮影使用時間	約150分

CIPA規格による撮影条件

- CIPAは、カメラ映像機器工業会(Camera & Imaging Products Association)の略称です。
- 温度23℃/湿度50%RH、ディスプレイを点灯
- 当社製のmicroSDHCメモリーカード使用
- 電源を入れてから30秒経過後、カメラアプリを起動して撮影を開始
- 30秒間隔で1回撮影、フラッシュを2回に1回フル発光
- 10枚撮影ごとにカメラアプリを終了し、本体の温度が下がるまで放置

記録可能枚数は撮影間隔によって変わります。撮影間隔が長くなると記録可能枚数は減少します。
[例えば2分に1回撮影した場合は、上記(30秒に1回撮影)の枚数の約1/4になります]

動画撮影(画質設定を[FHD 30p]で撮影)

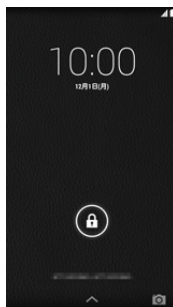
撮影可能時間	約130分
実撮影可能時間	約90分

- 1つの動画として連続記録できる時間は29分59秒まで、ファイルサイズは4GBまでです。記録できる時間は、画面で確認できます。([4K 15p]/[FHD 30p]では、ファイルサイズが大きくなるため、記録できる時間は29分59秒より短くなります)
- 温度23℃/湿度50%RHの環境下での時間です。時間は目安にしてください。
- 実撮影可能時間とは、カメラ機能の起動と終了、撮影の開始/終了などを繰り返したときに撮影できる時間です。

電源を入れる・切る

[] ボタンを2秒以上押して、電源を入れる

- しばらくすると、ロック画面が表示されます。(P17)
- 初めて電源を入れた場合は、初期設定画面が表示されます。(P17)
- 電源が入った状態で[] ボタンを押すとスリープ/スリープ解除が行えます。



■ 電源を切るときは

[] ボタンを1秒以上押す → [電源を切る] → [OK]

■ 再起動するとき

[] ボタンを1秒以上押す → [端末を再起動する] → [OK]

Android™ 初期設定

お買い上げ後、初めて本機の電源を入れた場合は、画面の指示に従って言語やWi-Fi®の設定を行います。

1 言語を選択 → [■]

2 画面の指示に従って各種設定する

3 各種設定後、診断情報についての説明を確認 → [許可しない]/[許可する]

- システムアップデート時やエラーが発生した場合などに、解決が必要な情報や端末の状態に関する情報が製造元へと送信されます。この情報は端末の品質・サービスの向上のみに利用されます。データを送信する際にデータ通信料が発生することがあります。
- 初期設定が完了するとチュートリアル画面が表示されます。
画面の内容を確認しながら[OK]をタップします。

- 本機はネットワーク上の日時を取得して自動的に日付と時刻を設定しますが、ご使用の環境によっては設定されない場合があります。その場合は手動で設定してください。(P31)

画面のロックを解除する

[

- [画面のロック]で設定を変更している場合は、設定した解除方法を行います。



2. 基本操作

タッチパネルの使い方

本機のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

- お買い上げ時にタッチパネルに貼られているシートをはがしてからお使いください。
- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの(爪/ボールペン/ピンなど)を押し付けたりしないでください。
- 以下の場合にはタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでお気をつけください。
 - －手袋をしたままでの操作
 - －爪の先での操作
 - －異物を操作面に乗せたままでの操作
 - －保護シートやシールなどを貼ったままでの操作
 - －タッチパネルがぬれたままでの操作
 - －指が汗や水などでぬれた状態での操作

タップ

項目やアイコンをトンとたたいて選びます。



ダブルタップ

ウェブページを拡大したいときなどに素早く2回続けてタップします。



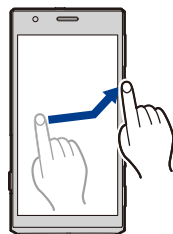
ロングタッチ

項目やアイコンを指で押さえたままにします。ポップアップメニューなどを表示する場合に使用します。



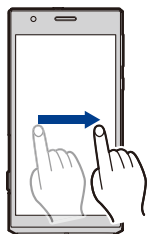
フリック

複数の写真があるときなどに画面を素早く払うように触れると、前後の写真に切り換わります。



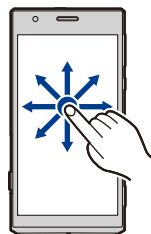
ドラッグ

項目やアイコンを指で押さえながら移動します。



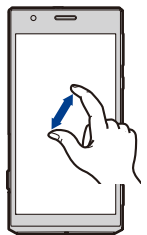
スクロール

画面を上下左右方向にフリック/ドラッグして、隠れている部分を表示します。



ピンチ

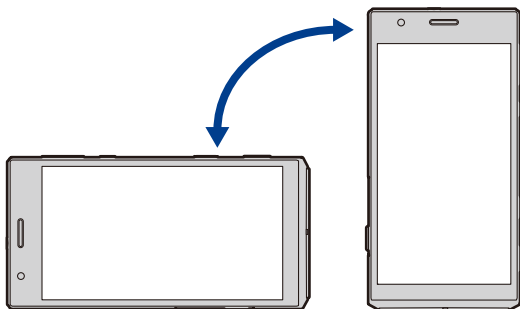
ウェブページや写真などを表示中に、画面を2本の指で広げる(ピンチアウト)と拡大し、つまむ(ピンチイン)と縮小します。



●使用するアプリによっては、操作が異なる場合や操作できない場合があります。

画面の縦横表示を切り換える

本機の向きや動きを検知するモーションセンサーによって、本機を縦または横に持ち替えて画面表示を切り換えることができます。



- 使用するアプリなどによっては、画面表示が切り換わらない場合があります。

ホーム画面

ホーム画面はアプリを使用するためのメイン画面です。他の画面を表示しているときは[]をタップするとホーム画面が表示されます。



- ❶ Google 検索™
- ❷ ショートカット、ウィジェット、フォルダーを配置できます。
- ❸ ホーム画面には複数のページがあり、現在のページを表しています。左右にフリックするとページを切り換えることができます。
- ❹ よく使うショートカット、フォルダー
よく使うショートカットなどをドラッグして格納します。
- ❺ アプリ一覧を表示します。(P27)

ホーム画面操作

■ アプリを起動する

アプリアイコンをタップする

■ ホーム画面のアイテムを移動する

- 1 アイテムをロングタッチする
- 2 配置したい場所にドラッグする
 - アイテムを画面の端までドラッグすると別のページが表示されます。

■ ホーム画面にウィジェットを追加する

- 1 背景部分をロングタッチ → 
- 2 追加したいウィジェットをロングタッチする
- 3 配置したい場所にドラッグする

■ ホーム画面にショートカットを追加する

- 1  をタップする
- 2 追加したいアプリをロングタッチする
- 3 配置したい場所にドラッグする

■ フォルダーを作成する

- 1 アイテムをロングタッチする
- 2 別のアイテムにドラッグする

■ フォルダーの名前を変更する

- 1 フォルダーのショートカットをタップする
- 2 フォルダー名をタップ → フォルダー名を入力
 - 新規作成したフォルダーの名前は[名前のないフォルダ]になっています。

■ ホーム画面のアイテムを削除する

- 1 アイテムをロングタッチする
- 2 画面上部の[削除]にドラッグする

■ ホーム画面の壁紙を変更する

- 1 背景部分をロングタッチ → 
- 2 変更したい壁紙を選ぶ
- 3 [壁紙を設定]をタップする

ステータスバー

ステータスバーには本機の状態を示すステータスアイコンと通知アイコンが表示されます。



■ 主なステータスアイコン一覧

	電波状態		機内モードON
	ローミング		Bluetooth®機能ON
	GPRS使用可能		Bluetooth機器接続中
	EDGE使用可能		microSIMカード未挿入
	3G使用可能		Wi-Fi接続中
	LTE使用可能		バイブレーションON
	ハイスピードパケット使用可能		サイレントモードON
	バッテリーレベル		アラーム設定中
	充電中		ミュート
	GPS測位中		スピーカーフォンON

■ 主な通知アイコン

	新着Gmail™		エラーメッセージ
	新着Eメール		不在着信
	新着インスタントメッセージ		通話中
	新着ボイスメール		通話保留中
	データ同期中		ダウンロード中
	Wi-Fi使用可能		アップロード中
	Google Play™ストアからの通知		



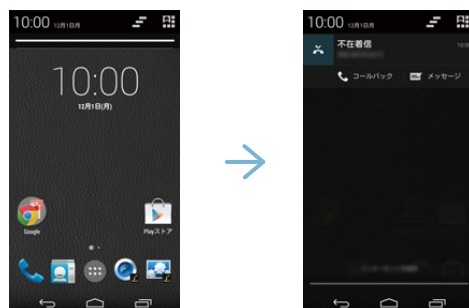
- 使用するアプリによっては、しばらく操作しないとステータスバーが消えることがあります。画面をタップするとステータスバーが表示されます。

通知パネル/クイックメニュー

通知パネル

通知パネルでは、不在着信や新着メールなどの通知内容を確認できます。

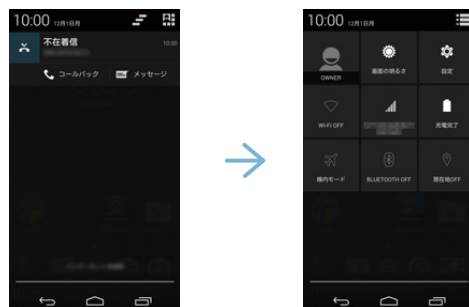
ステータスバーを下にドラッグする



クイックメニュー

クイックメニューから各種設定を変更したり、プロフィールの確認などが行えます。

1 通知パネル画面で[設定]をタップする

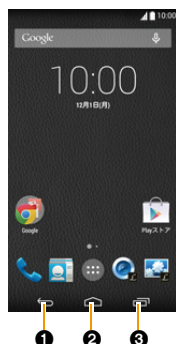


2 各種設定をタップする

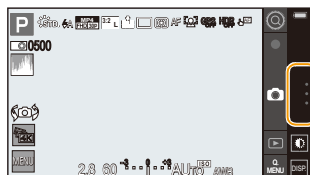
- クイックメニュー画面で[設定]をタップすると、通知パネル画面に戻ります。

操作アイコン

画面の下部には操作アイコンが表示されます。



- ❶ 直前の画面に戻ります。
 - ❷ ホーム画面を表示します。
 - ❸ 最近使用したアプリをサムネイルで表示します。サムネイルをタップするとアプリを起動できます。
 - サムネイル表示中に[✕]をタップすると、最近使用したアプリをクリアできます。
- ✎
- 使用するアプリによっては、しばらく操作しないと操作アイコンが消えることがあります。画面をタップすると操作アイコンが表示されます。
 - カメラアプリの画面では、画面の右端を左にフリックすると操作アイコンが表示されます。



アプリの使い方

アプリを起動する

- 1 ホーム画面 → [
- 2 起動したいアプリをタップする

アプリを終了する

[



- アプリによっては、終了せずに一時停止したりバックグラウンドで動作したりします。

アプリのオプションメニューを表示する

アプリ起動中に[



- アプリによっては、操作が異なる場合やオプションメニューがない場合があります。

■ アプリ一覧

	カメラ	詳しくは、41 ページをお読みください。
	Google カレンダー™	詳しくは、158 ページをお読みください。
	ギャラリー	詳しくは、123 ページをお読みください。
	ダウンロード	ダウンロードしたファイルを表示できます。
	Google ドライブ™	詳しくは、153 ページをお読みください。
	Google ハングアウト™	詳しくは、143 ページをお読みください。
	Google マップ™	詳しくは、152 ページをお読みください。
	メール	詳しくは、139 ページをお読みください。
	Google 音声検索™	本機内のアプリやウェブページの情報を音声で検索できます。
	時計	時刻を表示したり、アラームやタイマーなどを利用したりできます。
	写真	撮影した写真や動画を表示します。
	設定	詳しくは、176 ページをお読みください。
	電卓	四則計算などができます。
	電話	詳しくは、129 ページをお読みください。
	連絡帳	詳しくは、135 ページをお読みください。
	Google Chrome™	詳しくは、145 ページをお読みください。
	Google アース™	世界中の衛星写真を閲覧できます。
	Gmail	詳しくは、142 ページをお読みください。
	Google 検索™	本機内のアプリやウェブページの情報を検索できます。
	Google+™	他のユーザーと近況や写真などを共有したり、ハングアウトを利用してチャットを行ったりできます。
	Google 設定™	Google™ 関連サービスの設定ができます。
	Google キープ™	詳しくは、155 ページをお読みください。
	Photo Search	詳しくは、126 ページをお読みください。
	Google Play ゲーム™	Play ストア上でゲームを楽しめます。
	Google Play ニューススタンド™	Play ニューススタンド上で気になるニュースをまとめてチェックすることができます。
	Google Play ストア	詳しくは、161 ページをお読みください。
	Google Play ブックス™	Play ストア上で電子書籍を購入して、Play ブックスで閲覧できます。
	Google Play ミュージック™	詳しくは、149 ページをお読みください。
	Google Play ムービー&TV™	Play ストア上の映画やテレビ番組を購入して、Play ムービーで視聴できます。
	Wnn Keyboard Lab	キーボードの設定をします。
	YouTube™	詳しくは、160 ページをお読みください。
	4K フリ連写	詳しくは、50 ページをお読みください。
	4K Photo 切り出し	詳しくは、125 ページをお読みください。

- アプリ一覧には複数のページがあります。左右にフリックするとページを切り換えることができます。
 - 本機に搭載されているアプリケーションは、バージョンアップによって、予告なく追加や変更される場合があります。
- また、アプリケーションの操作方法や画面表示が変更される場合があります。

文字入力

キーボードはテキストボックスをタップしたときなどに自動的に表示されます。



- 使用しているアプリや言語、選んでいるテキストボックスによって、キー配列が異なる場合や入力できる文字や記号の種類が制限される場合があります。

入力方法を選ぶ

利用する言語によって入力方法を選べます。

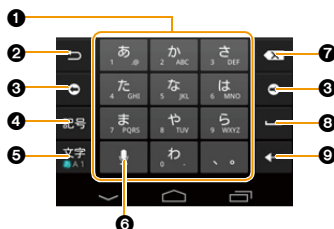
- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 [言語と入力] → [デフォルト]
- 3 利用したい入力方法を選ぶ

Wnn Keyboard Lab を利用する

Wnn Keyboard Labでは、日本語をかな入力するテンキーモードと、日本語をローマ字入力するPCキーモードがあります。

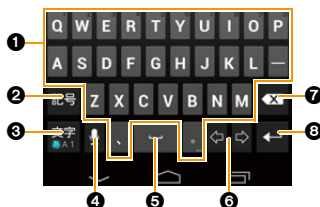
モードを切り換えるには、文字入力中に[**文字**]をロングタッチして[テンキー⇄フルキー]をタップします。

テンキーモード



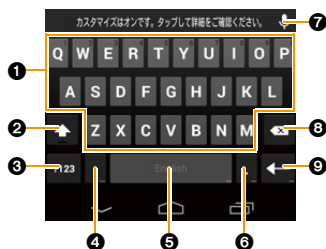
- ① タップやフリックをして文字を入力します。
同じキーを続けてタップすると文字が切り換わります。
- ② 文字入力中にタップすると文字が逆順で切り換わります。
- ③ カーソルを移動します。
- ④ 絵文字や記号、顔文字を入力します。
文字入力中に[**絵文字**]をタップすると、英字、数字、カタカナに変換できます。
- ⑤ タップすると入力する文字の種類が切り換わります。
- ⑥ 音声入力を行います。
- ⑦ カーソルの左側の文字を削除します。
- ⑧ スペースを入力します。文字入力中にタップすると文字を変換できます。
- ⑨ 改行します。文字入力中にタップすると文字を確定します。

フルキーモード



- ① タップして文字を入力します。
- ② 絵文字や記号、顔文字を入力します。
- ③ タップすると、入力する文字の種類が切り換わります。
- ④ 音声入力を行います。
- ⑤ スペースを入力します。文字入力中にタップすると文字を変換できます。
- ⑥ カーソルを移動します。
- ⑦ カーソルの左側の文字を削除します。
- ⑧ 改行します。文字入力中にタップすると文字を確定します。

Google キーボードを利用する



- ① タップして文字を入力します。
- ② タップして大文字と小文字を切り換えます。ダブルタップすると caps ロックをかけることができます。
- ③ 入力する文字の種類が切り換わります。
- ④ タップして文字を入力します。ロングタッチすると入力オプション設定が行えます。
- ⑤ タップしてスペースを入力します。
- ⑥ タップして文字を入力します。ロングタッチすると記号を入力できます。
- ⑦ タップして音声入力を行います。
- ⑧ カーソルの左側の文字を削除します。
- ⑨ タップすると改行します。ロングタッチすると絵文字を入力できます。

基本設定

日時設定

■ 日付、時刻、タイムゾーンを設定する

- 1 ホーム画面 → [- 2 [日付と時刻] をタップする
- 3 自動で日付と時刻を設定するには
[日付と時刻の自動設定]と[タイムゾーンの自動設定]にチェックを入れる
● これで設定は完了です。

手動で日付と時刻を設定するには
[日付と時刻の自動設定]と[タイムゾーンの自動設定]のチェックを外し、次の手順に進む
- 4 [日付設定] → 日付を設定 → [完了]
- 5 [時刻設定] → 時刻を設定 → [完了]
- 6 [タイムゾーンの選択] → タイムゾーンを選ぶ



- 日付と時刻が自動で補正されない場合は、手動で設定してください。
- 正しい時刻が設定されていない場合、アプリによっては正しく動作しないことがあります。

■ 12時間表示と24時間表示を切り換える

- 1 ホーム画面 → [- 2 [日付と時刻] → [24時間表示]のチェックを入れる/外す

音・バイブレーション設定

■ 音量を調整する

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 [音] → [音量] → 調節したい音のスライダーを左右にドラッグ → [OK]
 - [▲] ボタン/[▼] ボタンを押しても着信音の音量を調節できます。

■ 電話着信音を変更する

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 [音] → [着信音] → 着信音を選ぶ → [OK]

■ 着信バイブレーションをON/OFFする

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 [音] → [着信時のバイブレーション] にチェックを入れる/外す

■ タッチ操作音をON/OFFする

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 [音] → [タッチ操作音] にチェックを入れる/外す



- [タッチ操作音] を設定していても、カメラ機能の動作中はOFFになります。

■ タッチ操作バイブレーションをON/OFFする

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 [音] → [タッチ操作バイブ] にチェックを入れる/外す

■ バイブレーションモードに設定する

[] ボタンを1秒以上押す → 

- [▼] ボタンを数回押す、またはサイレントモードで [▲] ボタンを押しても設定できます。
- 解除するには、[] ボタンを1秒以上押して [] または [] をタップするか、[▲] ボタン/[▼] ボタンを押します。

■ サイレントモードに設定する

[] ボタンを1秒以上押す → 

- [▼] ボタンを数回押しても設定できます。
- 解除するには、[] ボタンを1秒以上押して [] または [] をタップするか、[▲] ボタンを押します。

画面設定

■ 表示言語を変更する

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 [言語と入力] → [言語] → 利用したい言語を選ぶ

■ 画面の明るさを変更する

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 [ディスプレイ] → [画面の明るさ] → スライダーを左右にドラッグして明るさを変更する
 - [オート]をタップすると、周囲の明るさに応じて自動で画面の明るさを調節します。



- 画面を明るくすると、電池の消費が多くなります。

■ スリープモードになるまでの時間を設定する

無操作の状態が続いたときに、自動的にスリープモードになるまでの時間を設定します。

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 [ディスプレイ] → [スリープ] → 時間を選ぶ



- [] ボタンを押すと、設定した時間に関わらずスリープモードにできます。

アカウント設定

■ アカウントを追加する

アカウントを追加することで、Googleなどのサービスでデータを同期できます。

- Googleアカウントを設定すると、Playストアからアプリのダウンロードが行えたり、各種データのバックアップなどが行えます。Googleアカウントを設定することをお勧めします。

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 [アカウントを追加] → 追加したいサービスをタップ
 - 以降、画面に従いアカウント情報を入力します。

■ データの同期をON/OFFする

アカウントごとに各データの同期をON/OFFできます。

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 アカウントのサービスをタップする
 - サービスによってはさらにアカウントをタップする必要があります。
- 3 各データにチェックを入れる/外す

3. ネットワーク接続

モバイル通信接続

メールやメッセージ、インターネットへのアクセスをするために2G/3G/LTEネットワークを利用できます。

ほとんどの通信事業者の場合は、microSIMカードを挿入すると自動で接続先が設定されます。

自動設定されない場合は、手動でアクセスポイントを設定する必要があります。アクセスポイントの設定時に必要な情報については、ネットワーク契約を結んだ通信事業者にお問い合わせください。

アクセスポイントを設定する

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 [その他...] → [モバイルネットワーク] → [アクセスポイント名] → []
- 3 [名前] → 作成する設定の名前を入力 → [OK]
- 4 [APN] → アクセスポイント名を入力 → [OK]
- 5 以降、必要な情報を入力する
 - 入力する内容は、通信事業者によって異なります。
- 6 [] → [保存]

利用中のアクセスポイントを確認する

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 [その他...] → [モバイルネットワーク] → [アクセスポイント名]
 - 複数のアクセスポイントが設定されている場合は、現在接続されているアクセスポイントにチェックマークが付いています。

モバイルネットワーク詳細設定

■ モバイル通信接続を無効にする

2G/3G/LTEネットワークの通信を無効にします。不本意なダウンロードや同期を避けることができます。

- Wi-Fiネットワークの設定は変更されません。

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 [その他...] → [モバイルネットワーク]
- 3 [データ通信を有効にする]のチェックを外す

■ データローミングを設定する

データローミングを有効にすると、契約している通信事業者が圏外の場合でも他の通信事業者のネットワークを使用して通信することができます。

詳しくは、通信事業者にお問い合わせください。

- データローミング料金が発生します。アプリによっては通知することなくデータ通信を行う場合があります。

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 [その他...] → [モバイルネットワーク]
- 3 [データローミング]にチェックを入れる

■ 優先ネットワークタイプを設定する

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 [その他...] → [モバイルネットワーク] → [優先ネットワークタイプ] → 項目を選ぶ

■ 手動で通信事業者を選ぶ

旅行中など特定の通信事業者を選んで接続できます。

手動で通信事業者を選んだ場合、選んだ通信事業者が圏外になったときに、自動で他の通信事業者に接続しなくなります。

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 [その他...] → [モバイルネットワーク] → [通信事業者]
 - ネットワークの検索が始まります。しばらくお待ちください。
- 3 ネットワークを選ぶ
ネットワークを再検索するには「ネットワークを検索」をタップします。

■ 自動で通信事業者を選ぶ

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 [その他...] → [モバイルネットワーク] → [通信事業者]
 - ネットワークの検索が始まります。しばらくお待ちください。
- 3 [自動的に選択]をタップ

Wi-Fi® 通信接続

本機はWi-Fi通信接続に対応しています。無線LANサービスを利用してメールやインターネットなどを利用できます。

Wi-FiをONにする

1 ホーム画面 → [] → []

2 [Wi-Fi] をONにする

- すでに接続の設定が完了している場合は、ステータスバーに[]が表示されます。



- Wi-FiをONにすると、モバイル通信接続が有効なときでもWi-Fi接続が優先されます。
- Wi-FiをOFFにすると自動でモバイル通信接続に切り換わります。

Wi-Fiネットワークに接続する

1 ホーム画面 → [] → []

2 [Wi-Fi] をタップする

- 検出されたWi-Fiネットワークが一覧で表示されます。

3 Wi-Fiネットワークを選ぶ

- セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークを選んだ場合、パスワード(セキュリティキー)を入力して[接続]をタップします。
- 目的のWi-Fiネットワークが表示されない場合は、手でWi-Fiネットワークを追加してください。(P37)



- 一度Wi-Fiネットワークに接続すると、次回から同じWi-Fiネットワークの圏内に入ったときに自動でWi-Fiネットワーク接続に切り換わります。
- Wi-Fiネットワークによっては、ウェブページにアクセスするときにユーザー名とパスワードの入力が必要となる場合があります。詳しくはネットワーク管理者にお問い合わせください。

■ Wi-Fiネットワークを手動で追加する

Wi-Fiネットワークによっては自動で検出されないものがあります。その場合は、手動でWi-Fiネットワークを追加してください。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 [Wi-Fi] → []
- 3 ネットワークSSIDを入力する
- 4 必要に応じてセキュリティの種類を選び、パスワードを設定 → [保存]

■ 接続中のWi-Fiネットワークを切断する

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 [Wi-Fi] → 接続中のWi-Fiネットワークをタップ → [切断]

Wi-Fi通信設定

■ Wi-Fiネットワーク通知を有効にする

Wi-Fiのオープンネットワークが検出されたら通知するように設定します。

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 [Wi-Fi] → [] → [詳細設定] → [ネットワークの通知] にチェックを入れる

■ スリープモード時のWi-Fi接続を設定する

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 [Wi-Fi] → [] → [詳細設定]
- 3 [画面OFF時の動作] をタップ → 項目を選ぶ

VPN接続

企業や学校などでVPN(Virtual Private Network:仮想プライベートネットワーク)を使用している場合、本機でVPNを利用するには設定を行う必要があります。

設定時に入力する内容は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

VPNに接続する

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 [その他...] → [VPN]
- 3 接続したいVPNをタップする
- 4 必要な認証情報を入力 → [接続]
 - ステータスバーに [] が表示されます。

VPNを追加する

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 [その他...] → [VPN] → []
- 3 ネットワーク管理者の指示に従って各項目を設定 → [保存]

VPNを切断する

通知パネルを開く → VPN接続中を示す通知をタップする → [切断]

Wi-Fi テザリング設定

本機をWi-Fiアクセスポイントとして利用することで、無線LAN対応のパソコンなどをインターネットに接続させることができます。

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 [その他...] → [テザリング] → [Wi-Fiアクセスポイントを設定]
- 3 ネットワークSSID、セキュリティ、パスワードを設定 → [保存]
- 4 [Wi-Fi テザリング]にチェックを入れる
 - ステータスバーに[]が表示されます。

■ Wi-Fi テザリングを停止する

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 [その他...] → [テザリング]
- 3 [Wi-Fi テザリング]のチェックを外す

機内モードに設定する

航空機器などの妨げにならないように本機のワイヤレス通信機能をすべて無効にします。

1 ホーム画面 → [] → []

2 [その他...] → [機内モード]のチェックを入れる

- ステータスバーに[]が表示されます。
- []ボタンを1秒以上押して[機内モード]をタップしても設定できます。

4. カメラ

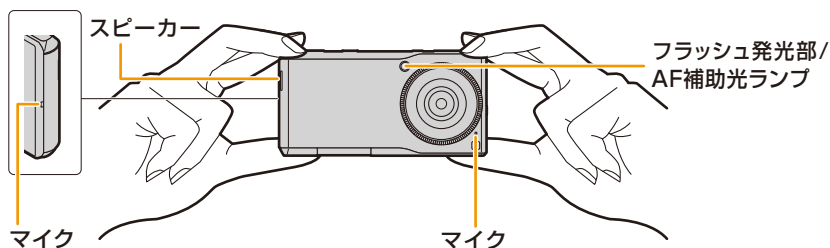
カメラをご利用になる前に

- レンズが汚れていないか確認してください。(P187)
- カメラを起動時、レンズの動きを妨げないようにお気をつけください。
- 撮影時は、レンズに指、髪などがつかないようにお気をつけください。
- 事前に必ず試し撮りをしてください。
大切な撮影(結婚式など)は、必ず事前に試し撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。
- 露光中や長秒ノイズ除去中などに着信やアラーム鳴動でカメラ機能が中断された場合、画像が保存されない場合があります。
- 撮影内容の補償はできません。
本機およびmicroSDカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。
- 設定したシャッタースピードの効果は、撮影画面(ディスプレイに表示される画像)に反映されません。
- 設定した絞り値は、シャッターを半押し(軽く押す)したときだけ撮影画面に反映されます。
- 撮影を開始してから実際に撮影されるまでに多少の時間差があります。そのため、速く動いている被写体を撮影すると、撮影を開始したときに画面に表示されていた位置とは少しずれて撮影されることがあります。
- 高温な環境下で撮影したり、連続して撮影するなどして本機の温度が上がった場合、撮影を停止し、カメラアプリを終了します。
- 本機のご利用につきましては、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。

■ 本機の構え方について

両手で本機を軽く持ち、脇を締め、肩幅くらいに足を開いて構える

- フラッシュ発光部やAF補助光ランプ、マイク、スピーカーを指などで塞がないでください。
- シャッターボタンを押す瞬間に、本機が動かないようにお気をつけください。動くとも画像がぶれる原因になります。薄暗いところでは特にぶれやすくなります。



■ 撮影について困ったときは(P182)

本文中の使えるモードの表示について

使えるモード: **P** **A** **S** **M** **C1** **C2** **SCN**

説明している機能がどの撮影モードで使えるかを表しています。

- 黒のアイコン : 使えるモード
- グレーのアイコン : 使えないモード

C1、**C2**は登録した撮影モードによって使える機能が変わります。

撮影の流れ

1 カメラ切替スイッチをスライドさせたあと離し、カメラを起動する (P43)

- ホーム画面 →  でも起動できます。

2 お好みの撮影モードに合わせる (P51)

3 撮影する

写真を撮る (P47)

- 1 シャッターボタンを半押し(軽く押す)してピントを合わせる
- 2 シャッターボタンを全押し(さらに押し込む)して撮影する

動画を撮る (P48)

- 1 撮影画面 → 
 - 撮影が開始されます。
- 2  をタップする
 - 撮影が終了します。



お好みに合わせて設定を変更して撮影する

- 写る範囲を調整したい
- ズームを使う  P79

- 明るさや色味を調整したい
- コントロールリングを操作する  P83

- 状況に合わせて撮影したい
- 連写する  P96
 - セルフタイマーを使用する  P99

4 をタップして撮影した画像を確認する (P123)

- カメラ切替スイッチをスライドさせたあと離す、またはシャッターボタンを押すと、撮影画面に戻ります。



シャッターチャンスを見逃さず撮るには

[4K プリ連写] アプリを使って撮影することをお勧めします。(P50)



撮影スタイルに合わせてお好みの動作環境を設定するには

カスタムメニューで設定してください。(P115)



画像の保存先の変更など、カメラの基本的な設定を変更するには

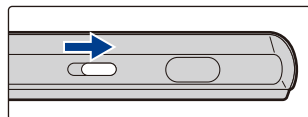
設定メニューで設定してください。(P121)

カメラ機能を使う

カメラを起動する

カメラ切換スイッチをスライドさせたあと、離す

- ホーム画面→[]でも起動できます。

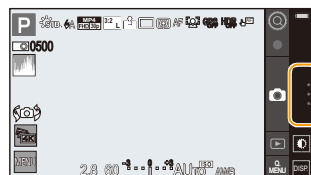


- ロック画面で[]を左にフリックしても起動できます。

■ カメラを終了するには

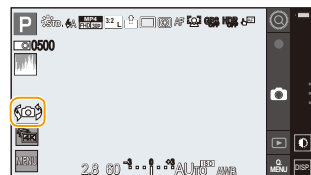
カメラ切換スイッチをスライドさせたあと離す、または下記の操作でも戻ることができます。

- 1 画面の右端を左にフリックする
- 2 [] をタップする(P25)



カメラモード(アウトカメラ/インカメラ)を切り換える

撮影画面 → []



インカメラでは、以下のメニューのみ設定できます。

メニュー	項目	
撮影	[ドライブモード]	[単写]、[セルフタイマー]
	[記録画素数]	[HD]、[VGA]
動画	[画質設定]	[HD 30p]、[VGA 30p]
カスタム	[サイレントモード]	[ON]、[OFF]
	[ガイドライン表示]	[9分割]、[8分割]、[OFF]
	[オートレビュー]	[1秒]、[2秒]、[ホールド]、[OFF]
	[タッチシャッター設定]	[ON]、[OFF]
	[ボリュームボタン設定]	[露出補正]、[ホワイトバランス]、[OFF]
設定	すべてのメニュー項目が設定できます。([プレビュー表示モード]/[AF音]は除く)(P121)	

撮影画面の見方

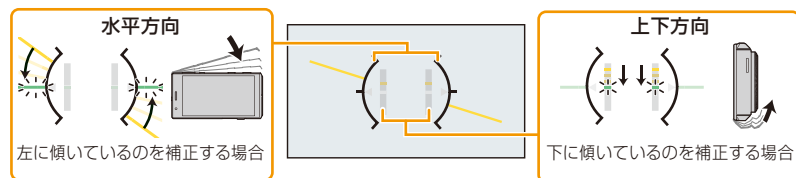
撮影画面の表示情報を切り換える

撮影画面 → [DISP.]

■ 水準器表示について

水準器を表示させると、本機の傾きを補正したい場合などに便利です。

- 1 [DISP.] をタップして水準器を表示させる
- 2 本機の傾きを確認する



- 傾きがほぼない状態は、緑色に変わります。
- 縦位置撮影時は、自動で縦位置用の表示に切り換わります。



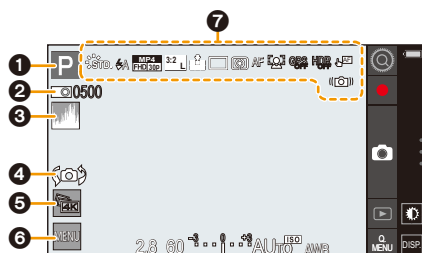
- 設定メニューの[水準器調整]で、本機を横向きに構えた状態での水平方向の基準を設定することができます。(P122)
- 傾きがほぼ補正された状態でも、 $\pm 1^\circ$ 程度の誤差が生じることがあります。

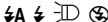


- 本機を動かしている間は、水準器表示が正しく表示できない場合があります。

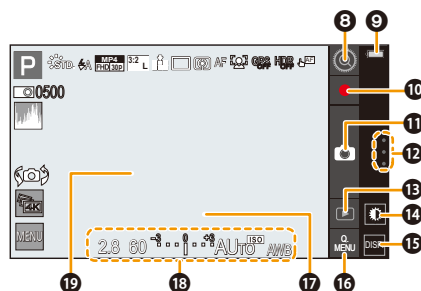
ディスプレイの表示

ディスプレイの画面表示は、本機の操作状態を示しています。



1  撮影モード(P51)  カスタムセット(P62)	7  フォトスタイル(P100)  フラッシュモード(P80)  画質設定(P49)  画像横縦比/ 記録画素数(P102)  クオリティ(P104)  ドライブモード(P95)  測光モード(P108)  フォーカスモード (P105, 107)  AF/AEロック切換 (P116, 120)  オートフォーカスモード (P105)  位置情報記録(P121)  HDR(P110)  タッチ設定(P120)  サイレントモード(P115)  手ブレ警告(P47)
2  保存先(P121) 0500 記録可能枚数(P12) XXmXXs 記録可能時間*(P12)	
3  ヒストグラム表示 (P119)	
4  カメラモード(アウトカメラ/ インカメラ)切り換え(P43)	
5  4K ブリ連写(P50)	
6  メニュー(P90)	

※ mは「minute(分)」, sは「second(秒)」を省略した表示です。



8		コントロールリング メニュー(P83)
9		バッテリー残量
10		動画撮影開始 / 終了 (P48)
11		写真撮影(P47)
12		アプリ操作(P25)
13		画像再生(P123)
14		高輝度モード切り換え (P121)
15		表示切り換え(P44)

16		クイックメニュー(P94)
17		コントロールリング操作 (P83)
18		プログラムシフト(P57)
	2.8	絞り値(P47)
	60	シャッタースピード(P47)
		露出補正值(P85)
		明るさ(P56)
		マニュアル露出アシスト (P61)
		ISO感度(P86)
		ホワイトバランス(P87)
		ホワイトバランス微調整 (P89)
		色合い(P56)
19		AFエリア(P47)

写真を撮る

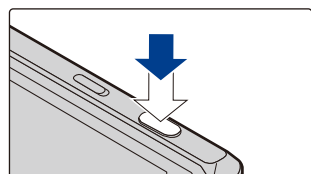
1 撮影モードを選ぶ(P51)

2 シャッターボタンを半押し(軽く押す)してピントを合わせる

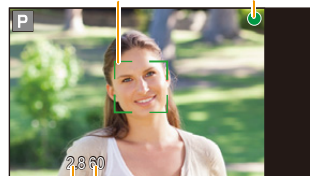
- 絞りとシャッタースピードが表示されます。
(適正露出にならないときは、赤くなり点滅します)

ピント	合っている	合っていない
フォーカス表示	点灯	点滅
AFエリア	緑	赤
音	ピピッ	—

- 暗い環境では、通常よりピント合わせに時間がかかることがあります。

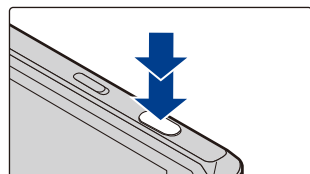


AFエリア フォーカス表示



絞り値 シャッタースピード

3 シャッターボタンを全押し(さらに押し込む)して撮影する



💡 ピントが合いにくい被写体や撮影環境

- 動きの速い被写体、非常に明るい、または濃淡のないもの
- ガラス越しや光るものの近くにある被写体を撮影するとき
- 暗いときや手ブレしているとき
- 被写体に近すぎるときや、遠くと近くを同時に撮るとき

💡 タッチ操作で撮影するには

- 1 **[📷]** をタッチしたままにして、ピントを合わせる
- 2 指を離して撮影する

- タッチ機能での撮影について、詳しくは 120 ページをお読みください。

💡 手ブレを防ぐために

暗い場所で撮影すると、シャッタースピードが遅くなり手ブレ警告表示[ⓘⓈ]が表示される場合があります。

本機が動かないようにしっかりと構えるか、固定するなどして撮影してください。

動画を撮る

使えるモード：  **P** **A** **S** **M** **C1** **C2**   

MP4で記録される動画を撮影できます。音声はステレオで記録されます。

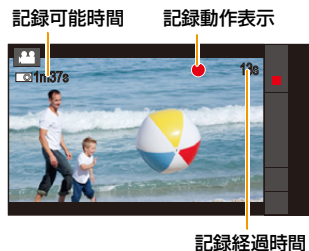
1 撮影画面 → [●]

- 撮影が開始されます。
- 各撮影モードに適した動画が撮影できます。
- 動画の記録中は、記録動作表示(赤)が点滅します。
- 動画撮影中でもズーム操作ができます。
- 動画撮影時は、マイクの穴を指などで塞がないでください。



2 [■]をタップする

- 撮影が終了します。
- 動画撮影中にシャッターボタンを全押しすると、動画撮影中に写真撮影もできます。(P49)



- 動画撮影前にズームを使っていた場合、ズーム倍率は引き継がれますが、ズーム種別は変更されることがあります。
- ピントは動画撮影開始時の位置で固定されます。撮影中にピントを合わせ直したいときは、**[AF]**をタップして、もう一度ピントを合わせてください。
- 動画撮影中にコントロールリング操作やボタン操作などをすると、その動作音が記録される場合があります。
- 画面に表示される記録可能時間は、規則正しく減少しない場合があります。
- 1秒未満の動画撮影はできない場合があります。
- 動画撮影中、ISO感度は[AUTO] (動画用)の動作になります。また、[ISO感度上限設定]は機能しません。
- 一部の撮影モードでは、以下のような分類で撮影されます。下記以外では、それぞれの撮影モードに合った動画を撮影できます。

選択されている撮影モード	動画撮影時の撮影モード
● プログラムAEモード ● 絞り優先AEモード ● シャッター優先AEモード ● マニュアル露出モード	通常動画
● シーンガイドモードの[夜景をきれいに撮る]/[夜景をアーティスティックに撮る]/[夜景を手持ちで撮る]/[夜景をバックに人物をきれいに撮る]	ローライトモード



- 以下の場合、動画撮影できません。
 - シーンガイドモードの[水面をキラキラ撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]
 - クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]/[クロスフィルター]

■ 画質を設定する

- 1 撮影画面 → [MENU] → [動画] → [画質設定]
- 2 項目を選ぶ

項目	サイズ	フレームレート	ビットレート
(4K 15p)	3840×2160	15p	50 Mbps
(FHD 30p)	1920×1080	30p	20 Mbps
(HD 30p)	1280×720	30p	10 Mbps
(VGA 30p)	640×480	30p	4 Mbps
(1:1 30p)	640×640	30p	4 Mbps

■ 動画メニューについて

- [フォトスタイル]、[測光モード]、[iDレンジコントロール]、[超解像]は、撮影メニューと動画メニューに共通のメニュー項目です。
どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。

■ 撮影した動画の互換性について

撮影された動画は、それぞれの対応機器であっても、再生すると画質や音質が悪くなったり、再生できない場合があります。また撮影情報が、正しく表示されない場合があります。この場合は本機で再生してください。

■ アイコンの見方

フォーマット

 サイズ → フレームレート



- 「ビットレート」とは一定時間当たりのデータの量で、この場合は数値が大きいほど高画質になります。本機はVBR記録方式を採用しています。VBRとはVariable Bit Rate(可変ビットレート)の略で、撮影する被写体により、ビットレート(一定時間当たりのデータの量)が自動的に変わる記録方式です。このため、動きの激しい被写体を記録した場合、記録時間は短くなります。

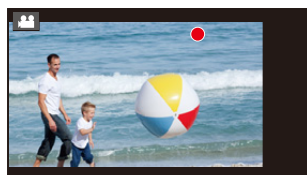
■ 動画撮影中に写真を記録する

使えるモード:

動画撮影中でも写真を記録することができます。(同時記録)

動画撮影中に、シャッターボタンを全押しする

- をタップしても写真を記録できます。



4K プリ連写

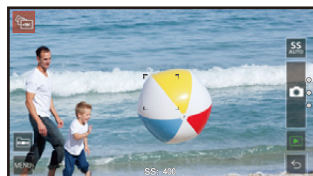
シャッターを切った瞬間の前後 1.5 秒間の連写ファイルが保存され、その中から好きなコマを選んで写真を切り出すことができます。

1 撮影画面 → [4K]

- ホーム画面 → [] → [] でも起動できます。

2 写真を撮る(P47)

- シャッターを切った前後の静止画が表示されます。
- 以前に撮影した連写ファイルから写真を切り出すには [] をタップしてください。

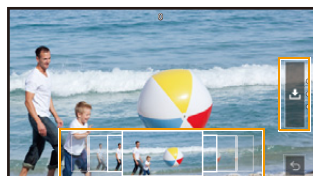


3 切り出したいコマを選ぶ

- ピンチアウト/ピンチインまたはダブルタップすると写真を拡大/縮小できます。

4 [] をタップする

- 切り出した写真は、[保存先]を[本体]に設定時は「PRE-BURST」フォルダーに保存されます。
[保存先]を[microSD]に設定時はmicroSDカード内の「PRE-BURST[SD]」フォルダーに保存されます。



- [4K プリ連写] では、以下の設定ができます。

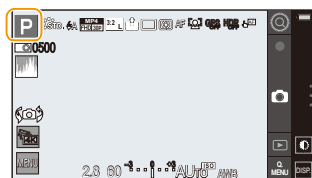
メニュー	項目	
撮影設定	[画質設定]	[3840×2160 15枚/秒]/[1920×1080 30枚/秒]
	[シャッタースピード]	[オート] [マニュアル]: コントロールリングを操作してシャッタースピードを設定することができます。(P83)
	[連写ファイル]	[保存する]/[保存しない]
設定	[位置情報設定]/[保存先]/[自動バックアップ]/[自動終了]/[AF音]/[シャッター音]/[お知らせ]/[設定リセット]	



- [4K プリ連写] アプリで撮影した連写ファイルは、他のアプリから再生することはできません。また、自動バックアップの対象外です。
- 切り出した写真の位置情報や保存先の設定は、連写ファイル撮影時の設定が反映されます。
- 蛍光灯やLEDなどの照明器具下でちらつきや横しが出ることがありますが、これは本機の撮像素子であるMOSセンサーの特徴であり、異常ではありません。
シャッタースピードを遅くすると横しが減ることがあります。

撮影モードを選ぶ

1 撮影画面 → 撮影モードアイコン



2 撮影モードを選ぶ

- コントロールリングを回しても選べます。(P83)



	インテリジェントオートモード(P52) 本機におまかせで撮影します。
	インテリジェントオートプラスモード(P52) インテリジェントオートモードで明るさと色合いを変更できます。
P	プログラムAEモード(P57) 本機が決めた絞り値とシャッタースピードで撮影します。
A	絞り優先AEモード(P58) 絞り値を決めて撮影します。
S	シャッター優先AEモード(P59) シャッタースピードを決めて撮影します。
M	マニュアル露出モード(P60) 絞り値とシャッタースピードを決めて撮影します。
C1 C2	カスタムモード(P62) あらかじめ登録しておいた設定で撮影します。
	シーンガイドモード(P63) 撮影シーンに合わせて撮影します。
	クリエイティブコントロールモード(P70) 画像効果を確認しながら撮影します。
	パノラマモード(P77) パノラマの写真を撮影します。

本機におまかせで撮る

撮影モード： 

本機におまかせで気軽に撮りたいときは、被写体や撮影状況に合わせてカメラが最適な設定を行うインテリジェントオートプラスモードやインテリジェントオートモードをお使いください。

インテリジェントオートプラスモードとインテリジェントオートモードでは、設定できる機能が異なります。(○：設定可、×：設定不可)

	インテリジェントオート プラスモード	インテリジェントオートモード
明るさ設定(P56)	○	×
色合い設定(P56)	○	×
ポケ味コントロール (P55)	○	○
設定できるメニュー	54 ページをお読みください。	54 ページをお読みください。

1 撮影モードを/に設定する(P51)

2 被写体に画面を合わせる

- 本機が最適なシーンを判別すると、各シーンのアイコンが2秒間青色で表示後、通常の赤色に変わります。



- シャッターボタンを半押ししたときに、適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になり点滅します。

■ 自動シーン判別について

写真撮影時

iA →	i人物
	i風景
	iマクロ
	i夜景&人物
	i夜景
	i料理
	i夕焼け

動画撮影時

iA →	i人物
	i風景
	iローライト
	iマクロ

- どのシーンにも当てはまらない場合は[iA]になり、標準的な設定を行います。
- [iA]、[i人物]、[i風景]のときは、本機が人の顔を自動的に検知し、認識した顔にピントや露出を合わせます。
(顔認識)
- 追尾AF時は、被写体をロックするまで自動シーン判別は動きません。

- 以下のような条件によって、同じ被写体でも異なるシーンに判別される場合があります。
 - 被写体条件
顔の明暗/被写体の大きさ・色・形状/被写体までの距離/被写体の濃淡/被写体が動いているとき
 - 撮影条件
夕暮れ/朝焼け/低照度/手ブレが発生したとき/ズーム倍率

■ 自動で働く機能について

本機が最適な設定を行うため、以下の機能が自動で働きます。

- 自動シーン判別/逆光補正/顔認識/オートホワイトバランス/インテリジェントISO/デジタル赤目補正/超解像/IDレンジコントロール/AF補助光



逆光補正について

- 本機が自動で画像を明るくすることにより、逆光時に被写体が暗く写らないように補正します。インテリジェントオートプラスモードまたはインテリジェントオートモード時は、逆光補正が自動で働きます。

■ 設定できるメニューについて

以下のメニューのみ設定できます。

インテリジェントオートプラスモード	
メニュー	項目
撮影	[ドライブモード]/[フォトスタイル]/[画像横縦比]/[記録画素数]/[クオリティ]/[オートフォーカスモード]/[フォーカスモード]/[フラッシュ]/[シャッター方式]/[色空間]
動画	[フォトスタイル]/[画質設定]
カスタム	[サイレントモード]/[ピーキング]/[ピーキング検出レベル]/[ヒストグラム表示]/[ガイドライン表示]/[オートレビュー]/[タッチ設定]/[ボリュームボタン設定]
設定	すべてのメニュー項目が設定できます。(P121)

インテリジェントオートモード	
メニュー	項目
撮影	[ドライブモード]/[画像横縦比]/[記録画素数]/[オートフォーカスモード]/[フォーカスモード]/[フラッシュ]
動画	[画質設定]
カスタム	[サイレントモード]/[ガイドライン表示]/[タッチ設定]/[ボリュームボタン設定]
設定	すべてのメニュー項目が設定できます。(P121)

■ 背景をぼかして撮る(ボケ味コントロール)

撮影モード:  

背景のボケ具合を画面で確認しながら簡単に設定することができます。

背景までピントを合わせて撮りたいときは絞り値を大きく、背景をぼかして撮りたいときは絞り値を小さくしてください。

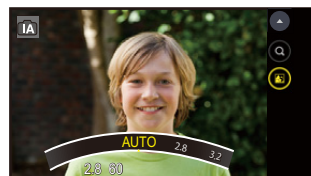
- 1  →  (P83)
- 2 コントロールリングを操作してボケ具合を設定する



ボケ具合が大きい



ボケ具合が小さい



- 3 写真を撮影する



- 動画撮影時はボケ具合が自動的に調整されます。

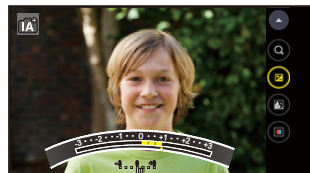
■ 明るさや色合いを変えて撮る

撮影モード: 

本機が設定した明るさや色合いを、お好みに調整できます。

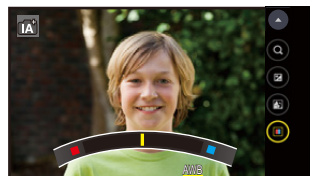
明るさを設定する

- 1  →  (P83)
- 2 コントロールリングを操作して明るさを調整する
 -  をタップすると撮影画面に戻ります。



色合いを設定する (ホワイトバランス調整)

- 1  →  (P83)
- 2 コントロールリングを操作して色合いを調整する
 - 画像の色合いを赤っぽい色から青っぽい色まで調整します。
 -  をタップすると撮影画面に戻ります。



- 設定した色合いは、本機の電源を切ったり、カメラ機能を終了する、または他の撮影モードに変更すると、標準(中心点)に戻ります。

お好みの設定で撮る(プログラムAEモード)

撮影モード: [P]

被写体の明るさに応じて、シャッタースピードと絞り値を本機が自動的に設定します。撮影メニューで多彩な設定をすることで、自由度の高い撮影ができます。

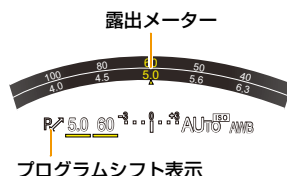
撮影モードを[P]に設定する(P51)

■ プログラムシフトについて

プログラムAEで本機が自動的に設定したシャッタースピードと絞り値の組み合わせを、同じ露出のままで変えることができます。これをプログラムシフトといいます。

プログラムAEでの撮影時に、より背景をぼかしたい(絞り値を小さくする)、動きを表現したい(シャッタースピードを遅くする)などの設定が可能です。

- 1 [◎] → [P] (P83)
- 2 コントロールリングを回してプログラムシフトする
 - 画面にプログラムシフト表示が出ます。
 - プログラムシフトを解除するには、撮影モードを変更するか、プログラムシフト表示が消えるまでコントロールリングを回してください。
 - [△] をタップすると撮影画面に戻ります。



- ISO感度を[ISO]に設定すると、プログラムシフトできません。
- シャッターボタンを半押ししたときに、適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になり点滅します。

絞り優先AEモード

撮影モード: **[A]**

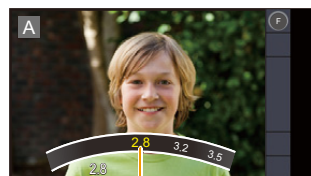
背景までピントを合わせて撮りたいときは絞り値を大きく、背景をぼかして撮りたいときは絞り値を小さくしてください。

- 1 撮影モードを**[A]**に設定する(P51)
- 2 コントロールリングを操作して絞り値を設定する(P83)



絞り値: 小くなる
背景をぼかしやすくなります。

絞り値: 大きくなる
背景までピントが合った状態にしやすいです。



絞り値

設定可能な絞り値	本機で設定されるシャッタースピード(秒)
F2.8~F11	60~1/16000([シャッター方式]の [オート]設定時) 60~1/2000([シャッター方式]の [メカシャッター] 設定時)



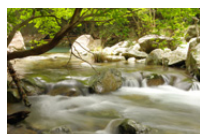
- シャッターボタンを半押ししたときに、適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になり点滅します。

シャッター優先AEモード

撮影モード: **[S]**

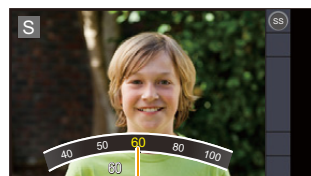
動きを止めて撮りたいときはシャッタースピードを速く、動きを表現したいときにはシャッタースピードを遅くしてください。

- 1 撮影モードを**[S]**に設定する(P51)
- 2 コントロールリングを操作してシャッタースピードを設定する(P83)



シャッタースピード:
遅くなる
動きを表現しやすくなり
ます。

シャッタースピード:
速くなる
動きを止めやすくなります。



シャッタースピード

設定可能なシャッタースピード(秒)*	本機で設定される絞り値
60～1/16000([シャッター方式]の [オート]設定時)	F2.8～F11
60～1/2000([シャッター方式]の [メカシャッター]設定時)	

※ 撮影メニューの[連写]を[SH]に設定した場合、シャッタースピードは1/50～1/16000になります。



- シャッターボタンを半押ししたときに、適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になり点滅します。
- シャッタースピードが遅いときは、本機を固定して使用することをお勧めします。
- ISO感度が[ISO]のときに、撮影モードをシャッター優先AEに切り換えると、ISO感度は[AUTO]になります。

マニュアル露出モード

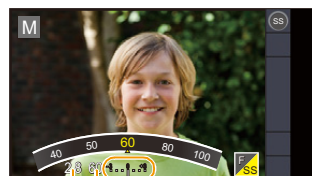
撮影モード：[M]

絞り値とシャッタースピードを手動で設定して、露出を決定します。
露出の状態の目安を示すマニュアル露出アシストが、画面下部に表示されます。

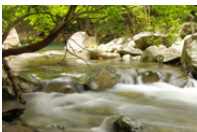
1 撮影モードを[M]に設定する(P51)

2 コントロールリングを操作して絞り値とシャッタースピードを設定する(P83)

- [F/ss] をタップするごとに、絞り設定操作とシャッタースピード設定操作が切り換わります。



絞り値 マニュアル露出アシスト
シャッタースピード

絞り値	 小さくなる 背景をぼかしやすくなります。	 大きくなる 背景までピン트가合った状態にしやすくなります。
シャッタースピード	 遅くなる 動きを表現しやすくなります。	 速くなる 動きを止めやすくなります。

設定可能な絞り値	設定可能なシャッタースピード(秒)*
F2.8～F11	60～1/16000([シャッター方式]の [オート]設定時) 60～1/2000([シャッター方式]の [メカシャッター]設定時)

※ 撮影メニューの[連写]を[SH]に設定した場合、シャッタースピードは1/50～1/16000になります。



マニュアル露出アシストについて

	適正露出になります。
	シャッタースピードを速くするか、絞り値を大きくしてください。
	シャッタースピードを遅くするか、絞り値を小さくしてください。

- マニュアル露出アシストは目安です。撮影画像を再生画面で確認しながら撮影することをお勧めします。
- シャッターボタンを半押ししたときに、適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になり点滅します。
- シャッタースピードが遅いときは、本機を固定して使用することをお勧めします。
- ISO感度が[ISO]または[AUTO]の時に撮影モードをマニュアル露出モードに切り換えると、ISO感度は[125]に切り換わります。



お好みの設定を登録して撮る(カスタムモード)

撮影モード: **C1** **C2**

現在のカメラ機能の設定内容をカスタムセットとして登録しておくことができます。カスタムモードで撮影すると、登録したときと同じ設定で撮影することができます。

- お買い上げ時、カスタムセットにはプログラムAEモードの初期設定が登録されています。

お好みのメニュー設定を登録する(カスタムセット登録)

同じ設定で撮影できるように、現在の本機の設定内容を[カスタムセット登録]で2つまで登録しておくことができます。(C1、C2)

準備: あらかじめ保存したい状態の撮影モードに設定し、本機でメニュー設定する。

1 撮影画面 → **[MENU]** → **[カスタム]** → **[カスタムセット登録]**

2 **[C1]**または**[C2]**をタップする

- 確認画面が表示されます。**[OK]**を選ぶと実行されます。
実行後はメニューを終了してください。



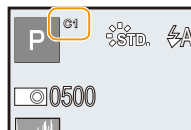
- 以下の項目はカスタムセット登録されません。
– 設定メニューの[自動バックアップ]/[水準器調整]/[番号リセット]
– カメラモード(アウトカメラ/インカメラ)

登録したカスタムセットで撮る

[カスタムセット登録]で登録した設定を、簡単に呼び出すことができます。

撮影モードを**[C1]**/ **[C2]**に設定する(P51)

- カスタムセットが呼び出されます。
- 選択されているカスタムセット表示が画面に出ます。



設定を変更した場合は

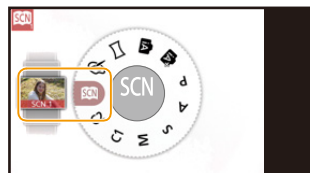
撮影モードを**C1**または**C2**に設定した状態で一時的にメニュー設定を変更しても、登録内容は変更されません。登録内容を変更する場合は、カスタムメニューの[カスタムセット登録]で登録内容を上書きしてください。

撮影シーンに合わせて撮る(シーンガイドモード)

撮影モード: **SCN**

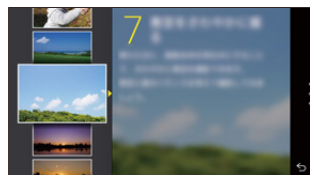
作例写真を見ながら、被写体や撮影状況に合わせてシーンを選択すると、本機が最適な露出や色調、ピントの合わせ方などを設定し、シーンに合った撮影ができます。

1 撮影モードを[SCN]に合わせて、作例シーンをタップする(P51)

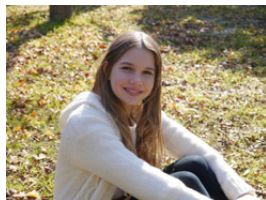


2 作例シーン(P64～P69)をスクロールさせて選び、タップする

- 隠れている項目を表示させるには画面をスクロールさせてください。

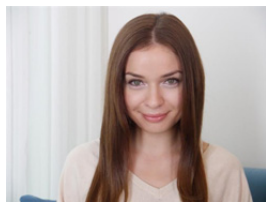


- シーンガイドモード時は、本機が自動で最適に調整するため以下の設定はできません。
- [フォトスタイル]の効果の変更/ISO感度
- シャッターボタンを半押ししたときに、適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になり点滅します。



1: 人物をきれいに撮る

顔の明るさを適正にして、背景をぼかすことで、人物をきれいに撮影できます。



2: 人物の肌をきれいに撮る

顔を少し明るめにして、肌色をなめらかにすることで、人物の肌をきれいに撮影できます。



- 背景などに肌色に近い色をした箇所があると、その部分も同時に滑らかになります。
- 明るさが不十分なときは、効果がわかりにくい場合があります。



3: 逆光でふんわり撮る

逆光のときに、画面全体を明るめにするすることで、光があふれて、ふんわりとした雰囲気人物を撮影できます。



4: ほのぼのとした雰囲気で撮る

暖色の色調にすることで、ほのぼのとした雰囲気で人物を撮影できます。



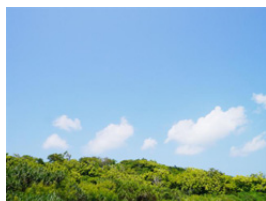
5: 子どもをかわいく撮る

顔にピントを合わせて背景をぼかすことで、子どもの表情を引き立てて、かわいく撮影できます。



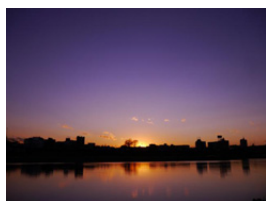
6: 風景をきれいに撮る

青空や緑を鮮やかにすることで、風景をきれいに撮影できます。



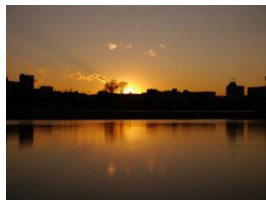
7: 青空をさわやかに撮る

晴れた日に、画面全体を明るめにするすることで、さわやかに青空を撮影できます。



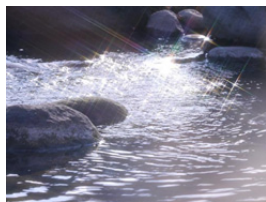
8: 夕焼けを幻想的に撮る

日没直後に、紫がかった色調にすることで、幻想的な空を撮影できます。



9: 夕焼けを印象的に撮る

赤色を強調することで、印象的な夕焼けを撮影できます。



10: 水面をキラキラ撮る

水面に映る光を、明るく青く、キラキラと強調させて撮影できます。



- 撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのように表示されます。
- クロスフィルターを使用するため、水面以外がキラキラと強調される場合があります。



11: 夜景をきれいに撮る

光の色を鮮やかにすることで、夜景をきれいに撮影できます。



- 本機を固定し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- 撮影後に、シャッターが閉じたままになることがありますが、信号処理のためで異常ではありません。
- 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。

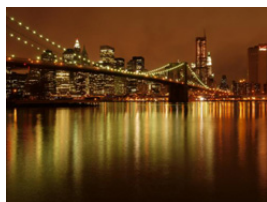


12: 夜空をクールに撮る

日没後に、青みがかった色調にすることで、都会的でクールに夜空を撮影できます。



- 本機を固定し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- 撮影後に、シャッターが閉じたままになることがありますが、信号処理のためで異常ではありません。
- 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。



13: 夜景を暖かく撮る

暖色の色調にすることで、暖かみのある夜景を撮影できます。



- 本機を固定し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。



- 撮影後に、シャッターが閉じたままになることがありますが、信号処理のためで異常ではありません。
- 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。



14: 夜景をアーティスティックに撮る

シャッタースピードを遅くすることで、光の軌跡が美しい、アーティスティックな夜景を撮影できます。



- 本機を固定し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。



- 撮影後に、シャッターが閉じたままになることがありますが、信号処理のためで異常ではありません。
- 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。



15: イルミネーションをキラキラ撮る

クロスフィルターを使うことで、光の輝きがキラキラと強調されたイルミネーションやライトアップを撮影できます。



- 本機を固定し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。



- 撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのように表示されます。
- 撮影後に、シャッターが閉じたままになることがありますが、信号処理のためで異常ではありません。
- 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。



16: 夜景を手持ちで撮る

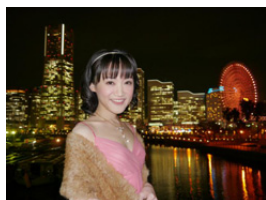
連写した写真を合成することで、手持ちでも、手ブレとノイズを抑えて夜景を撮影できます。



- シャッターボタンを押したあと、連写中は本機を動かさないでください。



- 画角が僅かに狭くなります。



17: 夜景をバックに人物をきれいに撮る

フラッシュを発光し、長秒撮影することで、夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。



- フラッシュをお使いください。
- 本機を固定し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- 被写体の人に、撮影後約1秒間は動かないように伝えてください。
- [サイレントモード]を[ON]に設定しているときは、フラッシュは発光しません。
- 撮影後に、シャッターが閉じたままになることがありますが、信号処理のためで異常ではありません。
- 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。



18: 料理をおいしそうに撮る

画面全体を明るくすることで、おいしそうに料理を撮影できます。



- 本機を固定し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- 近距離撮影する場合は、フラッシュを発光させないことをお勧めします。

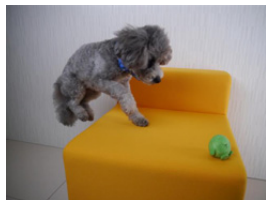


19: スイーツをかわいく撮る

画面全体を明るくすることで、かわいくスイーツを撮影できます。



- 本機を固定し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- 近距離撮影する場合は、フラッシュを発光させないことをお勧めします。



20: 動くペットをきちんと撮る

シャッタースピードを速くすることで、ブレずに動きの速いペットを撮影できます。



21: スポーツをきれいに撮る

シャッタースピードを速くすることで、スポーツシーンなど、動きの速い場面をブレずに撮影できます。



22: モノクロで撮る

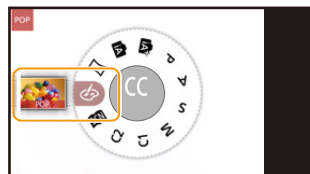
モノクロで撮影することで、いつもと違った雰囲気での撮影ができます。

画像効果を変えて撮る(クリエイティブコントロールモード)

撮影モード: 

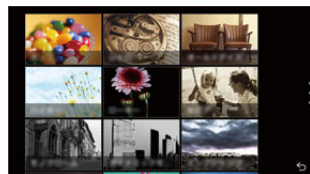
画像に効果を加えて撮影することができます。

- 1 撮影モードを[]に合わせて、画像効果(フィルター)をタップする(P51)



- 2 画像効果(フィルター)(P72～P76)を選び、タップする

- 隠れている項目を表示させるには画面をスクロールさせてください。



- ホワイトバランスは[AWB]に、ISO感度は[AUTO]に、フォトスタイルは [スタンダード]に、色空間は[sRGB]に固定されます。
- シャッターボタンを半押ししたときに、適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になり点滅します。

■ 背景をぼかして撮る(ボケ味コントロール)

背景のボケ具合を画面で確認しながら簡単に設定することができます。

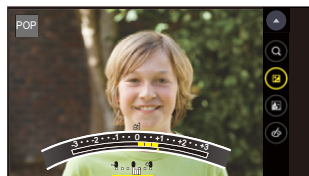
- 1 [📷] → [📷] (P83)
- 2 コントロールリングを操作してボケ具合を設定する
 - [📷] をタップすると撮影画面に戻ります。



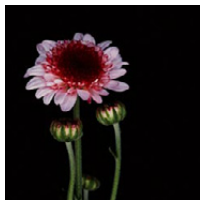
-  ● クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]では、ボケ味コントロール機能を使えません。

■ 明るさを設定する

- 1 [📷] をタップする
- 2 コントロールリングを操作して設定する
 - [📷] をタップすると撮影画面に戻ります。



	ポップ 色を強調したポップアート風の画像効果です。
	レトロ 色あせた写真の雰囲気をかもし出した、柔らかな画像効果です。
	オールドデイズ 光に包まれた柔らかく懐かしい雰囲気をかもし出す画像効果です。
	ハイキー 全体的に明るく、ふんわりと柔らかな雰囲気に仕上げる画像効果です。  ● パノラマモードでこの画像効果を選択した場合、明るさが不十分な場面では効果が現れにくいことがあります。



ローキー

全体的に暗く落ち着いた雰囲気、明るい部分を引き立てる画像効果です。



セピア

セピア色の画像効果です。



モノクローム

白黒の画像効果です。



ダイナミックモノクローム

コントラストを高めにし、力強いモノクロ写真に仕上げる画像効果です。



インプレッシブアート

強いコントラストで、現実にはない劇的な雰囲気を描き出す画像効果です。



- パノラマモードでこの画像効果を選択した場合、写真のつなぎ目が目立つことがあります。

	ハイダイナミック 暗いところから明るいところまで、全体的にバランスのよい明るさで描き出す画像効果です。
	クロスプロセス 意外な発色で、独特の雰囲気仕上げる画像効果です。
	トイフォト 周辺光量を落とした、トイカメラで撮影したような画像効果です。
	トイポップ 明るく鮮やかにトイカメラで撮影したような画像効果です。
	ブリーチバイパス 高コントラストで彩度を低くした、映画で使われるような渋い雰囲気の画像効果です。



ジオラマ

周辺をぼかし、ジオラマ風に描き出す画像効果です。

ぼかし方を設定する

[ジオラマ]では、ぼかす部分とぼかさない部分を意図的に作ることで、模型を撮影したような効果を描き出します。撮影する向き(ぼかす向き)やぼかさない部分の位置、大きさを設定することができます。

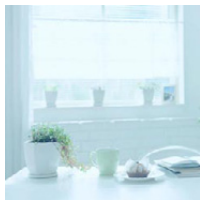
- 1 撮影画面 → []
- 2 [] をタップし、撮影する向き(ぼかす向き)を設定する
- 3 ぼかさない部分をタップする



- 4 [○] をドラッグしてぼかさない部分の大きさを変更する
 - 3種類の大きさに変更できます。
- 5 [] をタップする

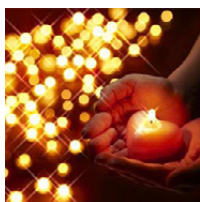


- 撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのように表示されます。



ファンタジー

淡い色調で空想の世界のような雰囲気仕上げる画像効果です。

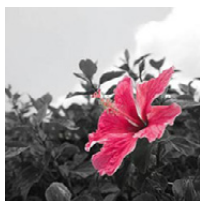


クロスフィルター

光源からの光が十字状に輝く、華やかな雰囲気を描き出す画像効果です。



- 撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのように表示されます。



ワンポイントカラー

モノクロ写真に特定の色だけを残し、印象的に強調する画像効果です。

残したい色を設定する

画面の位置を選ぶことで、残したい色を選ぶことができます。

- 1 [🔍] をタップする
- 2 残したい色の部分をタップする



- 3 [↩] をタップする



- 被写体によっては、設定した色が残らない場合があります。

パノラマ写真を撮る(パノラマモード)

撮影モード: 

本機を動かしている間に連続撮影し、画像を合成することでパノラマ画像を撮影できます。

1 撮影モードを[]に設定する(P51)



画像効果を加えるには

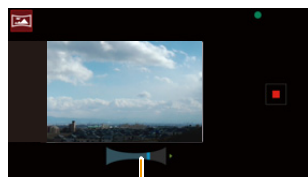
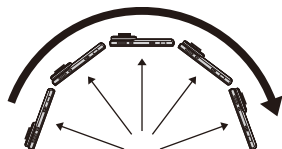
コントロールリングを操作して画像効果を選ぶ(P83)

- クリエイティブコントロールモードと同じ画像効果を加えることができます。(P70) ([トイフォット]、[トイポップ]、[ブリーチバイパス]、[ジオラマ]、[ファンタジー]を除く)
- 画像効果を加えない場合は[効果なし]を選択してください。

2 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる

3 シャッターボタンを全押しし、画面上の矢印の方向へ小さな円を描くように本機を動かす

左から右へ撮影する場合



撮影の方向と進み具合(目安)

- 一定の速度で本機を動かしてください。速すぎても遅すぎても、うまく撮影できない場合があります。

4 もう一度シャッターボタンを押して撮影を終了する

- ガイドの終わりまで本機を動かしても撮影を終了できます。



- 揺らさないように気をつけながら、撮影方向へ本機を動かす。
(揺れが大きいと撮影できなかったり、記録されるパノラマ写真が細く(小さく)なります)



- ズーム位置はW端に固定されます。
- シャッターボタンを半押ししたときに、適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になり点滅します。
- ホワイトバランスは[AWB]に固定されます。
- 複数の写真から1枚のパノラマ写真に合成するため、被写体がゆがんだりつなぎ目が目立つ場合があります。
- パノラマ写真の最大記録画素数は以下のとおりです。

	横	縦
水平方向	約 3800画素	約 640画素

- [シャッター方式]は[オート]に固定されます。



- 次の被写体や撮影状況などでは、パノラマ写真が作成できなかったり、適切に合成されない場合があります。
 - 単調な色や模様が続く被写体(空や砂浜など)
 - 動いている被写体(人やペット、自動車、波、風に揺れる花など)
 - 短時間で色や模様が変化する被写体(ディスプレイに映った画像など)
 - 暗い場所
 - 蛍光灯やろうそくなど、光源がちらついている場所

ズーム・フラッシュ

ズームを使って撮る

使えるモード:

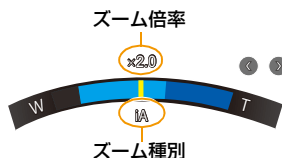
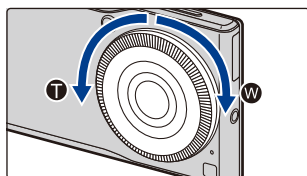
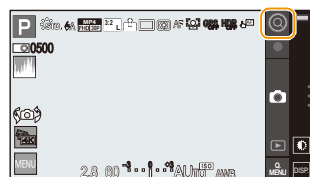
風景などを広く(広角:W側)撮ったり人や物を大きく(望遠:T側)撮ることができます。(最大 4 倍)

画面をピンチイン / ピンチアウトする

または

コントロールリングで操作する(P83)

- が表示されていない場合は、84ページの「コントロールリングで各種設定を変更する」をお読みください。
- / をタップしても、ズーム操作できます。
- / をロングタッチすると、連続的にズーム操作できます。



ズーム種別について

EX光学ズームやiAズーム、デジタルズームを使用して拡大できます。ズーム種別の組み合わせは記録画素数により固定されています。

EZ	EX光学ズーム	● EX付きの記録画素数(P103)を選ぶと働きます。画像を劣化させずに拡大します。
iA	iAズーム	● 画質の劣化を抑えつつズーム倍率を上げることができます。
デジタル	デジタルズーム	● 拡大するほどに劣化しますが、ズーム倍率をさらに上げることができます。



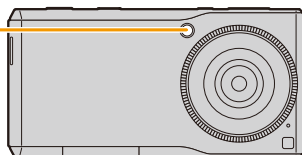
- 以下の場合、ズームは使えません。
 - クリエイティブコントロールモードの[インプレッシブアート]、[トイフォト]、[トイポップ]、[ジオラマ]
 - シーンガイドモードの[夜景を手持ちで撮る] – 撮影メニューの[連写]を[SH]に設定したとき
 - [HDR]を[ON]に設定時
 - [クオリティ]を[RAW]または[RAW]に設定時
- 以下の場合、ピンチイン / ピンチアウトによるズーム操作はできません。
 - [タッチ設定]の[タッチシャッター]設定時

フラッシュを使って撮る

使えるモード:

内蔵フラッシュを使うと、暗い場所で撮影したり、背景が明るいときに被写体を照らして全体のコントラストを調整することができます。

フラッシュ発光部
指などで塞がない
ようにしてください。



撮影画面 → [MENU] → [撮影] → [フラッシュ]

[A]	(オート)	撮影状況に応じて、自動的にフラッシュが発光します。 ● [連写]、[オートブラケット] または動画撮影時は、撮影状況に応じて [D] となります。撮影終了まで消灯しません。
[]	(強制発光)	フラッシュを強制的に発光させます。 ● [連写]、[オートブラケット] または動画撮影時は、一時的に [A] になります。
[D]	(常時点灯)	常時点灯させます。 ● [A]、[] での撮影時より撮影可能範囲は狭くなります。
[]	(発光禁止)	どのような撮影状況でもフラッシュが発光しません。 ● フラッシュ禁止の場所で撮影するときなどに適しています。



● 赤目を補正するには(P112)

■ フラッシュ撮影可能範囲

フラッシュ撮影時に被写体との距離が近い場合、レンズでフラッシュ光が遮られたり、フラッシュ光の照明範囲外となるため、撮影画像の一部が暗くなります。被写体との距離を確認しながら撮影してください。

	W端時
ISO感度[AUTO]設定時	約60 cm～約5.3 m

- [ISO感度上限設定](P112)を[OFF]に設定時の範囲です。



- 被写体に近すぎたりフラッシュが十分に届かない被写体を撮影すると、適正露出にならず、白っぽく撮れる場合や暗くなる場合があります。
- フラッシュが十分に届かない被写体を撮影すると、ホワイトバランスが合わない場合があります。

■ フラッシュモード別のシャッタースピード

フラッシュモード	シャッタースピード(秒)
⚡A	60～1/16000([シャッター方式] の[オート]設定時) 60～1/2000([シャッター方式] の[メカシャッター]設定時)
⚡	
⌂	
Ⓢ	

■ 撮影モード別フラッシュ設定

設定できるフラッシュ設定は、撮影モードによって異なります。

(○：設定可、×：設定不可)

撮影モード		⚡	⚡	HD	④
iA	インテリジェントオートモード	○	×	×	○
iA+	インテリジェントオートプラスモード	○	×	×	○
P	プログラムAEモード	○	○	○	○
A	絞り優先AEモード	○	○	○	○
S	シャッター優先AEモード	○	○	○	○
M	マニュアル露出モード	○	○	○	○
🌀	クリエイティブコントロールモード	×	×	×	○
📷	パノラマモード	×	×	×	○
SCN シーンガイド モード	人物をきれいに撮る	○	○	×	○
	人物の肌をきれいに撮る	○	○	×	○
	逆光でふんわり撮る	×	×	×	○
	ほのぼのした雰囲気撮る	×	×	×	○
	子どもをかわいく撮る	○	○	×	○
	風景をきれいに撮る	×	×	×	○
	青空をさわやかに撮る	×	×	×	○
	夕焼けを幻想的に撮る	×	×	×	○
	夕焼けを印象的に撮る	×	×	×	○
	水面をキラキラ撮る	×	×	×	○
	夜景をきれいに撮る	×	×	×	○
	夜空をクールに撮る	×	×	×	○
	夜景を暖かく撮る	×	×	×	○
	夜景をアーティスティックに撮る	×	×	×	○
	イルミネーションをキラキラ撮る	×	×	×	○
	夜景を手持ちで撮る	×	×	×	○
	夜景をバックに人物をきれいに撮る	○	○	×	○
	料理をおいしそうに撮る	○	○	×	○
	スイーツをかわいく撮る	○	○	×	○
	動くペットをきちんと撮る	○	○	×	○
	スポーツをきれいに撮る	○	○	×	○
	モノクロで撮る	○	○	×	○



- 撮影モードを変更すると、フラッシュの設定が変わることがあります。変更が必要な場合には、再度フラッシュ設定をしてください。
- 以下の場合、フラッシュは④に固定されます。
 - [HDR]を[ON]に設定時
 - [サイレントモード]を[ON]に設定時

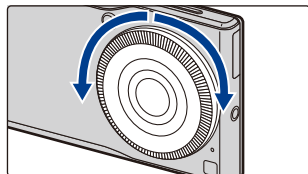
コントロールリングを操作する

使えるモード：   **P** **A** **S** **M** **C1** **C2**   

コントロールリングには撮影モードに応じた機能が割り当てられています。

■ コントロールリングを回す

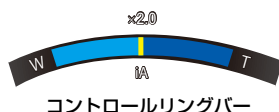
コントロールリングに割り当てられている機能は撮影画面から直接コントロールリングを回して設定できます。コントロールリングに割り当てられている初期設定は撮影モードにより異なります。



■ タッチ操作でコントロールリングバーを操作する

設定する機能によりコントロールリングバーの操作方法は異なります。

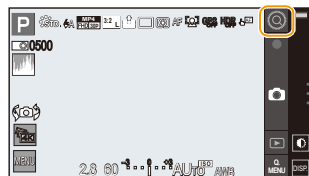
- コントロールリング上の項目をタップして設定する
- コントロールリング上のスライドバーをドラッグして設定したい数値まで移動させる



■ コントロールリングで各種設定を変更する

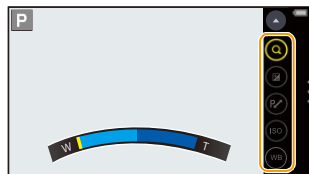
1 [Q]をタップする

- 撮影画面で表示されている機能を設定する場合は、[Q]をタップせずにそのままコントロールリングを回してください。



2 項目を選ぶ

[Q]	ズーム(P79)
[Fn]	ボケ味コントロール(P55)
[WB]	ホワイトバランス調整(P56)
[ISO]	露出補正(P85)
[P]	プログラムシフト(P57)
[ISO]	ISO感度(P86)
[WB]	ホワイトバランス(P87)
[F]	絞り値 (P58,60)
[SS]	シャッタースピード (P59,60)
[C]	クリエイティブコントロール選択 (P70)
[SCN]	シーンガイド選択(P63)



- 表示される項目や順番は撮影モードにより異なります。

3 コントロールリングを操作する(P83)

4 [M]をタップしてメニューを終了する

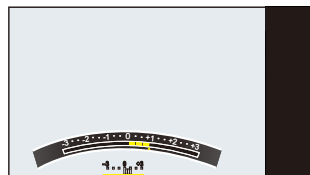
露出を補正して撮る

使えるモード：         

被写体と背景の明るさに大きく差がある場合など、適正な露出が得られないときに補正します。

1  →  (P83)

2 コントロールリングを操作して設定する



露出アンダー	適正露出	露出オーバー
		
露出をプラス方向に補正してください。		露出をマイナス方向に補正してください。

● 露出を補正しない場合は、[±0]を選んでください。

3  をタップする

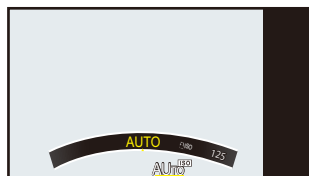
ISO感度を設定する

使えるモード:           

光に対する感度(ISO感度)を設定できます。数値を高く設定すると、暗い場所でも明るく撮ることができます。

1 $[\textcircled{Q}] \rightarrow [\textcircled{\text{ISO}}] (\text{P83})$

2 コントロールリングを操作して設定する



[AUTO]	明るさに応じて、自動的にISO感度を調整します。 ●最大[3200]*¹
[iISO](インテリジェント)	被写体の動きを検知し、被写体の動きと明るさに応じて最適なISO感度とシャッタースピードを本機が自動的に設定して、被写体のブレを抑えます。 ●最大[3200]*¹ ●シャッタースピードはシャッターボタン半押し時に固定されず、全押しするまで常に被写体の動きに合わせて変化します。
[L.100]*²/[125]/[200]/[400]/[800]/[1600]/[3200]/[6400]/[12800]/[H.25600]*²	それぞれのISO感度に固定します。 ●撮影メニューの[iISO感度ステップ](P113)を[1/3 EV]に設定しているときは、設定できるISO感度の項目が増加します。

※1 撮影メニューの[ISO感度上限設定](P112)を[OFF]以外に設定しているときは、[ISO感度上限設定]の設定値までの範囲で自動的に設定します。

※2 [拡張ISO感度]を設定時のみ

3 をタップする

ISO感度の性質

	125	12800
撮影場所(お勧め)	明るいとき(屋外)	暗いとき
シャッタースピード	遅くなる	速くなる
ノイズ	少ない	多い
被写体ブレ	多い	少ない

- [AUTO] 設定時のフラッシュ撮影可能範囲については、81 ページをお読みください。
- 以下の場合は [ISO] は使えません。
 - シャッター優先 AE モード
 - マニュアル露出モード
- 以下の場合は [AUTO] は使えません。
 - マニュアル露出モード

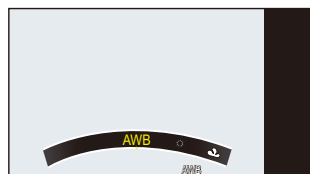
ホワイトバランスを調整する

使えるモード：         

太陽光や白熱灯下など、白色が赤みがかったり青みがかったりする場面で、光源に合わせて見た目に近い白色に調整します。

1 [C] → [WB] (P83)

2 コントロールリングを操作して項目を選ぶ

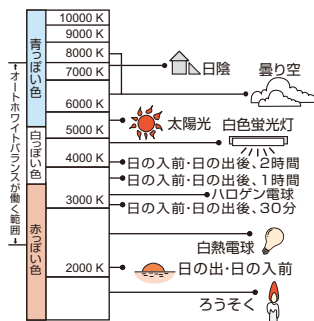


[AWB]	(オート ホワイトバランス)	自動調整
[☀]	(晴天)	晴天の屋外での撮影時
[☁]	(曇り)	曇りの屋外での撮影時
[☖]	(日陰)	屋外の晴天下の日陰での撮影時
[💡]	(白熱灯)	白熱灯下での撮影時
[K]	(色温度)	あらかじめセットしている色温度設定を使用
[📷]	(セットモード)	手動で設定した設定値を使用

- 蛍光灯やLEDなどの照明下では、その種類によって最適なホワイトバランスは異なりますので、[AWB]または[📷]をご使用ください。
- フラッシュ撮影時、フラッシュ撮影可能範囲(P81)外で撮影すると、ホワイトバランスが合わない場合があります。
- シーンガイドモードでは、シーンまたは撮影モードを変更すると、設定したホワイトバランス(ホワイトバランス微調整も含む)は[AWB]に戻ります。
- 以下のシーンガイドモードでは、ホワイトバランスは[AWB]に固定されます。
 - [逆光でふんわり撮る]/[ほのぼのした雰囲気撮る]/[風景をきれいに撮る]/[青空をさわやかに撮る]/[夕焼けを幻想的に撮る]/[夕焼けを印象的に撮る]/[水面をキラキラ撮る]/[夜景をきれいに撮る]/[夜空をクールに撮る]/[夜景を暖かく撮る]/[夜景をアーティスティックに撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/[夜景を手持ちで撮る]/[夜景をバックに人物をきれいに撮る]/[料理をおいしそうに撮る]/[スイーツをかわいく撮る]

■ オートホワイトバランスについて

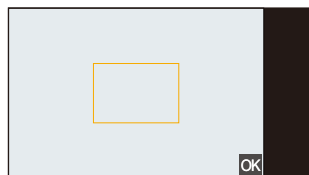
撮影時の状況によっては、画像が赤っぽくなったり、青っぽくなったりします。また、光源が複数の場合や白に近い色がない場合、オートホワイトバランスが正常に働かない場合があります。この場合は、ホワイトバランスを [AWB] 以外に設定して調整してください。



■ 手動でホワイトバランスを設定する

ホワイトバランスの設定値を設定します。撮影時の状況に合わせてお使いください。

- 1 [■] を選ぶ (P87)
- 2 [📷] をタップする
- 3 白い紙など白いものだけを画面全体に映し、[OK] をタップする

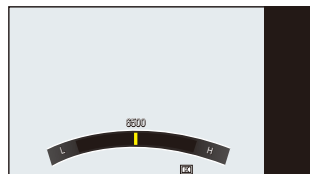


- 被写体が明るすぎたり、暗すぎたりすると、ホワイトバランスを設定できない場合があります。そのときは適切な明るさに調整して再度設定してください。

色温度設定

撮影場所のいろいろな光に合わせて自然な色合いの撮影ができるよう、手動で色温度を設定することができます。色温度とは、光の色を数値[単位:K(ケルビン)]で表したもので、温度が高いほど青っぽく、低いほど赤っぽくなります。

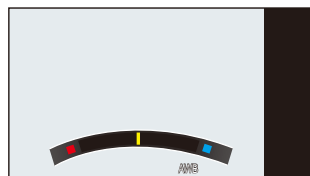
- 1 [Q] → [WB](P83)
- 2 コントロールリングを操作して [K] を中央に合わせる
- 3 [fx] をタップする
- 4 コントロールリングを操作して設定する
 - [2500] ~ [10000] まで設定できます。



ホワイトバランス微調整

ホワイトバランスを設定しても、思いどおりの色合いにならないときに、微調整することができます。

- 1 [Q] → [WB](P83)
- 2 [fx] をタップする
- 3 コントロールリングを操作して設定する
 - 左側: 赤(青みが強い場合)
 - 右側: 青(赤みが強い場合)
 - ホワイトバランス微調整をしない場合は、ホワイトバランス微調整バーを中央に戻してください。



- ホワイトバランスを微調整すると、画面に表示されるホワイトバランスアイコンが、赤または青に変わります。
- ホワイトバランスの微調整は、フラッシュ撮影にも反映されます。
- ホワイトバランスの各項目で独立して微調整することができます。

メニューを使って設定する

お好みの撮影ができるように設定したり、使いやすくなるためのメニューを用意しています。

例) 撮影メニューで、[クオリティ]を[]から[]に設定する

1 撮影画面 → [MENU]

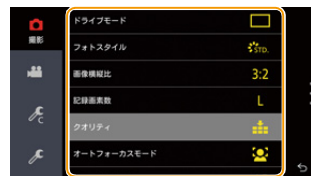


2 メニューを選ぶ

	撮影(P95～) 横縦比、画素数などをお好みで設定できます。
	動画(P92～) 画質設定など、動画撮影時の設定ができます。
	カスタム(P115～) 撮影スタイルに合わせてお好みの動作環境を設定できます。
	設定(P121～) 画像の保存先の変更など、使いやすさの設定ができます。

3 メニュー項目を選ぶ

- 隠れている項目を表示させるには、画面をスクロールさせてください。



4 設定内容を選ぶ

- 撮影モードによって、選択できる設定内容が変化します。



- 本機では仕様上、お使いのモードやメニュー設定により、設定できなくなったり、動かなくなる機能があります。

■ メニューを終了する

撮影画面に戻るまで、繰り返し[]をタップする

- シャッターボタンを半押ししてもメニュー画面を終了できます。

メニュー一覧

撮影

画像横縦比、記録画素数などをお好みで設定できます。

- [フォトスタイル]、[測光モード]、[iDレンジコントロール]、[超解像]は、撮影メニューと動画メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。

ドライブモード	シャッターボタンを押したときの動作を切り換えることができます。	P95
フォトスタイル	撮影したいイメージに合わせて効果を選択することができます。効果の色や画質を調整することができます。	P100
画像横縦比	画像の横縦比を設定します。	P102
記録画素数	記録画素数を設定します。	P103
クオリティ	画像を保存するときの圧縮率を設定します。	P104
オートフォーカスモード	被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせ方を選択できます。	P105
フォーカスモード	ピントの合わせ方を選択できます。	P105、107
フラッシュ	内蔵フラッシュの設定を選択できます。	P80
測光モード	明るさを測る測光方式を設定します。	P108
iDレンジコントロール	コントラストや露出を補正します。	P109
超解像	より輪郭がはっきりした、解像感がある写真を撮影します。	P109
HDR	露出の異なる写真を3枚撮影して1枚の階調豊かな写真に合成します。	P110
シャッター方式	撮影の状況やシャッタースピードに応じてシャッター方式が自動で切り換わる方式と、メカシャッターのみの方式を選択できます。	P111
デジタル赤目補正	フラッシュ発光での赤目を自動的に検出し、画像データを修正します。	P112
ISO感度上限設定	ISO感度が[AUTO]または[ISO]のときに、選択した数値を上限として最適なISO感度を設定します。	P112
ISO感度ステップ	ISO感度の設定を1/3 EVごと、または1 EVごとの設定値に変更します。	P113
拡張ISO感度	設定できるISO感度の数値を拡張することができます。	P113
色空間	撮影した画像をパソコンの画面やプリンターなどで再現する場合に、色再現を正しく行うための方式を設定します。	P114

動画

画質設定など、動画撮影時の設定ができます。

- [フォトスタイル]、[測光モード]、[iDレンジコントロール]、[超解像]は、撮影メニューと動画メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。
- 詳しくは、撮影メニューの同じ項目をお読みください。

画質設定	記録する動画の画質(サイズ、フレームレートなど)を設定します。	P49
------	---------------------------------	-----

カスタム

撮影スタイルに合わせてお好みの動作環境を設定できます。

カスタムセット登録	現在のカメラ機能の設定をカスタムセットとして登録します。	P62
サイレントモード	操作音と発光の禁止を一括で設定します。	P115
AF/AEロック切換	AF/AEロックを行ったときに、ピントや露出の固定内容を設定します。	P116
AF補助光	暗い場所での撮影時、ピントを合わせやすくするためにシャッターボタン半押しでAF補助光ランプが点灯します。	P117
ピーキング	手動でピントを合わせているときに、ピントが合っている部分に色を付けて表示します。	P118
ピーキング検出レベル	ピントが合っている部分の検出レベルを設定します。	P118
ヒストグラム表示	ヒストグラムを表示するかしないかを設定します。	P119
ガイドライン表示	撮影時に表示するガイドラインのパターンを設定します。	P119
オートレビュー	写真撮影後に撮影画像を表示する時間を設定します。	P119
タッチ設定	撮影時にディスプレイ上でタップした位置にピントや明るさを合わせる設定ができます。	P120
タッチシャッター設定	インカメラ使用時にタッチシャッターを使用するかしないかを設定します。 インカメラ使用時のみ表示されます。	—
ボリュームボタン設定	[▲]/[▼]ボタンに撮影時によく使う機能を割り当てることができます。	P120

■ 設定

画像の保存先の変更など、使いやすさの設定ができます。

位置情報記録	撮影時、写真や動画に撮影場所の位置情報を付けるか付けないかの設定をします。	P121
保存先	撮影した画像の保存先を設定します。	P121
自動バックアップ	カメラ機能終了時に、撮影した画像をGoogleドライブにバックアップするかしないかの設定をします。	P121
自動終了	何も操作しなかった場合のカメラ機能終了までの時間を設定します。	P121
高輝度モード	高輝度モードを使用するかしないかを設定します。	P121
プレビュー表示モード	撮影時の画面の表示速度を設定します。	P121
AF音	AF音を鳴らすか鳴らさないかを設定します。	P122
シャッター音	シャッター音を鳴らすか鳴らさないかを設定します。	P122
水準器調整	本機を横向きに構えた状態での水平方向の基準を設定することができます。	P122
番号リセット	画像のファイル番号を0001に戻します。	P122
設定リセット	設定をお買い上げ時の状態に戻します。	P122

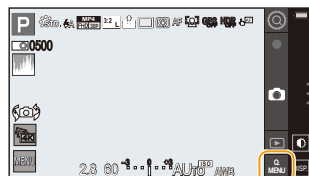
よく使うメニューをすぐに呼び出す(クイックメニュー)

クイックメニューを使うと、一部のメニューを簡単に呼び出すことができます。

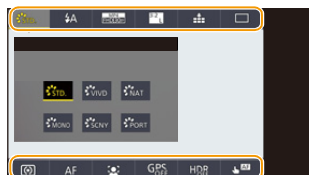
- モードや表示画面によっては、設定できない項目もあります。

1 撮影画面 → [0. MENU]

- 撮影画面で変更したいアイコンをタッチしてもメニューを呼び出せます。



2 メニュー項目を選ぶ



3 設定内容を選ぶ



4 設定が終了したら[戻る]をタップしてメニューを終了する

撮影メニューを使う

ドライブモードを選ぶ

使えるモード:   **P** **A** **S** **M** **C1** **C2**   

シャッターボタンを押したときの動作を切り換えることができます。

撮影画面 →  →  [撮影] → [ドライブモード] (P90)

 (単写)	シャッターボタンを押すと1枚だけ撮影します。
 (連写) (P96)	シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。
 (オートブラケット) (P98)	シャッターボタンを押すと、露出の補正幅に従って3枚連続で撮影します。
 (セルフタイマー) (P99)	シャッターボタンを押すと、設定した時間後に撮影します。

連写する

使えるモード：  **P** **A** **S** **M** **C1** **C2** **SCN**  

シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。

- 連写速度を[SH]に設定時は、シャッターボタンを1回押すと最大23コマ撮影されます。
- 連写した写真は、ひとつの連写グループとして記録されます。

1 撮影画面 → [MENU] → [撮影] → [ドライブモード] → [連写](P90)

2 連写速度を選ぶ

	[SH] (超高速) ^{※1}	[H](高速)	[M](中速)	[L](低速)
連写速度	50コマ/秒	10コマ/秒	5コマ/秒	2コマ/秒
連写中のライブビュー	なし	なし	あり	あり
連写 コマ数	RAWファイルあり ^{※2}	—	microSDカードの空き容量に依存 ^{※3}	
	RAWファイルなし	23 コマ		

※1 電子シャッターが働きます。

※2 撮影条件によっては連写コマ数が少なくなる場合があります。(例えば、撮影メニューの[超解像]を設定すると、連写コマ数が少なくなる場合があります)

※3 内蔵メモリー、または microSD カードの空き容量がいっぱいになるまで撮影されますが、途中から連写速度が遅くなります。遅くなるタイミングは画像横縦比、記録画素数、クオリティの設定、使用する microSD カードによって異なります。

- 連写速度は、以下の設定によって低下することがあります。
 - [記録画素数](P103)/[クオリティ](P104)/[ISO感度](P86)/[フォーカスモード](P105、107)
- RAWファイルについては、104ページをお読みください。

3 ピントを合わせて撮影する

- シャッターボタンを押したままにすると連続撮影されます。





- ピントは1コマ目に固定されます。
- [SH]/[H]設定時は露出、ホワイトバランス、ISO感度は1コマ目の設定に固定されます。
- [SH]/[H]設定時は、被写体の明るさの変化によっては、2枚目以降が明るく撮れたり、暗く撮れたりする場合があります。
- [H]/[M]/[L]設定時、連写枚数が多くなると途中で連写速度が低下することがあります。
- 暗いところでは、シャッタースピードが遅くなるため、連写速度(コマ/秒)が遅くなることがあります。
- 撮影を繰り返すと、使用条件によっては、次の撮影まで時間がかかる場合があります。
- 連写した写真の保存には時間がかかる場合があります。連写時は、高速タイプのmicroSDカードのご使用をお勧めします。**



- 以下の場合、連写は無効になります。
 - シーンガイドモードの[水面をキラキラ撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/[夜景を手持ちで撮る]
 - クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]/[クロスフィルター]
 - 動画撮影時
 - [HDR]を[ON]に設定時
- 以下の場合、連写の[SH]は使えません。
 - [クオリティ]を[RAW]または[RAW]に設定時

露出を自動的に変えながら撮る(オートブラケット撮影)

使えるモード:   **P** **A** **S** **M** **C1** **C2** **SCN**  

1 回シャッターボタンを押すと、露出の補正幅に従って自動的に3枚撮影します。

オートブラケット±1 EVの場合

1 枚目



± 0 EV

2 枚目



- 1 EV

3 枚目



+ 1 EV

1 撮影画面 → [MENU] →  [撮影] → [ドライブモード] → [オートブラケット] (P90)

2 補正幅を設定する

3 ピントを合わせて撮影する



 ● 露出補正をしてからオートブラケット撮影をする場合は、補正された露出値を基準にして撮影されます。

-  ● 以下の場合、オートブラケットは無効になります。
- シーンガイドモードの[水面をキラキラ撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/[夜景を手持ちで撮る]
 - クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]/[クロスフィルター]
 - 動画撮影時
 - [HDR]を[ON]に設定時

セルフタイマーを使って撮る

使えるモード: **P** **A** **S** **M** **C1** **C2** **SCN**

1 撮影画面 → [MENU] → [撮影] → [ドライブモード] → [セルフタイマー](P90)

2 セルフタイマーの時間を選ぶ

(2秒)	2秒後に撮影します。 ●本機を固定しての撮影時などシャッターボタンを押したときのカメラブレを防ぐのに便利です。
(10秒)	10秒後に撮影します。

3 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する

- フォーカスと露出はシャッターボタン半押し時に固定されます。



- セルフタイマー撮影時は、本機を固定しての使用をお勧めします。

- 以下の場合、セルフタイマーは無効になります。
－動画撮影時

効果をつけて画質を調整する(フォトスタイル)

使えるモード:   **P** **A** **S** **M** **C1** **C2** **SCN**  

撮影したいイメージに合わせて効果を選択することができます。効果の色や画質を調整することができます。

撮影画面 → [] →  [撮影] → [フォトスタイル]

[ STD.]	(スタンダード)	標準的な設定
[ VIVID]	(ヴィヴィッド)*	彩度高め、コントラスト高めの鮮やかな効果
[ NAT]	(ナチュラル)*	コントラスト低めの柔らかな効果
[ MONO]	(モノクローム)	色味を抜いた単色の効果
[ SCNY]	(風景)*	青空や緑を鮮やかにし、風景撮影に適した効果
[ PORT]	(人物)*	健康的できれいな肌色にし、人物撮影に適した効果

※ インテリジェントオートプラスモード時は設定できません。



- シーンガイドモード時は、それぞれのシーンに合ったフォトスタイルに固定されます。

■ 画質調整する

●インテリジェントオートプラスモード時は画質調整することはできません。

1 設定したいフォトスタイルをタップする

2 設定したい項目をタップする

3 [●]または[●]をタップして調整する

●スライダーをタップしても調整できます。



[●] (コントラスト)	+	画像の明暗差を大きくします。
	-	画像の明暗差を小さくします。
[S] (シャープネス)	+	画像の輪郭を強調します。
	-	画像の輪郭を柔らかくします。
[●] (彩度)*	+	派手で鮮やかな色になります。
	-	落ち着いた色になります。
[●] (色調)*	+	青っぽい色になります。
	-	黄色っぽい色になります。
[NR] (ノイズリダクション)	+	ノイズリダクションの効果を強め、ノイズを軽減します。 解像感が僅かに低下する場合があります。
	-	ノイズリダクションの効果を弱め、より解像感のある画質を得ることができます。

※ [モノクローム]選択時のみ[色調]が表示されます。それ以外では[彩度]が表示されます。

●画質調整すると、撮影画面のフォトスタイルアイコンに[+]が表示されます。

4 [←]をタップしてメニューを終了する

画像の横縦比を設定する

使えるモード：  **P** **A** **S** **M** **C1** **C2** **SCN**  

プリントや再生方法に合わせて、画像の横縦比を選択できます。
お買い上げ時は、[3:2]が設定されています。

撮影画面 →  →  [撮影] → [画像横縦比]

[4:3]	4:3テレビの横縦比
[3:2]	一般のフィルムカメラの横縦比
[16:9]	ハイビジョンテレビなどの横縦比
[1:1]	正方形横縦比



- プリント時に端が切れることがありますので、事前にご確認ください。

記録画素数を設定する

使えるモード：  **P** **A** **S** **M** **C1** **C2** **SCN**  

記録画素数を設定します。

画素数が大きいほど、大きな用紙にプリントしても鮮明な画像になります。

撮影画面 →  →  [撮影] → [記録画素数]

画像横縦比	設定		画像サイズ
[4:3]	[L]	18M	4864×3648
	[EX M]	9M	3456×2592
	[EX S]	4.5M	2432×1824
	[EX XS]	0.3M	640×480
[3:2]	[L]	20M	5472×3648
	[EX M]	10M	3888×2592
	[EX S]	5M	2736×1824
	[EX XS]	2.5M	1920×1280
[16:9]	[L]	17M	5472×3080
	[EX M]	8M	3840×2160
	[EX S]	3.5M	2560×1440
	[EX XS]	2M	1920×1080
[1:1]	[L]	13M	3648×3648
	[EX M]	7M	2592×2592
	[EX S]	3.5M	1824×1824
	[EX XS]	0.4M	640×640



- 連写速度を [SH] に設定時は、記録画素数は [**S**] に固定されます。

画像の圧縮率を設定する(クオリティ)

使えるモード:

画像を保存するときの圧縮率を設定します。

撮影画面 → [MENU] → [撮影] → [クオリティ]

設定	ファイル形式	設定内容
(ファイン)	JPEG	画質を優先したJPEG画像です。
(スタンダード)		標準画質のJPEG画像です。 画素数を変えずに記録枚数を増やす場合などに便利です。
(RAW+ ファイン)	RAW+ JPEG	RAW画像とJPEG画像()を同時に記録できます。
[RAW]	RAW	RAW画像のみを記録できます。*

※ 各画像横縦比の最大記録画素数([L])に固定されます。

RAWについて

RAW形式とは、カメラで画像処理が行われていないそのままのデータ形式です。本機の再生画面ではRAW画像内のサムネイルを簡易的に再生しています。そのため、画像が粗く表示され、拡大率も低くなります。

RAW画像の編集にはパソコンなどで専用のソフトウェアを必要とします。

専用のソフトウェアを使うことで、撮影後のホワイトバランスの修正といった高度な編集や、パソコンで表示できるファイル形式(JPEG、TIFFなど)で保存ができます。JPEG形式よりも高画質で記録できますが、データ容量が大きくなります。

- パソコンでのRAWファイルの現像や編集には、市川ソフトラボラトリー「SILKYPIX Developer Studio」をお使いください。

ダウンロード方法

「SILKYPIX Developer Studio」は、下記のサイトからダウンロードして、パソコンにインストールしてください。

<http://www.isl.co.jp/SILKYPIX/japanese/p/>

対応 OS: Windows Vista®/Windows® 7/Windows® 8/Windows® 8.1

Mac OS X v10.5 ~ v10.10

- 以下の効果は、RAW画像には反映されません。
 - インテリジェントオートプラスモード
 - クリエイティブコントロールモード
 - ホワイトバランス
 - 撮影メニューの[フォトスタイル]、[iDレンジコントロール]、[デジタル赤目補正]、[超解像]、[色空間]
 - シーンガイドモード
- 以下の場合、 または [RAW] に設定できません。
 - シーンガイドモードの[夜景を手持ちで撮る]

オートフォーカスモードの種類を選ぶ(オートフォーカスモード)

使えるモード: **P** **A** **S** **M** **C1** **C2** **SCN**

被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせ方を選択できます。

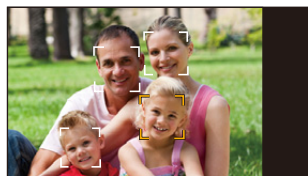
撮影画面 → **[MENU]** → **[撮影]** → **[オートフォーカスモード](P90)**

(顔認識)	人の顔を自動的に検知します。(最大15個) 認識された顔がどの位置にあっても、顔にピントや露出を合わせることができます。
(追尾AF)	指定した被写体にピントを合わせることができます。さらに、被写体が動いても自動でピントを合わせ続けます。(動体追尾)
(23点)	AFエリアごとに最大23点までピントを合わせることができます。 被写体が中央にない場合に有効です。 (AFエリア枠は画像横縦比の設定と同じになります)
(1点)	中央のAFエリア内にピントを合わせます。

(顔認識)について

カメラが顔を認識すると以下の色のAFエリアが表示されます。

黄色	シャッターボタンを半押しし、ピントが合うと緑色に変わります。
白色	複数の顔を認識すると表示されます。黄色のAFエリア内の顔と同じ距離にある顔にはピントが合います。



- 以下の場合など、撮影状況によっては、顔認識機能が動かず、顔が検知できないことがあります。その間、オートフォーカスモードはに切り換わります。
 - 顔が正面を向いていない/傾いている/極端に明るいまは暗い/サングラスなどで隠れている/小さく写っている
 - 顔の陰影が少ない
 - 動きが速い
 - 被写体が人物以外である
 - 手ブレしている

■ 「AF」(追尾AF)について

シャッターボタン操作時

- 被写体を追尾AFエリアに合わせ、シャッターボタンを半押しするとロックできます。
 - 被写体を認識すると、AFエリアが緑色になります。
 - シャッターボタンを離すとAFエリアが黄色に変わります。

タッチパネル操作時

- 被写体をタップしてロックできます。
 - タッチ設定を[タッチ AF]に設定してください。
 - ロック中はAFエリアが黄色になります。

追尾AFエリア



- [OFF] をタッチすると、ロックは解除されます。
- ロックに失敗したときは、追尾AFエリアが赤く点滅したあとに消えます。もう一度ロックをやり直してください。
- 追尾AFに失敗したときは、[] の動作になります。
- 以下の場合、オートフォーカスモードは [] に固定されます。
 - 動画撮影時
- 以下の場合、オートフォーカスモードは [] に固定されます。
 - クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]

- 以下の場合、[] に設定できません。
 - シーンガイドモードの[夜景をきれいに撮る]/[夜空をクールに撮る]/[夜景を暖かく撮る]/[夜景をアーティスティックに撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/[夜景を手持ちで撮る]/[料理をおいしそうに撮る]/[スイーツをかわいく撮る]
- 以下の場合、[] に設定できません。
 - シーンガイドモードの[水面をキラキラ撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/[モノクロで撮る]
 - クリエイティブコントロールモードの[セピア]/[モノクローム]/[ダイナミックモノクローム]/[クロスフィルター]
 - [フォトスタイル]の[モノクローム]
- 以下の場合、[] に設定できません。
 - インテリジェントオートモード
 - インテリジェントオートプラスモード
- 以下の場合、[] に設定できません。
 - インテリジェントオートモード
 - インテリジェントオートプラスモード
- 以下の場合は、動物追尾機能が働かないことがあります。
 - 被写体が小さすぎる
 - 撮影場所が明るすぎる/暗すぎる
 - 被写体の動きが速い
 - 被写体と背景の色が同じか類似した色があるとき
 - 手ブレしている

手動でピントを合わせて撮る(MF)

使えるモード: **[A]** **[Av]** **[P]** **[A]** **[S]** **[M]** **[C1]** **[C2]** **[SCN]** **[👤]** **[📷]**

ピントを固定したい場合や、被写体との距離が固定されていて、オートフォーカスを働かせたくない場合などに使います。

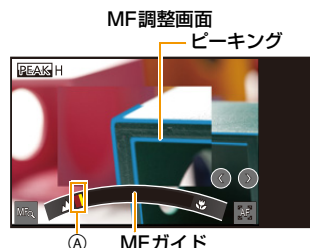
1 撮影画面 → **[MENU]** → **[📷]** [撮影] → [フォーカスモード] → [MF] (P90)

2 **[MF]** をタップする

- MF 調整画面に切り換わります。

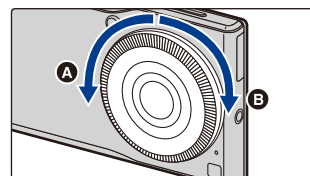
3 拡大表示する部分をタップする

- **[MFv]** をタップして、拡大画面の表示/非表示を切り換えることができます。



4 コントロールリングを操作して、ピントを合わせる

- **[<]** / **[>]** をタップしてもピント操作できます。
- **[<]** / **[>]** をロングタッチして連続的にピント位置の移動ができます。④の位置でいったん止まりますが、**[<]** をタップすると、さらに遠距離側へピント位置を移動できます。
- **[△]** または **[👤]** をタップして素早くピント位置の移動ができます。④の位置でいったん止まりますが、**[<]** をタップするとさらに遠距離側へピント位置を移動できます。



A 側に回す: 近くにピントを合わせる

B 側に回す: 遠くにピントを合わせる

- ピントが合っている部分に色が付いて表示されます。(ピーキング) (P118)
- 近距離側、遠距離側へピントを合わせる方向を確認できます。(MFガイド)

MF調整画面について

拡大位置を移動する

- 拡大したい箇所をタップ、または拡大画面をドラッグしても移動できます。
- 以下の操作を行うと、拡大位置は中央に戻ります。
 - カメラ機能を終了したとき

MF調整画面を終了する

- シャッターボタンを半押しすると終了します。



オートフォーカスを使って素早くピントを合わせる

MF調整画面時に[AF]をタップするとオートフォーカスが働きます。

- MF調整画面でオートフォーカスを働かせると、拡大画面の中央でピントを合わせます。



- 以下の場合、[MF]は使えません
 - クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]
 - 動画撮影時

明るさの測り方を選ぶ(測光モード)

使えるモード: **P** **A** **S** **M** **C1** **C2**

明るさを測る測光方式を切り換えることができます。

撮影画面 → [MENU] → [撮影] → [測光モード]

(マルチ測光)	画面全体の明るさの配分を本機が自動的に評価して、露出が最適になるように測光する方式です。通常はこの方式に合わせて使用することをお勧めします。
(中央重点)	画面中央部の被写体に重点を置いて、画面全体を平均的に測光する方式です。
(スポット)	スポット測光ターゲット上の被写体に対して測光する方式です。 スポット測光ターゲット



- 撮影メニューと動画メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。

コントラストや露出を補正する(iDレンジコントロール)

使えるモード:   **P** **A** **S** **M** **C1** **C2**   

背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、コントラストや露出を補正します。

撮影画面 →  →  [撮影] → [iDレンジコントロール]

設定: [AUTO]、[強]、[中]、[弱]、[OFF]



- [AUTO] では、撮影状況に合わせて効果の強さを自動的に設定します。



- 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。
- 以下の場合、[iDレンジコントロール]は動きません。
 - [HDR]を[ON]に設定時

解像感を高める(超解像)

使えるモード:   **P** **A** **S** **M** **C1** **C2**   

超解像技術を利用して、より輪郭がはっきりした、解像感がある画像を撮影することができます。

撮影画面 →  →  [撮影] → [超解像]

設定: [ON]、[OFF]

露出の異なる写真を合成する(HDR)

使えるモード：  **P** **A** **S** **M** **C1** **C2**   

露出の異なる写真を3枚撮影して1枚の階調豊かな写真に合成します。背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、黒つぶれや白飛びを抑えて撮影することができます。

HDR合成した画像はJPEGで記録されます。

撮影画面 →  **[MENU]** →  **[撮影]** → **[HDR]**

[ON]	HDR合成した写真を撮影します。
[OFF]	HDR合成を行いません。



HDRとは

High Dynamic Range(ハイダイナミックレンジ)の略で、幅広い明暗差を表現するための技術を表します。



- シャッターボタンを押したあと、連写中は本機を動かさないでください。
- 撮影後、連写した写真を合成するため、しばらくの間、次の撮影ができません。
- 手ブレしたり、動いている被写体を撮影すると、残像のように不自然に撮影される場合があります。
- フラッシュはに固定されます。



- 動画撮影中の写真記録では働きません。
- 以下の場合、[HDR]は使えません。
 - [クオリティ]をまたは**[RAW]**に設定時

シャッター方式を設定する（シャッター方式）

使えるモード： **P** **A** **S** **M** **C1** **C2** **SCN**

メカシャッター方式と電子シャッター方式の2種類のシャッター方式があり、メカシャッター固定か自動選択で撮影できます。

撮影画面 → → **[撮影]** → **[シャッター方式]**

	[オート]	[メカシャッター]
機能	撮影状況やシャッタースピードに応じて、シャッター方式が自動で切り換わります。 ●機能の制約の少ない、メカシャッター方式を優先して使います。 ●シャッタースピードが 1/2000 秒より速い場合は、電子シャッター方式で撮影されます。	メカシャッター方式のみで撮影します。
シャッター スピード	60秒～1/16000秒	60 秒～1/2000秒
メカシャッター 方式	電子的に露光を開始し、メカシャッターで終了する方式です。	
電子シャッター 方式	露光の開始と終了を電子的に行う方式です。	



- 連写速度を[S/H]に設定時は、電子シャッターで撮影されます。
- 電子シャッターで撮影時は、動いている被写体を撮影すると、被写体が曲がって撮影される場合があります。
- 電子シャッターで撮影時は、蛍光灯やLEDなどの照明下では、横しまが撮影されることがあります。このようなときは、シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減されることがあります。(P59)

赤目を補正する(デジタル赤目補正)

使えるモード:

フラッシュが発光すると、デジタル赤目補正が働き、赤目を自動的に検出して画像データを修正します。

撮影画面 → → [撮影] → [デジタル赤目補正]

設定: [ON]、[OFF]



- 赤目の状態によっては補正できない場合があります。

ISO感度の上限を設定する(ISO感度上限設定)

使えるモード:

被写体の明るさに応じて、選択した数値を上限として最適なISO感度を設定します。

撮影画面 → → [撮影] → [ISO感度上限設定]

設定: [200]、[400]、[800]、[1600]、[3200]、[6400]、[12800]、[OFF]



- ISO感度が[AUTO]または[ISO]時に働きます。



- 以下の場合は、働きません。
 - シーンガイドモードの[夜景をきれいに撮る]/[夜空をクールに撮る]/[夜景を暖かく撮る]/[夜景を手持ちで撮る]
 - 動画撮影時

ISO感度のステップ幅を設定する (ISO感度ステップ)

使えるモード:         

ISO感度の設定を、1/3 EVごとの設定値に変更します。

撮影画面 → [MENU] →  [撮影] → [ISO感度ステップ]

[1/3 EV]	[L.100]*、[125]、[160]、[200]、[250]、[320]、[400]、[500]、[640]、 [800]、[1000]、[1250]、[1600]、[2000]、[2500]、[3200]、[4000]、 [5000]、[6400]、[8000]、[10000]、[12800]、[H.16000]*、 [H.20000]*、[H.25600]*
[1 EV]	[L.100]*、[125]、[200]、[400]、[800]、[1600]、[3200]、[6400]、[12800]、 [H.25600]*

※ [拡張ISO感度]を設定時のみ

- [1/3 EV]から[1 EV]に設定を変更すると、ISO感度は[1/3 EV]時に選んでいた設定値に最も近い値になります。

ISO感度を拡張する (拡張ISO感度)

使えるモード:         

設定できるISO感度の数値を拡張することができます。

撮影画面 → [MENU] →  [撮影] → [拡張ISO感度]

設定: [ON]、[OFF]

色空間を設定する（色空間）

使えるモード：   **P** **A** **S** **M** **C1** **C2** **SCN**  

撮影した画像をパソコンの画面やプリンターなどで再現する場合に、色再現を正しく行うための方式を設定します。

撮影画面 →  →  **[撮影]** → **[色空間]**

[sRGB]	sRGB 色空間に設定します。パソコンを中心とした機器で広く使われています。
[AdobeRGB]	AdobeRGB 色空間に設定します。 AdobeRGB 色空間は sRGB 色空間よりも色再現の範囲が広いので、主に商用印刷などの業務用途で使われています。



- AdobeRGB についての専門的な知識がない方は、sRGB に設定してください。
- 動画撮影時は、[sRGB] に固定されます。

カスタムメニューを使う

操作音と発光の禁止を一括で設定する(サイレントモード)

使えるモード:   **P** **A** **S** **M** **C1** **C2**   

静かな環境や公共の施設などで撮影するときや、赤ちゃんや動物などの被写体を撮影するときに使うと便利です。

撮影画面 →  →  [カスタム] → [サイレントモード]

設定: [ON]、[OFF]

- 操作音は消音に、フラッシュやAF補助光は発光禁止に設定されます。以下の設定が固定されます。
 - [フラッシュ]: 
 - [AF補助光]: [OFF]
 - [AF音]: [OFF]
 - [シャッター音]: [OFF]



- レンズの絞りの音など、本機の動作音は消音されません。
- パノラマモードでは設定できません。他の撮影モードで設定した内容が反映されます。

露出やピントを固定して撮る(AF/AE ロック切換)

使えるモード：        

被写体のコントラストが強すぎて適正露出が得られない場合(AEロック)や、被写体がAFエリアから外れた構図で撮りたい場合(AFロック)などに便利です。

1 撮影画面 → [MENU] → [カスタム] → [AF/AEロック切換] (P90)

[AE LOCK]	露出だけを固定します。 ● 露出が固定されると、[AEL]の表示が点灯します。
[AF LOCK]	ピントだけを固定します。 ● ピントが固定されると、[AFL]の表示が点灯します。
[AF/AE LOCK]	ピントと露出を固定します。 ● ピントと露出が固定されると、[AFL]と[AEL]の表示が点灯します。
[OFF]	—

2 被写体に画面を合わせる

3 AF/AEロックアイコン(など)をタップして、ピントや露出を固定する

- ロック解除アイコン( など)をタップすると、ロックは解除されます。

4 撮りたい構図に本機を動かし、シャッターボタンを全押する

- [AE LOCK]設定時は、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてから、全押ししてください。



- マニュアル露出モード時は、AFロックのみ有効です。
- マニュアルフォーカス時は、AEロックのみ有効です。
- AEロック時でも、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ直すことができます。
- AEロック時でも、プログラムシフトを設定できます。



- 動画撮影時は本機能は使えません。

AF補助光ランプを光らせる(AF補助光)

使えるモード:   **P** **A** **S** **M** **C1** **C2** **SCN**  

暗い場所での撮影時、ピントを合わせやすくするためにシャッターボタン半押しでAF補助光ランプが点灯します。(撮影に応じて大きなAFエリアが表示されます)

撮影画面 →  **[MENU]** →  **[カスタム]** → **[AF補助光]**

設定: **[ON]**、**[OFF]**

-  ● 補助光の有効距離は、約 1.5 m です。
- AF補助光は、画面中央部の被写体に対してのみ有効です。被写体を画面中央に配置してご使用ください。
- 暗闇で動物を撮るときなど、暗い場所でAF補助光ランプを光らせたくない場合は、**[OFF]**に設定してください。このとき、ピントは合いにくくなります。
-  ● 以下の場合では、**[OFF]**に固定されます。
 - シーンガイドモードの**[風景をきれいに撮る]**/**[青空をさわやかに撮る]**/**[夕焼けを幻想的に撮る]**/**[夕焼けを印象的に撮る]**/**[水面をキラキラ撮る]**/**[夜景をきれいに撮る]**/**[夜空をクールに撮る]**/**[夜景を暖かく撮る]**/**[夜景をアーティスティックに撮る]**/**[夜景を手持ちで撮る]**
 - **[サイレントモード]**を**[ON]**に設定時

ピントが合っている部分に色を付けて表示する(ピーキング)

使えるモード:   **P** **A** **S** **M** **C1** **C2** **SCN**  

マニュアルフォーカス時に手動でピント合わせをしているときに働きます。

撮影画面 → [MENU] →  [カスタム] → [ピーキング]

[ON]	ピントが合っている部分に色をつけて表示します。
[OFF]	ピントが合っている部分を表示しません。

ピントが合っている部分の検出レベルを設定する(ピーキング検出レベル)

使えるモード:   **P** **A** **S** **M** **C1** **C2** **SCN**  

撮影画面 → [MENU] →  [カスタム] → [ピーキング検出レベル]

[検出レベル高]	[検出レベル高]に設定すると、色を付けて表示される範囲を狭くするため、より厳密なピント合わせができます。 ピーキング表示の色を設定します。 [(水色)]/[(黄色)]/[(緑)]
[検出レベル低]	ピーキング表示の色を設定します。 [(青)]/[(オレンジ)]/[(白)]



- ピントが合う範囲は検出レベルの設定では変わりません。
- ピーキングを設定すると、MF調整画面に [PEAK H] (検出レベル高) または [PEAK L] (検出レベル低) が表示されます。
- 画面上で輪郭がはっきりした部分をピントが合っている部分として色を付けて表示するため、撮影条件により表示のされかたが異なります。
- 表示される色は撮影画像に影響はありません。

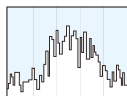
ヒストグラムを表示する(ヒストグラム表示)

使えるモード: **P** **A** **S** **M** **C1** **C2** **SCN**

撮影画面 → → [カスタム] → [ヒストグラム表示]

設定: [ON]、[OFF]

- ヒストグラムとは、横軸に明るさ、縦軸にその明るさの画素数を積み上げたグラフです。撮影した画像のヒストグラムの形状(グラフの分布)を見ることによって、その画像の露出状況を判断することができます。



暗い ← → 明るい

- 撮影画像とヒストグラムが以下の条件で一致しない場合は、ヒストグラムがオレンジ色で表示されます。
 - 露出補正時またはマニュアル露出モード時、マニュアル露出アシストが“0”以外有的时候
 - フラッシュが発光するとき
- 撮影時のヒストグラムは目安です。
- パソコンの画像編集ソフトなどで表示されるヒストグラムとは一致しません。

ガイドラインを表示する(ガイドライン表示)

使えるモード: **P** **A** **S** **M** **C1** **C2** **SCN**

撮影画面 → → [カスタム] → [ガイドライン表示]

設定: [9分割]、[8分割]、[OFF]

写真撮影後に撮影画像を表示する(オートレビュー)

使えるモード: **P** **A** **S** **M** **C1** **C2** **SCN**

撮影画面 → → [カスタム] → [オートレビュー]

[1秒]/[2秒]	撮影した写真を設定した時間表示し、自動的に撮影画面に戻ります。
[ホールド]	をタップするまで表示します。
[OFF]	—

- 以下の場合、オートレビューは働きません。
 - 動画撮影時

撮影時のタッチ動作を設定する(タッチ設定)

使えるモード:

タッチパネルを使って指定した被写体や位置にピントや明るさを合わせることができます。

撮影画面 → → [カスタム] → [タッチ設定]

タッチAF	タッチパネルを使って指定した被写体にピントを合わせることができます。 ● [フォーカスモード] を [MF] に設定時は使えません。 ● 設定を解除するには をタップしてください。
タッチシャッター	ピントを合わせたい被写体にタッチするだけで、ピントを合わせて自動的にシャッターを切ります。 ● [フォーカスモード] が [MF] の場合、ピント調整は行いません。
タッチAE LOCK*	タップして指定した被写体に明るさを合わせ固定することができます。 ● マニュアル露出モード設定時は使えません。 ● [測光モード] は専用の に変わります。 ● 露出が固定されると、[AEL] の表示が点灯します。 ● ロックを解除するには をタップしてください。
タッチAF LOCK*	タップして指定した被写体にピントを合わせ固定することができます。 ● [フォーカスモード] を [MF] に設定時は使えません。 ● オートフォーカスモードの設定にかかわらず、タップした位置に でピント合わせを行います。 ● ピントが固定されると、[AFL] の表示が点灯します。 ● ロックを解除するには をタップしてください。
タッチAF/AE LOCK*	タップして指定した被写体にピントと明るさを合わせ固定することができます。 ● マニュアル露出モード時は、AFロックのみ有効です。 ● オートフォーカスモードの設定にかかわらず、タップした位置に でピント合わせを行います。 ● [フォーカスモード] が [MF] の場合、ピント調整は行いません。 ● [測光モード] は専用の に変わります。 ● ピントと露出が固定されると、[AFL] と [AEL] の表示が点灯します。 ● ロックを解除するには をタップしてください。
OFF	画面タップによるAFやAE操作を無効にします。

* インテリジェントオートモードまたはインテリジェントオートプラスモード時は設定できません。



- 以下の場合では、[OFF] に固定されます。
ー クリエイティブコントロールモードの [ジオラマ] / [ワンポイントカラー]

よく使う機能を割り当てる(ボリュームボタン設定)

使えるモード:

[▲]/[▼] ボタンに撮影時によく使う機能を割り当てることができます。

撮影画面 → → [カスタム] → [ボリュームボタン設定]

設定: [ズーム]、[露出補正]、[ISO 感度]、[ホワイトバランス]、[OFF]



- [▲]/[▼] ボタンに設定していても、お使いのモードやメニュー設定により、動かなくなる場合があります。各機能について詳しくは、[ズーム] (P79)、[露出補正] (P85)、[ISO 感度] (P86)、[ホワイトバランス] (P87) をお読みください。

カメラの基本的な設定をする（設定メニュー）

撮影画面 → [MENU] →  [設定] → 項目を選ぶ

項目	設定・お知らせ
位置情報記録	写真や動画に撮影場所のタグを付けることができます。 [ON]、[OFF] ● 使用上のお願い： 本機能のご利用につきましては、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。
保存先	撮影した写真や動画の保存先を設定します。 [本体]、[microSD]
自動バックアップ	カメラ機能を終了した際に、撮影した画像を自動でバックアップします。 [ON]、[OFF] ● 詳しくは、125ページをお読みください。
自動終了	設定した時間の間に何も操作しないと自動的にカメラ機能を終了します。 [1分]、[2分]、[5分]、[10分]
高輝度モード	ディスプレイが通常より明るくなり、屋外でも見やすくなります。 [ON]、[OFF] ● ディスプレイに表示される画像の明るさを強調しているため、被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、記録される画像に影響はありません。
プレビュー表示モード	撮影時の画面の表示速度を設定します。 [標準]、[エコ]

項目	設定・お知らせ
AF音	AF音を鳴らすか鳴らさないかの設定をします。 [ON]、[OFF] ●[サイレントモード]を[ON]に設定時は、[AF音]は[OFF]になります。
シャッター音	シャッター音を鳴らすか鳴らさないかの設定をします。 [ON]、[OFF] ●[サイレントモード]を[ON]に設定時は、[シャッター音]は[OFF]になります。
水準器調整	本機を横向きに構えた状態での水平方向の基準を設定することができます。 ●本機の水平方向を調整し、[OK]をタップしてください。 ●設定した基準を初期化するには[RESET]をタップしてください。
番号リセット	次に撮影される画像のファイル番号を0001にします。 ●フォルダー番号が更新され、ファイル番号が0001から始まります。 ●フォルダー番号は100～999まで作成されます。フォルダー番号が999になると番号リセットができなくなりますので、データをパソコンなどに保存してからストレージ内の「DCIM」フォルダーをすべて削除することをお勧めします。 ●フォルダー番号を100にリセットするには、ストレージ内の「DCIM」フォルダー内のフォルダーをすべて削除してください。
設定リセット	設定をお買い上げ時の状態に戻します。

5. ビューアー

ギャラリー

撮影した写真や動画などを表示します。

スライドショー再生や写真の編集、また動画から写真を切り出したりすることもできます。

●Google アカウントを利用してデータを同期できます。

写真・動画を見る

1 ホーム画面 → [⋮] → [🖼️]

- アルバム一覧画面が表示されます。
- 撮影画面で [📸] をタップすると、直前に撮影した画像が再生されます。
- 初回起動時は、Google ドライブへの自動バックアップをONにするかどうかの確認画面が表示されます。Google ドライブについては、153 ページをご覧ください。

2 アルバムを選ぶ

- ファイル一覧画面が表示されます。

3 写真または動画をタップする

- 写真または動画が全画面で表示されます。
- 左右にフリックすると、次/前の写真または動画を表示します。
- ピンチアウト/ピンチインまたはダブルタップすると写真を拡大/縮小できます。
- [🔍] をタップすると、画面の明るさを最高輝度になります。
- [ℹ️] をタップすると、写真の情報を表示します。
- 動画を再生するには [▶️] をタップします。
- 連写撮影した写真は、ファイル一覧画面で1つのファイルとしてまとめて表示されます。ファイル一覧画面で連写画像のサムネイルを選択すると、連写一覧画面が表示されます。



表示方法を切り換える

ロケーションや時間などに分類して表示できます。

アルバム一覧画面 → [アルバム] → 項目を選ぶ

スライドショーで見る

アルバム内の写真をスライドショーで再生します。

ファイル一覧画面または全画面表示 → [🎞️] → [スライドショー]

- スライドショー再生中に画面をタップすると、スライドショーを終了します。

写真を壁紙などに設定する

写真をホーム画面の壁紙や連絡先のイメージ画像に登録します。

全画面表示 → [📱] → [登録]

写真・動画を共有する

写真や動画をメールで送信したり、サイトにアップロードしたりできます。

全画面表示 → [📧] → アプリを選ぶ

写真・動画を管理する

■ コピー・移動を行う

写真や動画を本機内やmicroSDカードにコピー・移動したり、フォルダーを作成したりできます。

1 全画面表示 → [⋮] → [移動]/[コピー]

- アルバム一覧画面またはファイル一覧画面で [⋮] → [アルバムを選択] または [項目を選択] をタップすると、まとめて移動/コピーできます。

2 移動またはコピー先を選ぶ

- 新しくフォルダーを作成して移動またはコピーすることもできます。

■ 写真・動画を削除する

全画面表示 → [⋮] → [OK]

- アルバム一覧画面またはファイル一覧画面で [⋮] → [アルバムを選択] または [項目を選択] をタップすると、まとめて削除できます。

写真を編集する

1 全画面表示 → [⋮] → [編集]

- [✎] をタップしても編集できます。

2 編集項目を選んで編集 → [保存]

	色彩を変更できます。
	フレームを追加できます。
	トリミングや回転などができます。
	明るさやコントラストなどの調整ができます。
	行った編集を元に戻したり、やり直したりします。

■ リサイズ・縮小する

写真の容量が小さくなるように縮小します。

1 全画面表示 → [⋮] → [リサイズ(縮小)]

2 サイズを選ぶ → [リサイズ]

- [ユーザ指定] を選ぶと、容量を指定してリサイズできます。

■ 回転する

写真を左または右に回転します。

全画面表示 → [⋮] → [左に回転]/[右に回転]

■ トリミングする

写真の任意の範囲を選んで切り出します。

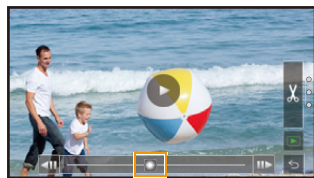
1 全画面表示 → [⋮] → [トリミング]

2 上下左右の丸印をドラッグして切り出し範囲を設定 → [保存]

動画から写真を切り出す

本機で撮影した動画から写真を切り出すことができます。

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 動画をタップする
- 3 スライダーをドラッグして切り出したい位置まで移動する
- 4 [] をタップする
 - 選んだ位置の前後の静止画が表示されます。
- 5 切り出したいコマを選んで、[] をタップする



ピクチャジャンプを利用する

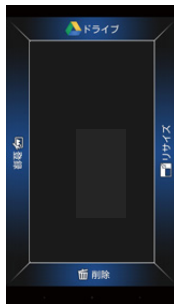
アルバムやファイルをロングタッチすると、ピクチャジャンプを利用できます。画面の端に表示されるメニューにアルバムやファイルをドラッグすることで、各機能を実行できます。

- 1 アルバム一覧画面・ファイル一覧画面・全画面表示 → アルバムまたはファイルをロングタッチ
- 2 上下左右のメニューにドラッグ

■ ピクチャジャンプで表示するメニューを変更する

画面の端に表示されるメニューを変更できます。

- 1 アルバム一覧画面・ファイル一覧画面・全画面表示 → [] → [ピクチャジャンプ設定]
- 2 利用したい機能をロングタッチ → 配置したい位置にドラッグ



各種設定を行う

写真の自動バックアップやGoogleドライブ上の写真を表示するかどうかなどの設定を行います。

アルバム一覧画面 → [] → [自動バックアップ設定]

6. Photo Search

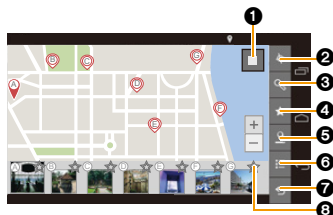
Photo Searchを起動する

今いる場所や旅行先で撮影スポットを調べたり、そこで他の人が撮影した写真を作例として参考にしたりすることができます。現在地から目的の撮影スポットまでの徒歩ルートも表示できます。

ホーム画面 → [⋮] → [📷]

● 初回起動時は利用規約を読み、内容に同意できる場合、[同意する]をタップしてください。

■ マップビュー画面



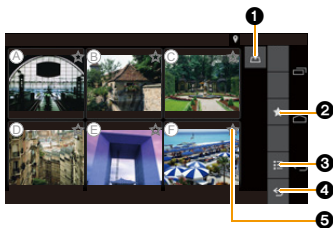
- 1 グリッドビュー画面を表示します。
- 2 現在地にマップを移動します。
- 3 地名やランドマーク名で検索します。(P127)
- 4 お気に入りに登録した写真だけを表示します。
- 5 徒歩ルートを表示/非表示にします。(P127)
- 6 設定メニューを表示します。(P128)
- 7 Photo Searchを終了します。

8 [☆]をタップするとお気に入りの登録/解除ができます。

● マップの任意の地点をタップすると、タップした地点の周辺の写真を検索できます。

● サムネイルをタップすると、写真が撮られた場所のピンが地図上で赤くなります。もう一度タップすると写真が全画面で表示されます。(P127)

■ グリッドビュー画面

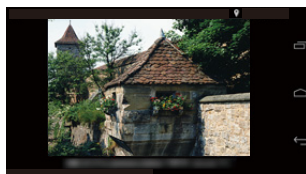


- 1 マップビュー画面を表示します。
- 2 お気に入りに登録した写真だけを表示します。
- 3 設定メニューを表示します。(P128)
- 4 Photo Searchを終了します。
- 5 [☆]をタップするとお気に入りの登録/解除ができます。

写真を見る

マップビュー画面またはグリッドビュー画面 → 見たい写真をタップ

- 写真が全画面で表示されます。
- 画面をタップすることにより、操作アイコンとサムネイル画像の表示/非表示を切り換えることができます。



お気に入りに登録する

お気に入りは最大50件まで登録できます。

マップビュー画面またはグリッドビュー画面 → サムネイルの右上にある [☆] をタップ

- お気に入りに登録すると、サムネイル画像に [★] が表示されます。
- 写真を全画面表示にして [★] をタップしてもお気に入りに登録することができます。

撮影場所を検索する

地名やランドマーク名で検索をして、検索地点にマップを移動します。

1 マップビュー画面 → [🔍]

2 地名やランドマーク名を入力 → 候補リストから目的の場所を選ぶ

- 選んだ地点にマップが移動し、周辺の写真が表示されます。

ルートを表示する

選んでいる場所までの徒歩ルートを表示します。

マップビュー画面 → 目的の地点またはサムネイル画像を選ぶ → [📍]

- 写真の全画面表示で [📍] をタップしても表示できます。

各種設定を行う

■ 位置情報の使用を設定する

本機の位置情報を使用します。

- 1 Photo Search起動中 → 
- 2 [位置情報を使用する]にチェックを入れる



- [位置情報を使用する]のチェックを外すと、現在地情報を利用する、ルート表示やお気に入り通知などの機能が使用できなくなります。

■ お気に入り通知を設定する

お気に入り通知設定を有効にすると、お気に入りに登録した写真が撮影された場所に近づくと音や振動、メッセージなどで通知されます。

- 1 Photo Search起動中 → 
- 2 [お気に入り通知設定]にチェックを入れる



- お気に入り通知設定は、[位置情報を使用する]を有効にしているときのみ設定できます。

7. 電話

電話アプリを使って通話や、ボイスメールサービスなどが利用できます。利用できるサービスは通信事業者によって異なりますので、詳しくは、契約している通信事業者にお問い合わせください。

緊急通報をかける

- 1 ホーム画面 →  → 
- 2 緊急通報の電話番号を入力 → 
 - 電話番号を間違えて入力したときは、をタップして入力した番号を消します。
- 3 通話が終了したらをタップする



- 画面ロック中でも、[緊急通報]をタップすると緊急通報をかけることができます。
- 日本国内ではmicroSIMカードが挿入されていない場合、緊急通報は行えません。

電話をかける

- 1 ホーム画面 →  → 
- 2 電話番号を入力する → 
 - 電話番号を間違えて入力したときは、をタップして入力した番号を消します。
- 3 通話が終了したらをタップする

国際電話をかける

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 +([0]をロングタッチ) → 国番号 → 地域番号(市外局番) → 電話番号の順に入力
 - 地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合には、先頭の「0」を除いて入力してください。
- 3 []をタップする
- 4 通話が終了したら[]をタップする

通話中の操作

■ 受話音量を調節する

通話中 → [] ボタン/[] ボタン

■ 通話中にディスプレイを表示する

通話中に本機を耳に当てると、近接センサーによってディスプレイが消灯します。これは電池消費を抑えるだけでなく、通話中の不本意な操作を防ぐためです。本機を耳から離すとディスプレイが表示されます。

スリープ中の場合は[] ボタンを押します。

■ 通話を保留する

通話中 → []

■ ミュートにする

こちらの声が相手に聞こえないようにします。

通話中 → []

■ スピーカーフォンにする

スピーカーから相手の声を流します。

通話中 → []

■ 通話中にダイヤル番号を入力する

音声案内などでブッシュ信号を送信するときなど、通話中にダイヤル操作が必要になった場合に操作します。

通話中 → [] → 番号を入力

電話を受ける

1 電話がかかってきたら、をへドラッグする

- 着信を拒否する場合は、をにドラッグします。

2 通話が終了したらをタップする

■ 着信音を一時的に消す

着信中に着信音を一時的に消音できます。

着信中 → ボタン/ボタンまたはボタンを押す

- あらかじめサイレントモードやバイブレーションモードに設定する場合は、32ページをお読みください。

■ ヘッドセット(別売)を使用する

ステレオヘッドセット(別売)のボタンで電話の応答や通話の終了ができます。

1 着信中 → ヘッドセット(別売)のボタンを押す

- 着信を拒否する場合は、ヘッドセット(別売)のボタンを数秒押します。

2 通話が終了したらヘッドセット(別売)のボタンを数秒押す

不在着信を表示する

電話に出られなかった場合は、通知パネルにが表示されます。

通知パネルを開く → [不在着信]

通話履歴

通話履歴から電話をかける

1 ホーム画面 → [電話] → [履歴]

- 通話履歴画面が表示されます。
- 履歴の種類によって下記のアイコンが表示されます。

[]: 発信履歴

[]: 着信履歴

[]: 不在着信履歴

2 電話をかけたい相手の電話番号または名前をタップする



通話履歴から連絡帳に登録する

1 通話履歴画面 → 登録したい電話番号の [] をタップ

2 [連絡先に追加] → [新しい連絡先を作成]

3 必要な項目を入力 → [完了]

通話履歴を削除する

1 通話履歴画面 → 削除したい電話番号の [] をタップ

2 [] → [通話履歴から消去]



- すべての通話履歴を消去する場合は、通話履歴画面 → [] → [通話履歴を全件消去] → [OK] をタップします。

ボイスメール

通信事業者によっては、ボイスメールサービスが利用できます。
電話に出られなかったときにボイスメールセンターでメッセージをお預かりします。

詳しくは、契約している通信事業者にお問い合わせください。

ボイスメールの番号を設定する

ボイスメールセンターへ接続するための番号を設定します。
入力する番号については通信事業者にお問い合わせください。

- 1 ホーム画面 → [] → [] → [設定]
- 2 [ボイスメール] → [セットアップ] → [ボイスメールの番号]
- 3 ボイスメールの番号を入力 → [OK]

ボイスメールを再生する

ボイスメールを受信すると通知パネルに[]が表示されます。

通知パネルを開く → [新しいボイスメール]

- 以降、ガイダンスに従って操作してください。

電話番号通知

電話をかけるときに電話番号を通知する/しないを設定できます。

- 1 ホーム画面 →  →  → [設定]
- 2 [GSM通話設定] → [その他の設定]
- 3 [発信者番号] → 項目を選ぶ

発信番号制限

発信番号制限を設定すると、発信番号制限リストに登録した電話番号以外に電話をかけられなくなります。



- 発信制限を使うためには、通信事業者から割り当てられたPIN2コードの入力が必要です。

発信番号制限をONにする

- 1 ホーム画面 →  →  → [設定]
- 2 [発信番号制限] → [発信番号制限をONにする]
- 3 PIN2コードを入力 → [OK]

発信番号制限リストに連絡先を追加する

- 1 ホーム画面 →  →  → [設定]
- 2 [発信番号制限] → [発信番号制限リスト]
- 3  → [連絡先を追加]
- 4 名前と電話番号を入力 → [保存] → PIN2コードを入力 → [OK]

8. 連絡帳

連絡先を登録する

友達や家族の名前や電話番号、メールアドレスなどの情報を連絡帳に登録できます。

●Google アカウントを利用してデータを同期できます。

1 ホーム画面 → [⋮] → [連絡先]

2 [人+] → 必要な項目を入力 → [完了]

●[人+]をタップすると画像を登録できます。

■ ストレージから連絡先をインポートする

1 ホーム画面 → [⋮] → [連絡先]

2 [⋮] → [インポート/エクスポート] → [ストレージからインポート] → [OK]

●アカウントやファイルが複数ある場合はアカウントやファイルを選びます。

■ Bluetooth通信を使って連絡先をインポートする

Bluetooth通信を使って連絡先をインポートするには、164ページの「Bluetooth®通信」をお読みください。

■ メールから連絡先をインポートする

メールに添付されたvCardから連絡先をインポートできます。

1 vCardが添付されたメールをタップする

2 添付のvCardをタップ → [連絡先]

●アカウントが複数ある場合はアカウントを選びます。

プロフィールを登録する

自分の名前や電話番号などを登録します。

1 ホーム画面 → [⋮] → [連絡先] → プロフィール名をタップ

●プロフィール画面が表示されます。

2 [⋮] → [編集]

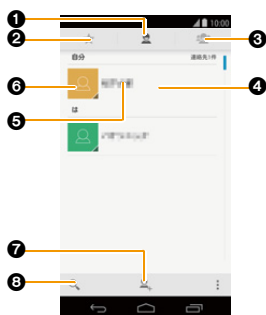
3 必要な項目を入力 → [完了]

●[人+]をタップすると画像を登録できます。

連絡先を表示する

ホーム画面 → [] → []

- 連絡先一覧画面が表示されます。



- 1 連絡先一覧
登録されている連絡先をすべて表示します。
● アカウントごとに連絡先を表示する場合は、[] → [表示する連絡先] をタップします。
- 2 お気に入りの連絡先一覧 / よく使う連絡先一覧
お気に入り登録した連絡先やよく使う連絡先を表示します。
- 3 グループ一覧
グループごとに連絡先を表示します。
- 4 プロフィール(P135)
- 5 連絡先の名前
タップすると、連絡先詳細画面を表示します。
- 6 イメージアイコン
タップすると、電話をかけたりメールを送信したりできます。
- 7 連絡先の新規登録(P135)
- 8 連絡先の検索
検索キーワードを入力して連絡先を絞り込みます。

電話発信/メール送信を行う

連絡先一覧画面 → 連絡先をタップ → 電話番号やメールアドレスをタップ

- 連絡先のイメージアイコンをタップして、電話やメールアイコンをタップしても操作できます。

連絡先を管理する

連絡先を編集する

- 1 連絡先一覧画面 → 編集したい連絡先をタップ
- 2 [] → [編集]
- 3 必要な項目を編集する → [完了]
 - []をタップすると画像を登録できます。

連絡先を削除する

- 1 連絡先一覧画面 → 削除したい連絡先をタップ
- 2 [] → [削除] → [OK]

連絡先をお気に入りリストに登録する

- 1 連絡先一覧画面 → お気に入りに登録したい連絡先をタップ
- 2 []をタップする
 - お気に入りに登録すると[]になります。お気に入りのリストから外す場合は再び[]をタップします。

グループを作成する

- 1 連絡先一覧画面 → [] → []
 - アカウントが複数ある場合はアカウントを選びます。
- 2 グループ名を入力 → [完了]
 - [名前を入力]欄に連絡先の名前を入力して連絡先を選ばと、連絡先をグループに登録できます。

連絡帳をバックアップする

- 1 連絡先一覧画面 → [] → [インポート/エクスポート]
- 2 [ストレージにエクスポート]/[表示可能な連絡先を共有]をタップする
- 3 画面に従って操作する

連絡先を同期する

- 1 連絡先一覧画面 → [] → [アカウント]
- 2 [データの自動更新]にチェックを入れる
 - アカウントをタップすると、データごとに同期の設定ができます。詳しくは、33ページの「アカウント設定」をお読みください。

9. メール・メッセージ

Eメール

メールアカウントを設定する

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 メールアドレスとパスワードを入力 → [次へ]
- 3 画面に従って操作する



●手動でアカウントを設定する場合は、Eメールサービスプロバイダへ設定についての詳細をお問い合わせください。

Eメールを作成して送信する

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 []をタップする
- 3 [To]をタップして送信先のメールアドレスを入力する
 - CcやBccを入れる場合は、[] → [Cc/Bccを追加]をタップします。
- 4 [件名]をタップして件名を入力する
- 5 [メールを作成します]をタップしてメッセージを入力する
 - 添付ファイルを送りたいときは[] → [画像を添付]/[動画を添付]をタップし、添付したいファイルを選びます。
- 6 []をタップする



●送信先の機器やEメールのサービスプロバイダがコンピューターからのEメールを受信拒否している場合は、本機から送るEメールも拒否されます。

Eメールを受信して読む

1 ホーム画面 → →

- 受信トレイ一覧画面が表示されます。
- 受信トレイを更新する場合は、 → [更新] をタップします。
- 複数のアカウントをお持ちの場合、[受信トレイ] をタップするとアカウントを切り換えることができます。
[統合ビュー] をタップするとすべてのメールを表示できます。

2 表示したいメールをタップする

■ 添付ファイルを表示する

- 1 受信トレイ一覧画面 → 表示したいメールをタップ
- 2 添付ファイルをタップする
 - 添付ファイルを保存する場合は、 → [保存] をタップします。

■ 送信元のEメールアドレスを連絡帳に登録する

- 1 受信トレイ一覧画面 → 登録したいメールをタップ
- 2 イメージアイコンをタップ → [OK]
- 3 既存の連絡先または [新しい連絡先を作成] をタップする
- 4 必要な項目を入力 → [OK]/[完了]

■ 返信する

- 1 受信トレイ一覧画面 → 返信したいメールをタップ
- 2  をタップする
 - 全員に返信する場合は、 → [全員に返信] をタップします。
- 3 メッセージを入力 → 

■ 転送する

- 1 受信トレイ一覧画面 → 転送したいメールをタップ
- 2  → [転送]
- 3 転送先のメールアドレスを入力 → 

■ Eメールを削除する

- 1 受信トレイ一覧画面 → 削除したいメールをタップ
- 2  をタップする
 - 受信トレイ一覧画面で削除したいメールを左右にフリックしても削除できます。

フォルダーを切り換える

受信トレイ一覧 → [受信トレイ] → 表示したいフォルダーをタップ

Eメールの設定を行う

■ Eメール全般の設定を行う

受信トレイ一覧 → [] → [設定] → [全般設定]

■ メールアカウントを追加する

- 1 受信トレイ一覧 → [] → [設定] → [アカウントを追加]
- 2 画面に従って操作する

■ メールアカウントの設定を変更する

アカウント名や署名、同期頻度などの設定を変更できます。

- 1 受信トレイ一覧 → [] → [設定]
- 2 設定を変更したいメールアカウントをタップする

■ メールアカウントを削除する

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 アカウントの種類をタップ → 削除したいメールアカウントを選ぶ
- 3 [] → [アカウントを削除] → [アカウントを削除]

Gmail™

Googleアカウントを利用してGmailでメールを送受信できます。

- Gmailの各操作はEメールと類似しています。操作方法について詳しくは、139ページの「Eメール」をお読みください。

Gmailを作成して送信する

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 []をタップする
- 3 [To]をタップして送信先のメールアドレスを入力する
 - CcやBccを入れる場合は、[] → [Cc/Bccを追加]をタップします。
- 4 [件名]をタップして件名を入力する
- 5 [メールを作成します]をタップしてメッセージを入力する
 - 添付ファイルを送りたいときは[] → [ファイルを添付]をタップします。
- 6 []をタップする

Gmailを受信して読む

- 1 ホーム画面 → [] → []
 - 受信トレイ一覧画面が表示されます。
 - 受信トレイを更新する場合は、[] → [更新]をタップします。
 - 複数のアカウントをお持ちの場合、[]をタップするとアカウントを切り換えることができます。
- 2 表示したいメールをタップする

Google ハングアウト™

友人とメッセージや写真などを送受信したり、グループでビデオ通話を行ったりできます。

- すべての機能を利用するにはGoogleアカウントが必要です。

ハングアウトを起動する

ホーム画面 → [] → []

- 初回起動時、設定画面が表示された場合は必要に応じて設定してください。

メッセージを送る

1 ハングアウト画面 → []

2 相手の名前、メールアドレスまたは電話番号を入力し、連絡先を選ぶ

- 登録されている連絡先から選ぶこともできます。
- SMSを送信する場合は、[SMSを送信...]の下番号をタップします。
- チャット画面が表示されます。
- [他のユーザー]をタップすると、チャット相手を追加できます。

3 メッセージを入力 → []

- []をタップすると絵文字を入力できます。
- []をタップすると写真などを添付できます。

メッセージを読む

ハングアウト画面 → 受信したハングアウトをタップ

- チャット画面が表示されます。メッセージを入力して返信できます。
- ハングアウトを起動していない場合は、通知パネルまたはアプリ一覧などからハングアウトを起動してください。
- ビデオチャットの場合は呼び出し画面が表示されます。応答するとビデオチャットを行えます。

ビデオチャットを発信する

- 1 ハングアウト画面 → 
- 2 相手の名前、メールアドレスまたは電話番号を入力し、連絡先を選ぶ
 - 登録されている連絡先から選ぶこともできます。
 - チャット画面が表示されます。
 - [他のユーザー]をタップすると、チャット相手を追加できます。
- 3 をタップする
 - 相手が応答するとビデオチャットを行えます。

ビデオチャットに応答する

- 呼び出し画面 → をにドラッグ
- ビデオチャットを行えます。



- 操作方法について詳しくは、[ヘルプとフィードバック]をお読みください。

10. ウェブブラウザ

ウェブブラウザの起動

本機でウェブページの閲覧、ブックマークの管理、画像やファイルのダウンロードなどが行えます。



- データプランと料金体系については、契約している通信事業者にお問い合わせください。
- インターネットへのアクセスやインターネットからのファイルのダウンロードに追加料金が発生する場合があります。詳しくは、契約している通信事業者にお問い合わせください。

ウェブページを見る

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 アドレスバーにアドレスを入力 → [実行]

ウェブページを検索する

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 アドレスバーに検索ワードを入力 → [実行]

履歴からウェブページを表示する

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 [] → [履歴] → ウェブページをタップ

ウェブページ表示中の操作

■ 拡大/縮小する

ピンチアウトで拡大、ピンチインで縮小します。画面をダブルタップしても拡大/縮小ができます。

■ 前のページに戻る

[] → []

- [] をタップしても前のページに戻ります。

■ 前のページに進む

[] → []

- [] または [] でページを戻したあとにタップすると、直前に閲覧していたページに進みます。

■ リンク先を新しいタブで開く

リンクをロングタッチ → [新しいタブで開く]

■ リンク先をシークレットタブで開く

リンクをロングタッチ → [シークレット タブで開く]

- シークレットタブではブラウザの履歴や検索履歴を残さずに閲覧できます。

■ 新しいタブを開く

[] → [+新しいタブ]

■ タブを切り換える

[] → 表示したいタブをタップ

■ ウェブページから画像やリンクをダウンロードする

- 1 画像やリンクをダウンロードしたいウェブページを表示する
- 2 画像やリンクをロングタッチする
- 3 [リンクを保存]/[画像を保存]をタップする

ブラウザのオプションメニューを利用する

[]をタップすると、オプションメニューが表示されます。

新しいタブ	新しいタブを開きます。
新しいシークレットタブ	新しいシークレットタブを開きます。
ブックマーク	ブックマークを開きます。(P148)
最近使ったタブ	パソコンなどで開いたタブを表示します。
履歴	履歴を開きます。(P145)
共有...	ウェブページ(URL)をメールやBluetooth通信などで送信します。
印刷...	印刷します。(P169)
ページ内検索	ウェブページ内の単語を検索します。
ホーム画面に追加	ウェブページをホーム画面に追加します。
PC版サイトを見る	PC版サイトを表示します。
設定	Chromeの設定画面を表示します。
ヘルプとフィードバック	ヘルプとフィードバックを表示します。

ブックマーク

ブックマークを追加する

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 追加したいウェブページを表示 → [] → []
- 3 必要な項目を編集 → [保存]

ブックマークを開く

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 [] → [ブックマーク]
- 3 ブックマークを選ぶ

ブックマークを編集する

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 [] → [ブックマーク]
- 3 編集したいブックマークをロングタッチ → [ブックマークを編集]
- 4 必要な項目を編集 → [保存]

ブックマークを削除する

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 [] → [ブックマーク]
- 3 削除したいブックマークをロングタッチ → [ブックマークを削除]

11. Music

Google Play ミュージック™

[Playミュージック]アプリを起動して音楽を聴くことができます。

パソコンなどから曲を入れる

- 1 microUSBケーブル(市販)でパソコンと本機を接続する
 - パソコンとの接続方法については、167ページをお読みください。
- 2 本機に音楽データをコピーする

曲を聴く

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 アルバムをタップする
- 3 曲をタップする

再生中の操作

曲を再生した後、画面の下部にある曲名をタップして再生中の操作を行います。

	一時停止/再生
	曲の先頭にスキップ(再生時間が2秒未満の場合は前の曲にスキップ)/次の曲にスキップ
	タップするたびに全曲リピート→1曲リピート→リピート解除
	タップするたびにシャッフル/シャッフル解除

バックグラウンドで再生する

再生中に [] をタップしてホーム画面に戻すとバックグラウンド再生となり、他のアプリを利用できます。

[Playミュージック]アプリに戻るには、通知パネルから再生中の通知をタップしてください。

マイライブラリを表示する

マイライブラリを表示して[ジャンル]/[アーティスト]/[アルバム]/[曲]のカテゴリ別に曲をさがすことができます。

- 1 ホーム画面 →  → 
- 2 画面の左端を右へフリック → [マイライブラリ]

プレイリストを利用する

プレイリストを作成してお気に入りの曲などを管理できます。

■ プレイリストを作成して曲を登録する

- 1 ホーム画面 →  → 
- 2 アルバムをタップ → 曲名の右側にある  をタップ
- 3 [プレイリストに追加] をタップする
- 4 [新しいプレイリスト] → 名前を入力 → [プレイリストを作成]
 - すでにプレイリストを作成済みの場合は、作成済みのプレイリストを選んで追加登録することができます。

■ プレイリストから曲を再生する

- 1 ホーム画面 →  → 
- 2 画面の左端を右へフリック → [プレイリスト]
- 3 プレイリストをタップ → 曲をタップ

■ プレイリストから曲の登録を解除する

- 1 ホーム画面 →  → 
- 2 画面の左端を右へフリック → [プレイリスト]
- 3 プレイリストをタップ → 曲名の右側にある  をタップ → [プレイリストから削除]

■ プレイリストを削除する

- 1 ホーム画面 →  → 
- 2 画面の左端を右へフリック → [プレイリスト]
- 3 プレイリスト名の右側にある  をタップ → [削除] → [OK]

12. 地図

位置情報サービス

本機はGPSを利用した位置情報サービスに対応しています。近くのお店やレストランを探したり、写真に位置情報を加えたり、地図上に自分の位置を表示したりとさまざまなアプリで使うことができます。

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 [位置情報] → 位置情報を[ON]にする



- 位置情報サービスは高精度の位置を保証するものではありません。
- 天候や周囲の建物などによって誤差が発生します。

位置情報モードを設定する

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 [位置情報] → [モード] → 項目を選ぶ

高精度	GPS、Wi-Fi通信、モバイルネットワークを利用して位置を特定します。
バッテリー節約	Wi-Fi通信とモバイルネットワークを利用して位置を特定します。
端末のみ	GPSのみで位置を特定します。

Googleマップ™

[マップ]アプリで現在地を確認したり、場所や経路を検索したりできます。

ホーム画面 →  → 

検索ボックス	検索ワードを入力して、目的の場所を地図上に表示します。 検索ボックスをタップしてカテゴリ別に周辺のスポットを選ぶこともできます。
	現在地を中心に地図を表示します。
	現在地周辺の情報を表示します。



- Google マップを利用するには、モバイルネットワークまたはWi-Fi通信が必要です。
- Google マップは、すべての国や地域を対象としているわけではありません。

目的地までの経路を検索する

- 1 ホーム画面 →  → 
- 2  をタップする
- 3  (自動車) /  (公共交通機関) /  (徒歩) を選ぶ
- 4 出発地と目的地を入力する



- 経路検索は履歴として保存され、次回検索するときに、出発地と目的地を簡単に選ぶことができます。

13. その他のアプリ・機能

NFC

NFC機能を利用して、他のNFC対応機器とデータのやりとりをしたり、NFCモジュールが内蔵された機器、またはスマートポスターなどに本機をかざすことで直接ウェブサイトを表示したりできます。

●NFC アンテナ部については、7ページをお読みください。

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 [その他 ...] → [NFC] にチェックを入れる

Google ドライブ™

[ドライブ]アプリとは、ファイルの作成、閲覧、共有などが行えるオンラインストレージサービスです。

[ドライブ]アプリで扱うファイルはGoogleアカウントを通じてウェブ上で保管されるため、どこからでもファイルにアクセスすることができます。

ファイルをアップロードする

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 [] → アップロードしたいファイルを選ぶ

ファイルを作成する

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 [] → 作成したいファイルを選ぶ

ファイルを表示する

1 ホーム画面 → [] → []

2 表示したいファイルをタップする

- [] をタップするとファイルの検索ができます。
- [] をタップするとファイルの情報が表示され、個別設定を変更できます。

ファイルをスキャンする

1 ホーム画面 → [] → []

2 [] → [] → []

ドライブの設定

1 ホーム画面 → [] → []

2 画面の左端を右へフリック → [設定]

Google キープ™

メモを簡単に作成できます。メモはGoogleアカウントを通じてウェブ上で管理されるため、どこからでもメモにアクセスすることができます。

メモを作成する

1 ホーム画面 → [] → []

2 [メモを追加] → メモを入力する

- [] をタップすると、メモのカラーを設定できます。
- [] をタップすると、通知の設定ができます。
- [] をタップしてもメモを作成できます。

メモに画像を追加する

1 ホーム画面 → [] → []

2 メモを選ぶ

3 [] → [写真を撮影]/[画像を選択]

- ホーム画面 → [] → [] → [] をタップすると、画像を追加してからメモを作成できます。

音声メモを作成する

1 ホーム画面 → [] → []

2 [] をタップする

リストアイテムを作成する

チェックボックス付きのリストアイテムを作成します。
チェックボックスにチェックを入れるとリストアイテムは取り消し線表示になり、対応済みかどうかなどを確認するのに便利です。

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 [] → リストアイテムを入力する

メモを検索する

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 [] → 検索したい文字を入力する

メモを共有する

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 メモを選ぶ
- 3 [] → [共有]
- 4 アプリケーションを選ぶ

表示を切り換える

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 [] → [リスト表示]/[グリッド表示]

メモをアーカイブに移動する

1 ホーム画面 → [⋮] → [📁]

2 メモを選ぶ

3 [📁] をタップする

- 移動したいメモを左右にフリックしてもアーカイブに送ることができます。

アーカイブを表示する

1 ホーム画面 → [⋮] → [📁]

2 画面の左端を右へフリック → [アーカイブ]

メモを削除する

1 ホーム画面 → [⋮] → [📁]

2 メモを選ぶ

3 [⋮] → [削除]

ゴミ箱を表示する

1 ホーム画面 → [⋮] → [📁]

2 画面の左端を右へフリック → [ゴミ箱]

メモをロングタッチしてできる操作

[🔔]	通知を追加
[🎨]	メモのカラーを変更
[📁]	アーカイブに移動
[⋮]	[削除]/[共有]

- 複数のメモを一度に操作できます。

カレンダー

[カレンダー]アプリでスケジュールの管理ができます。

- Google アカウントを利用してデータを同期できます。

カレンダーの表示を変更する

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 日付部分をタップする
- 3 [日]/[週]/[月]/[予定リスト]をタップする

複数のカレンダーを表示する

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 [] → [表示するカレンダー]
- 3 表示するカレンダーにチェックを入れる

予定を作成する

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 [] → [予定を作成]
- 3 予定を入力 → [完了]
 - 通知を設定した場合は時間になるとステータスバーに[]が表示されます。

予定の詳細を表示する

日表示/週表示で予定をタップする

- カレンダーの表示を予定リストに変更して、予定をタップしても詳細が表示されます。

予定を編集する

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 日表示/週表示で予定をタップする
- 3 []をタップする
- 4 予定を編集 → [完了]

予定を削除する

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 日表示/週表示で予定をタップする
- 3 [] → [OK]

通知された予定の通知解除、スヌーズ設定をする

ステータスバーに [] が表示されたら通知パネルを開く → 予定をタップする

- 通知パネルで予定の下にある [スヌーズ] をタップするとスヌーズ設定になります。

カレンダーの設定を変更する

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 [] → [設定] → [全般設定]

YouTube™

YouTubeの動画を再生したり、動画を投稿したりできます。

動画を見る

1 ホーム画面 → [] → []

2 見たい動画をタップする

• 本機は横画面表示に対応しています。

動画を探す

1 ホーム画面 → [] → []

2 []をタップする

3 検索ワードを入力 → []

アップロードする

1 ホーム画面 → [] → []

2 画面の左端を右へフリック → [アップロード済み] → []

3 画面に従って操作する

14. Google Play

Google Play™ストア

Google Playストアで楽しいゲームや便利なアプリを検索して、本機にインストールできます。

1 ホーム画面 → [] → []

2 アプリを検索してインストールする

- 有料アプリの支払いにはGoogleウォレット™を利用できます。



- ご利用の地域によっては、Google Playストアを利用できない場合があります。

アプリの削除

アプリ内のデータをすべて削除する

本機の容量が一杯の場合などにアプリ内のデータを削除して容量を空けることができます。

- 1 ホーム画面 → [] → [] → [アプリ]
- 2 [すべて]タブ → 削除したいアプリをタップ
- 3 [データを消去] → [OK]



• アプリによってはデータを削除できない場合があります。

インストールしたアプリを削除する

- 1 ホーム画面 → [] → [] → [アプリ]
- 2 [ダウンロード済み]タブ → 削除したいアプリをタップ
- 3 [アンインストール] → [OK]



• アプリによっては削除できない場合があります。

アクセス許可

アクセス許可とは、アプリが本機のどの情報、機能にアクセスするのかを定義したものです。

個人情報などを不正に盗み外部に送信するような不正アプリは、不自然なアクセス許可が設定されている場合があります。アプリをインストールする際は信用できるサイトからダウンロードし、アクセス許可を確認してください。

- 1 ホーム画面 → [] → [] → [アプリ]
- 2 確認したいアプリをタップ → [許可]の項目を確認する

提供元不明アプリのインストール

Google Playストア以外のサイトやメールなどから入手したアプリのインストールを許可します。

- 1 ホーム画面 → [] → [] → [セキュリティ]
- 2 [提供元不明のアプリ]にチェックを入れる
- 3 メッセージを読み、[OK]をタップする

15. 外部機器接続

Bluetooth®通信

本機とBluetooth対応機器とBluetooth通信を行います。
Bluetooth対応機器とデータのやりとりを行ったり、ワイヤレスヘッドセットと接続して音楽を聴いたりできます。

Bluetooth機能をONにする

- 1 ホーム画面 →  → 
- 2 [Bluetooth] をONにする
 - Bluetooth機能がONになると、がステータスバーに表示されます。

Bluetooth機器とペアリング設定を行う

- あらかじめ接続先のBluetooth機能の電源を入れ、Bluetooth接続可能の状態になっていることを確認してください。

- 1 ホーム画面 →  → 
- 2 [Bluetooth] をタップする
 - Bluetooth機器の検索が開始され、[使用可能なデバイス]欄に検出されたBluetooth機器が表示されます。
 - 再検索したい場合は[デバイスの検索]をタップします。
 - 本機名をタップするたびに、他のBluetooth機器からの検出可/不可の状態が切り換わります。
検出可能時間は→[表示のタイムアウト]で設定できます。
- 3 検出されたBluetooth機器を選び、ペアリング設定を行う
- 4 必要に応じてパスコード(PIN)を入力する
 - ペアリング設定が完了し、Bluetooth機器と接続されます。

本機の名前を変更する

相手の機器に表示される本機の名前を変更できます。

- 1 ホーム画面 → [] → [] → [Bluetooth]
- 2 [] → [端末の名前を変更]
- 3 名前を入力 → [名前を変更]

Bluetooth機器の接続を解除する

- 1 ホーム画面 → [] → [] → [Bluetooth]
- 2 [ペアリングされたデバイス] 欄から接続中のBluetooth機器を選ぶ → [OK]



- 接続を解除してもペアリング設定は解除されません。

ペアリング設定されたBluetooth機器と接続する

- 1 ホーム画面 → [] → [] → [Bluetooth]
- 2 [ペアリングされたデバイス] 欄から接続したいBluetooth機器を選ぶ



- 複数のBluetooth機器とペアリング設定を行っていても、一度に接続できるBluetooth機器は1つです。

Bluetooth機器のペアリング設定を解除する

- 1 ホーム画面 → [] → [] → [Bluetooth]
- 2 [ペアリングされたデバイス] 欄から解除したいBluetooth機器の [] をタップする
- 3 [ペアを解除] をタップする

Bluetooth通信でデータを送信する

- 1 各アプリから送信したいデータを選ぶ
- 2 各アプリの送信/共有メニューを開く
- 3 [Bluetooth] をタップする
- 4 送信先のBluetooth機器を選ぶ

Bluetooth通信でデータを受信する

- 1 送信側のBluetooth機器からデータを送信する
 - 操作については、送信側のBluetooth機器の取扱説明書を参照ください。
- 2 通知パネルを開く → [Bluetooth共有: ファイル着信] → [承諾]

USB接続

USBストレージとして利用する

本機とパソコンをmicroUSBケーブル(市販)で接続し、リムーバブルディスクとして利用します。

パソコンにデータをバックアップしたり、本機をUSBストレージとしてデータをやりとりできます。

- 1 ホーム画面 → [] → [] → [ストレージ]
- 2 [] → [USBでパソコンに接続]
- 3 [メディアデバイス(MTP)]にチェックを入れる
 - MTP非対応のパソコンと接続する場合は[カメラ(PTP)]に設定してください。
- 4 本機とパソコンを microUSBケーブル(市販)で接続する
- 5 パソコンからリムーバブルディスクとして認識された本機にアクセスする

■ Macと接続するには

Mac OS Xでメディアデバイス(MTP)接続をご利用の場合は、事前にパソコンへソフトウェアをインストールする必要があります。

詳しくは、下記のサイトをご確認ください。

<https://www.android.com/filetransfer/>

■ 接続を解除するときは

データ転送中でないことを確認し、microUSBケーブル(市販)を抜いてください。

- データ転送中はmicroUSBケーブル(市販)を抜かないでください。データが破損する可能性があります。

USBテザリングを利用する

本機とパソコンをmicroUSBケーブル(市販)で接続し、本機を通してパソコンをインターネットに接続することができます。

1 本機とパソコンをmicroUSBケーブル(市販)で接続する

2 ホーム画面 → → → [その他...]

3 [テザリング] → [USBテザリング]にチェックを入れる

- USBテザリングが有効になると、がステータスバーに表示されます。Wi-Fi テザリングも設定している場合はが表示されます。



- USBテザリングを利用後は、[USBテザリング]のチェックを外してください。
- USBテザリング中は、パソコンから本機内のデータにアクセスすることはできません。
- USBテザリングを使ってパソコンをインターネットに接続する場合は、下記のサイトで最新情報をご確認ください。
<https://www.android.com/tether>

印刷

登録した印刷サービスのON/OFFや設定が行えます。
クラウド対応プリンタと組み合わせることで、どこからでも印刷を行うことができます。

●お買い上げ時には印刷サービスは登録されていません。別途ダウンロードしてください。

- 1 ホーム画面 → [] → [] → [印刷]
- 2 登録されている印刷サービスを選ぶ → ON/OFFする

印刷サービスの設定を変更する

- 1 ホーム画面 → [] → [] → [印刷]
- 2 登録されている印刷サービスを選ぶ → [] → [設定]

印刷する

- 1 各アプリで [] → [印刷]
- 2 プリンタの種類を選ぶ
 - [PDF形式で保存]を選ぶと、PDFとして保存することができます。
- 3 必要に応じてプリント設定を変更 → [印刷]

16. 同期・バックアップ・リセット

アカウントの同期と削除

アカウントごとに、カレンダーや連絡帳などとの同期設定を行います。

●アカウントの追加については、33ページをお読みください。

同期項目を設定する

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 アカウントの種類をタップ → 設定したいアカウントをタップ
- 3 同期させたいデータにチェックを入れる

手動で同期する

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 アカウントの種類をタップ → 設定したいアカウントをタップ
- 3 [] → [今すぐ同期]

アカウントを削除する

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 アカウントの種類をタップ → 削除したいアカウントをタップ
- 3 [] → [アカウントを削除] → [アカウントを削除]

バックアップ

アプリのデータや設定などを Google サーバーにバックアップできます。

- 1 ホーム画面 → [] → [] → [バックアップとリセット]
- 2 [データのバックアップ]にチェックを入れる

リセット

本機をお買い上げ時の状態にリセットします。

- リセットを行うと、登録したデータやダウンロードしたアプリなどがすべて消去されます。

- 1 ホーム画面 → [] → [] → [バックアップとリセット]
- 2 [データの初期化] → [携帯端末をリセット] → [すべて消去]

17. セキュリティ

画面ロック

スリープモードから復帰したときなどの画面ロックを設定します。
画面ロックを設定すると、不正な本機の利用や誤操作を防ぐことができます。

画面ロックを設定する

- 1 ホーム画面 → [] → [] → [セキュリティ] → [画面のロック]
- 2 画面ロックのロック解除方法を選ぶ

なし	画面ロックを設定しません。
スライド	[] をガイド(外周の白い線)までスライドして画面ロックを解除します。
フェイスアンロック	顔認証で画面ロックを解除します。
パターン	4つ以上の点を結んで画面ロックを解除します。
PIN	4桁から16桁の数字を入力して画面ロックを解除します。
パスワード	4桁から16桁の英数字を入力して画面ロックを解除します。

- 3 画面に従って解除パターンを登録する



- ロック画面で解除方法を5回間違えると、30秒間操作できなくなります。
- 画面ロック中でも[緊急通報]をタップすると、緊急通報を行えます。

画面ロックを変更する

- 1 ホーム画面 → [] → [] → [セキュリティ] → [画面のロック]
- 2 設定した解除方法を行う
- 3 ロック解除方法を選ぶ
- 4 画面に従って解除パターンを登録する

SIMロック

本機不正利用を防ぐためにmicroSIMカードにロックをかけることができます。SIMロックをかけると電源を入れるたびにSIM PINコードを入力する必要があります。

- SIM PINコードを3回間違えて入力すると、SIM PINコードがロックされ使用できなくなります。その場合はPUK (PINロック解除コード)を入力してSIM PINコードのロックを解除してください。
- PINコード / PUKコードについては、契約している通信事業者にお問い合わせください。

microSIMカードをロックする

- 1 ホーム画面 → [] → [] → [セキュリティ] → [SIMカードロック設定]
- 2 [SIMカードをロック]にチェックを入れる
- 3 SIM PINコードを入力 → [OK]

SIM PINコードを変更する

- SIM PINコードの変更は、microSIMカードをロックしている場合のみ変更できます。

- 1 ホーム画面 → [] → [] → [セキュリティ] → [SIMカードロック設定]
- 2 [SIM PINの変更]をタップする
- 3 現在のSIM PINコードを入力 → [OK]
- 4 新しいSIM PINコードを入力 → [OK]
- 5 新しいSIM PINコードを再度入力 → [OK]

18. アップデート

システムアップデート

ソフトウェアのアップデートが必要になった場合に、更新ファイルを取得してソフトウェアをアップデートできます。

- システムアップデートにはネットワークに接続されている必要があります。([microSDから更新]は除く)
- システムアップデートは、電波状態の良い場所で移動せずに行ってください。
- システムアップデートは、電池残量が十分の状態で行ってください。
- システムアップデート中は、電話の発信、着信、各種通信機能、およびその他の機能を利用できません。
- 国際ローミング中、または圏外にいるときは、更新ファイルを取得できません。
- システムアップデートには時間がかかる場合があります。
- システムアップデート中は電源を切らないでください。システムアップデートに失敗することがあります。
- システムアップデートの際、本機の固有の情報(機種や製造番号など)が当社のシステムアップデート用サーバーに送信されます。当社は送信された情報をシステムアップデート以外の目的には利用いたしません。
- システムアップデート後は本機が再起動します。PINコードが設定されているときは、再起動の途中でPINコード入力画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- システムアップデートを行うと、一部の設定が初期化される場合があります。その場合は、再度設定を行ってください。
- システムアップデートを行うと、以前のバージョンへ戻すことはできません。
- システムアップデートは、本機に登録した連絡帳、写真、メール、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様の端末の状態(故障・破損・水ぬれなど)によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータはバックアップを取っていただくことをお勧めします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。
- システムアップデートに失敗した場合、本機が起動しなくなることや、[Software update failed.]と表示され一切の操作ができなくなることがあります。その場合は、販売店までお問い合わせください。

アップデートが必要になると

アップデートが必要になると、通知パネルにが表示されます。

1 通知パネルを開く → 通知をタップ

2 画面に従って操作する

ソフトウェアを手動で検索してアップデートする

ソフトウェアのアップデートが必要かどうかを確認し、必要であれば更新ファイルをネットワーク経由でダウンロードして更新します。

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 [端末情報] → [システムアップデート] → [ネットワーク経由で更新]
- 3 画面に従って操作する

microSDカードを利用してアップデートする

パソコンなどで更新ファイルをダウンロードしてmicroSDカードに保存し、本機にmicroSDカードを挿入してソフトウェアをアップデートします。

- 更新ファイルはmicroSDカード内の「Download」フォルダーに格納してください。

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 [端末情報] → [システムアップデート] → [microSDから更新]
- 3 画面に従って操作する

19. 設定一覧

設定一覧

ホーム画面→→をタップして、本機の各種設定を行うことができます。
設定はカテゴリごとに下記のようにグループ化されています。

Wi-Fi	詳しくは、36ページをお読みください。
Bluetooth	詳しくは、164ページをお読みください。
データ使用量	データ使用の管理画面が表示され、期間ごとやアプリごとのモバイルデータ通信使用量(目安)が表示されます。

その他...

機内モード	本機のワイヤレス通信機能を無効にします。
デフォルトのSMSアプリ	デフォルトのSMSアプリを設定します。
NFC	詳しくは、153ページをお読みください。
Androidビーム	他のNFC対応の端末にアプリのコンテンツを転送するかどうかを設定します。
テザリング	詳しくは、39、168ページをお読みください。
VPN	詳しくは、38ページをお読みください。
モバイルネットワーク	詳しくは、34ページをお読みください。
モバイルプラン	モバイルプランを確認します。
緊急警報	緊急警報の設定をします。

音

音量	詳しくは、32ページをお読みください。
着信音	詳しくは、32ページをお読みください。
着信時のバイブレーション	詳しくは、32ページをお読みください。
デフォルトの通知音	デフォルトの通知音を設定します。
ダイヤルパッドのタッチ操作音	電話のダイヤルパッド操作音のON/OFFを設定します。
タッチ操作音	詳しくは、32ページをお読みください。
画面ロックの音	画面のロック/ロック解除時に音を鳴らすかどうかを設定します。
タッチ操作バイブ	詳しくは、32ページをお読みください。

ディスプレイ

画面の明るさ	詳しくは、33ページをお読みください。
ディスプレイ調整	ディスプレイの色合いを調整します。
壁紙	ホーム画面の壁紙を設定します。
画面の自動回転	本機の向きに合わせて縦/横画面表示を自動的に切り換えます。
スリープ	詳しくは、33ページをお読みください。
スクリーンセーバー	充電中にスリープモードになった際にスクリーンセーバーを表示するかどうかを設定します。
フォントサイズ	フォントサイズを設定します。
光を点滅させて通知	不在着信や新着メールがあるときに、着信ランプを点滅させるかどうかを設定します。
画面のキャスト	本機の映像や音声を外部機器に出力するための設定を行います。
ストレージ	ストレージの詳細が表示されます。
電池	電池の使用状況が表示されます。
アプリ	アプリの管理画面が表示されます。アプリのデータやキャッシュの消去などを行います。

位置情報

モード	詳しくは、151ページをお読みください。
Google現在地送信機能	Googleの位置情報設定を行います。

セキュリティ

画面のロック	詳しくは、172ページをお読みください。
顔認識の精度を改善	顔写真を追加して認識精度を改善します。 ●[画面のロック]を[フェイスマンロック]に設定しているときに表示されます。
生体検知	ロック解除時にまばたきを必要とするかどうかを設定します。 ●[画面のロック]を[フェイスマンロック]に設定しているときに表示されます。
パターンを表示する	パターンでのロック解除時に指でなぞった軌跡を画面に表示するかどうかを設定します。 ●[画面のロック]を[パターン]または[フェイスマンロック]の予備解除方法を[パターン]に設定しているときに表示されます。
自動ロック	自動的にスリープモードになったときに画面ロックがかかるまでの時間を設定します。 ●[画面のロック]を[なし]と[スライド]以外に設定しているときに表示されます。
電源ボタンですぐにロックする	 ボタンを押したときにすぐに画面ロックをかけるかどうかを設定します。 ●[画面のロック]を[なし]と[スライド]以外に設定しているときに表示されます。
ウィジェットの有効化	ロック画面でのウィジェットを有効にします。
所有者情報	ロック画面に所有者情報を表示するかどうかを設定します。

端末の暗号化	本機のすべてのデータを暗号化します。
SIM カードロック設定	詳しくは、173 ページをお読みください。
パスワードを表示する	パスワード入力時に文字を表示するかどうかを設定します。
端末管理者	本機の管理者の権限の有効/無効を設定します。
提供元不明のアプリ	詳しくは、163 ページをお読みください。
アプリを確認する	損害をもたらす可能性があるアプリに対してインストール前に警告をしたり、インストール自体を禁止にしたりします。
ストレージのタイプ	ストレージのタイプが表示されます。
信頼できる認証情報	証明書の有効/無効設定や削除を行います。
証明書のインストール	暗号化された証明書をインストールします。
認証ストレージの消去	認証情報ストレージからすべての認証情報や証明書、VPN 設定を消去します。

言語と入力

言語	詳しくは、33 ページをお読みください。
スペルチェック	スペルチェッカーの有効/無効を切り換えます。
単語リスト	単語リストに登録します。
キーボードと入力方法	インストールされているキーボードの有効/無効を切り換えたり、各種設定を行います。詳しくは、28 ページをお読みください。
音声検索	音声検索の設定をします。
テキスト読み上げの出力	テキスト読み上げの出力の設定をします。
ポインタの速度	ポインタの速度を設定します。

バックアップとリセット

データのバックアップ	詳しくは、171 ページをお読みください。
バックアップアカウント	データのバックアップに使用するアカウントを設定します。
自動復元	アプリの再インストール時に、バックアップした設定やデータを復元します。
データの初期化	詳しくは、171 ページをお読みください。
アカウントを追加	詳しくは、33 ページをお読みください。

日付と時刻

日付と時刻の自動設定	詳しくは、31 ページをお読みください。
タイムゾーンの自動設定	
日付設定	
時刻設定	
タイムゾーンの選択	
24 時間表示	詳しくは、31 ページをお読みください。
日付形式の選択	年月日の表示方法を切り換えます。

電源	
高速起動	電源OFF後、24時間以内の起動のスピードを早くします。
カメラで起動	高速起動時にカメラを起動します。
ユーザー補助	
TalkBack	TalkBackのON/OFFを設定します。
字幕	字幕の設定をします。
拡大操作	画面を3回続けてタップすると、その画面を拡大/縮小するように設定します。
大きい文字サイズ	文字サイズを大きくします。
電源ボタンで通話を終了	[ >] ボタンを押して通話を終了できるようにします。
画面の自動回転	本機の向きに合わせて縦/横画面表示を自動的に切り換えます。
パスワードの音声出力	パスワード入力時に音声で出力します。
ユーザー補助のショートカット	TalkBackなどのユーザー補助機能を2ステップで有効にできるように設定します。
テキスト読み上げの出力	テキスト読み上げ出力の設定を行います。
押し続ける時間	ロングタッチするときに押し続ける時間を設定します。
印刷	詳しくは、169ページをお読みください。
端末情報	
システムアップデート	詳しくは、174ページをお読みください。
診断情報	診断情報の設定をします。
端末の状態	電池残量や電話番号などを確認できます。
法的情報	オープンソースライセンスやGoogle利用規約を確認できます。
認証情報	技適マーク、技適番号、JATE 番号を確認できます。
モデル番号	型番を確認できます。
Androidバージョン	ソフトウェアのバージョンを確認できます。
ベースバンドバージョン	
カーネルバージョン	
ビルド番号	

20. その他・Q&A

Q & A 故障かな？と思ったら

まず、以下の方法 (P180～185)をお試してください。

これらの処置をしても直らないときは、付属冊子「取扱説明書」の「保証とアフターサービス」をお読みください。

本機の電源が入らない。

- 電池切れになっていないか確認してください。

タッチパネルをタップしても動作しない。

- スリープモードになっていないか確認してください。
→ スリープモードの場合は[]ボタンを押してスリープモードを解除してください。

本機が予期しない動きをする。

- 下記の方法を確認してください。
 - 電源をON/OFFする。
 - 電源をOFFして、microSIMカードを抜き差しする。
 - アップデートをする。(P174)
 - microUSB端子にACアダプターなどを接続していない状態で、本機が再起動するまで約10秒間、[]ボタンを押し続けてください。再起動する際にバイブレーションが動作します。
 - 本機を初期化する。(P171)

画面ロックの解除方法を忘れてしまった。

- 画面ロックの解除方法を[パターン]に設定していた場合
 - Googleアカウントを設定しているときは、パターンの入力に5回失敗すると[パターンを忘れた場合]が画面に表示されます。[パターンを忘れた場合]をタップ後、Googleアカウントとパスワードを入力して、ロックを解除してください。
- Googleアカウントを設定しているときは、パソコンなどから下記サイトにアクセスして、ロックを解除することもできます。
 - <https://www.google.com/android/devicemanager>
ログイン後、解除する端末を確認して、「ロック」を選び、画面に従って新しいパスワードを設定してください。設定したパスワードを本機に入力すると解除できます。

充電できない。

- ACアダプターの接続を確認してください。(P14)
- 周囲の環境温度をご確認ください。

充電中のアイコンが表示されない。

- 充電が開始されてからアイコンが表示されるまで時間がかかることがあります。

電池の使用時間が短い。

- 本機の使用頻度や設定状態、電波状態、ご使用のアプリなどによって、使用時間は短くなります。

本機が熱くなる。

- 使用時や充電時は本体が暖かくなることがあります。動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。

音声通話やLTE通信ができない。

- microSIMカードが正しく挿入されているか確認してください。
 - ご使用のSIMカードの契約内容を確認してください。
 - 正しくモバイルネットワークに接続されているか確認してください。
 - 一部の国や地域では高速LTE通信に対応しない場合があります。
- ※ SIMカードを使って音声通話やパケット通信を行う場合、通信事業者が定める利用料金が発生します。詳しくは、契約している通信事業者へお問い合わせください。

着信しない。

- 電波の弱い場所にいる可能性があります。
→ 場所を移動してください。
- 正しくモバイルネットワークに接続されているか確認してください。

通話が中断される。

- 電波の弱い場所にいる可能性があります。
→ 場所を移動してください。

連絡帳から電話がかけられない。

- 連絡帳に登録した連絡先の番号が正しいか確認してください。

緊急通報しかかけられない。

- microSIMカードが正しく挿入されているか確認してください。
- 正しくモバイルネットワークに接続されているか確認してください。

通話相手に自分の声が届かない。

- ミュートに設定されていないか確認してください。
- 送話口を何かで覆っていないか確認してください。
- 通話時に送話口から離れすぎているか確認してください。
- ヘッドセット(別売)をお使いの場合は、ヘッドセット(別売)と本機が正しく接続されているか確認してください。
- 電波の弱い場所にいる可能性があります。
→ 場所を移動してください。

受信したファイルが開けない。

- 本機で対応しているファイルかどうか確認してください。
- 本機の容量が一杯の可能性あります。
→ 空き容量を確認してください。

音楽が再生できない。

- 本機で対応しているファイルかどうか確認してください。

インターネットにつながらない。

- 通信事業者から指定されたアクセスポイントが正しく設定されているか確認してください。
- Wi-Fiアクセスポイントに接続されているか確認してください。
- 本機が正しい時刻に設定されているか確認後、電源を入れ直してください。

microSIMカードがロックされている。

- [SIMカードロック設定]を設定していると、電源を入れたときにmicroSIMカードがロックされます。
→ SIM PIN コードを入力してください。

microSIMカードがPUKロックされている。

- 通信事業者にお問い合わせください。

ディスプレイが表示されない。

- 近接センサーの近くに物があったり、近接センサーを覆ったりしていないか確認してください。
- 保護フィルムや保護カバーがタッチパネルの機能を妨害していないか確認してください。

音が聞こえない。

- サイレントモードになっていないか確認してください。
- ボリュームが下がっていないか確認してください。

接続しているBluetooth機器が動かない。

- Bluetooth機器の電源が入っているかご確認ください。
- 本機とBluetooth機器の距離が10 m以内にあるかご確認ください。
- Bluetooth機器の取扱説明書をご参照ください。

■ 撮影について

撮影できない。

- 内蔵メモリまたはmicroSDカードのメモリ残量はありますか？
→ 不要な画像を消去して容量を増やしてください。(P124)
- 容量の大きなmicroSDカードをご使用の場合は、電源を入れたあとしばらくの間撮影できないことがあります。

撮影した画像が白っぽい。

- レンズに指紋などの汚れが付くと画像が白っぽくなる場合があります。
→ 汚れたときは、レンズの表面を柔らかい乾いた布で軽くふき取ってください。

撮影した画像が明るすぎたり、暗すぎる。

- 露出が正しく補正されているか確認してください。(P85)
- 不適切な状態でAEロック (P116、120)がかかっていますか？

1回の撮影で、複数の画像が撮れるときがある。

- 以下の設定を解除してください。
→ 連写 / オートブラケット (P95)

ピントが合わない。

- ピントが合う範囲から外れています。
- 手ブレや被写体ブレしています。
- 不適切な状態でAFロック (P116、120)がかかっていませんか？

撮影した画像がブレている。

- 暗い場所で撮影するときは、シャッタースピードが遅くなるので、本機を両手でしっかり持って撮影してください。(P41)
- 遅いシャッタースピードで撮影するときは、セルフタイマー (P99)を使って撮影してください。

撮影した画像が粗い。ノイズが出る。

- 以下をお試しください。
→ 明るい場所で撮影してください。
→ ISO感度を低くしてください。(P86)
→ [フォトスタイル]の[ノイズリダクション]をプラス方向にするか、[ノイズリダクション]以外の各項目をマイナス方向に調整してください。(P101)
→ [記録画素数] (P103)または[クオリティ] (P104)を低く設定していませんか？

蛍光灯やLEDなどの照明器具下でちらつきや横しまが出る。

- これは、本機の撮像素子であるMOSセンサーの特徴であり、異常ではありません。
→ シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減されることがあります。

**撮影した画像の明るさや色合いが実際とは異なる。**

- 蛍光灯やLEDなどの照明下での撮影時、シャッタースピードが速くなると、明るさや色合いが多少変化することがあります。これは光源の特性により発生するものであり、異常ではありません。
- 極端に明るい場所で撮影したり、蛍光灯、LED、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で撮影すると、色合いや画面の明るさが変わったり、画面に横帯が現れたりすることがあります。
- 光源や被写体によっては、撮影した画像に色むらが出る場合があります。これは光源の特性により発生するものであり、異常ではありません。

撮影時に、モニターに赤っぽい横すじが出る。

- これは、本機の撮像素子であるMOSセンサーの特徴であり、被写体に明るい部分があると出ます。周辺にムラが発生する場合がありますが、異常ではありません。
写真または動画撮影に記録されます。
- 太陽光などの強い光源が画面付近に入らないように撮影することをお勧めします。

**被写体をロックできない。(動体追尾できない)**

- 周囲と異なる色の部分がある場合は、その部分を追尾AF枠に合わせるなど、被写体の特徴的な色の部分を追尾AF枠に合わせて設定してください。(P106)

動画が撮影できない。

- 容量の大きなmicroSDカードをご使用の場合は、電源を入れたあとしばらくの間撮影できないことがあります。

動画撮影が途中で止まる。

- 動画の[画質設定]によって必要なmicroSDカードのスピードクラスが異なります。対応したmicroSDカードをお使いください。詳しくは、11ページの「動画撮影とSDスピードクラスについて」をお読みください。
- データ書き込み速度が低下したmicroSDカードは、途中で動画撮影が終了する場合があります。
→ 何度も記録・消去を繰り返したmicroSDカード、パソコンやその他の機器でフォーマットされたmicroSDカードは、バックアップをとりmicroSDカード内のファイルを消去することを勧めます。

動画撮影中に画面が暗くなる。

- 動画撮影中、内蔵電池の消耗を防ぐため時間経過により画面が暗くなることがありますが、撮影された動画に影響はありません。

一瞬画面が黒くなったり、ノイズが記録される。

- 動画撮影時の環境によっては、静電気や強い電磁波(電波塔、高圧線など)により、一瞬画面が黒くなったり、ノイズが記録される場合があります。

蛍光灯やLEDなどの照明器具下でちらつきや横しまが出る。被写体がゆがんで見える。

- これは、本機の撮像素子であるMOSセンサーの特徴であり、異常ではありません。被写体が素早く横切った場合、少しゆがんで見えることがあります。

動画に「カチッ」という音が録音される。録音される音声が非常に小さい。

- 動画撮影中、本機はレンズの絞りを自動的に調整します。このときに「カチッ」という音がし、その音が動画に録音されることがありますが、異常ではありません。
- 動画撮影中にズームやボタン操作などをすると、その動作音が記録される場合があります。
- 動画撮影中にマイクの穴を指で塞ぐと音声小さく録音されたり、録音されない場合があります。またこのとき、レンズの動作音が録音されやすくなりますのでお気をつけください。

フラッシュが発光しない。

- [→ フラッシュ設定を変更してください。(P80)
- サイレントモード使用時はフラッシュは発光しません。(P115)
→ [サイレントモード]を[OFF]に設定してください。

ディスプレイが明るすぎたり、暗すぎたりする。

- [高輝度モード] の設定を確認してください。(P121)

一瞬ちらつく、または一瞬画面の明るさが大きく変化することがある。

- シャッターボタンを半押ししたときや、被写体の明るさが変化したときにレンズの絞りが変化することで発生する現象です。故障ではありませんので、安心してお使いください。

ディスプレイ上に黒、白、赤、青、緑の点が現れる。

- これは故障ではありません。これらの点は記録されませんので、安心してご使用ください。

ディスプレイにノイズが出る。

- 暗い場所では、ディスプレイの明るさを維持するためにノイズが出ることがあります。

レンズ部から音がする。

- カメラ機能の起動時などにレンズ移動や絞り動作を行う音で、故障ではありません。
- 本機を動かしたときなどに明るさが変化することで自動的に絞り動作を行う音で、異常ではありません。

シャッターボタンを半押しすると、ランプが点灯することがある。

- 暗い場所ではピントを合わせやすくするために、AF補助光ランプ(P117)が点灯します。

AF補助光が点灯しない。

- [AF補助光] を [ON] に設定していますか？ (P117)
- 明るい場所ではAF補助光は点灯しません。

使用上のお願い

■ 操作環境について

本機が損傷するおそれがあるため、次の場所には置かないでください。

- 電気製品の近く。画像が乱れたり、雑音が起きたりすることがあります。
- 極端に高温または低温のところ。

■ 本機について

- 本機を持ち運ぶときは、落したり、ぶつけたりしないでください。

- スポンの後ろポケットに本機を入れて運ばないでください。

座ったときに本機が損傷する原因になります。

- 本機は、防じん・防滴・防水仕様ではありません。

ほこり・水・砂などの多い場所での使用を避けてください。

下記のような場所で使用すると、レンズやボタンの隙間から液体や砂、異物などが入ります。故障などの原因になるだけでなく、修理できなくなることがありますので、特にお気をつけください。

— 砂やほこりの多いところ

— 雨の日や浜辺など水がかかるところ

- 磁気が発生するところや電磁波が発生するところ(電子レンジ、テレビやゲーム機など)からはできるだけ離れて使用してください。

— テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声がかかります。

— スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。

— マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波によって、お互いに影響を及ぼし、画像や音声がかかります。

— 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、ACアダプターを一度抜いてから、あらためて接続し、電源を入れ直してください。

- 電波塔や高圧線の近くでは、なるべく使わないでください。

— 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなることがあります。

- 本機を互換性のない製品や部品に接続しないでください。

- 本機に色を塗ったり、厚いシールを貼ったりしないでください。

正しく動作しなくなるおそれがあります。

- 殺虫剤や揮発性のものを本機にかけないでください。

— かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがあります。

- ゴム製品やビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。

- 本機はGPS機能を搭載していますが、航空機、車両、人などの航法装置や、高精度の測量装置としての使用はできません。

これらの目的での使用、または本機の故障や誤操作などの外的要因(電池切れを含む)が原因の不正確な測位結果や情報により生じた損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。

- 本機のOSがアップデートされると、本機の機能や操作手順が変更されたり、特定のアプリが動作しなくなったりする場合があります。

- ダウンロードしたりインストールする前に、ソフトウェアの安全性とセキュリティを確認してください。

マルウェアやウィルスによる故障や情報流出の危険性があり、ボリュームが大音量になることもあります。

■ レンズ、ディスプレイについて

- 液体や砂が付着した場合、柔らかい乾いた布でふいてください。
- レンズが汚れたときは、レンズの表面を柔らかい乾いた布で軽くふき取ってください。
- レンズ面を強く押さないでください。
- レンズを太陽に向けたまま放置すると、集光により故障の原因になります。屋外や窓際に置くとときにはお気をつけください。
- ディスプレイ上に物を置いたり、先のとがったもので押さえつけないでください。ディスプレイの表面に傷がつく原因になります。
- 露付きについて(レンズ、ディスプレイが曇るとき)・・・
露付きは、温度差や湿度差があると起こります。レンズやディスプレイの汚れ、かび、故障の発生原因になりますのでお気をつけください。
露付きが起こった場合、電源を切り、2時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、曇りが自然に取れます。

■ 周辺機器を使用する場合

周辺機器の損傷を防ぐため、下記の記載事項をお守りください。

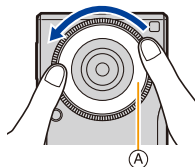
また、周辺機器の取扱説明書をよくお読みください。

- 本機の仕様に合った周辺機器を使用してください。
- コネクターの形状、向きを確認して正しく接続してください。
- 接続しにくい場合は、無理に押し込まず、コネクターの形状、向き、ピンの並び方などを確認してください。

■ レンズフロントリングを取り外す

カメラに備え付けのレンズフロントリング^①を取り外す

- カメラ機能を終了しておいてください。
- 右図のように、レンズフロントリングとコントロールリングを一緒に回すと、取り外しやすくなります。
- レンズフロントリングの紛失にお気をつけください。



■ お手入れについて

お手入れの際は、ACアダプターのケーブル端子を本機から抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

■ 著作権にお気をつけください

お客様が撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

■ 個人情報について

- 個人情報の漏えいを防ぐため、メッセージや添付ファイルなどを送信する前に必ず宛先を確認してください。
- 画像をWebサービスにアップロードするとき
画像には、タイトル、撮影日時、位置情報など、個人を特定する情報が含まれる場合があります。Webサービスに画像をアップロードする際は、よくご確認のうえ、アップロードしてください。

■ 内蔵電池について

- 内蔵電池は消耗品です。使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは内蔵電池の交換時期です。
内蔵電池の交換につきましては、販売店までお問い合わせください。
- 内蔵電池を交換すると個人情報情報は消去され、設定はお買い上げ時の状態に戻ります。大切な情報はバックアップすることをお勧めします。
- 内蔵電池の充電時間、使用時間は、使用環境により異なります。
- 内蔵電池は周囲温度 5℃～35℃の範囲で充電してください。
- 本機を長期間(1か月以上)使用しない場合は、電池残量が30%～40%になるまで充電または放電(使用)し、涼しく乾燥した場所で保管してください。
- 本機の内蔵電池は、充電式リチウムイオン電池です。

本機の使用電池

名称：リチウムイオン(Li-ion)

充電式電池

公称電圧：DC 3.8 V



充電式

リチウムイオン
電池使用

Li-ion 00

このマークはリチウムイオン電池のリサイクルマークです。

■ 本機を修理依頼される場合

- 修理につきましては、販売店またはパナソニックまでお問い合わせください。
- 修理をすると、個人情報情報は消去され、設定はお買い上げ時の状態に戻ります。
大切な情報はバックアップすることをお勧めします。
- 修理に出す前に、個人情報保護のため、ホーム画面 → [設定] → [バックアップとリセット] → [データの初期化] で設定をリセットしてください。詳しくは、171 ページをお読みください。

■ 本機を廃棄する場合

- ご使用済みの製品の廃棄に際しては、[データの初期化] をして本機のデータを完全に消去したあと、本機に内蔵している電池を取り出し、電池のリサイクルにご協力ください。
- 電池の取り出し方について詳しくは、付属冊子「取扱説明書」の「本機を廃棄する場合」をお読みください。
- 取り出した電池はお早めにリサイクル協力店へご持参ください。

■ 海外旅行などでお使いの場合

- 国や地域によっては、GPSの使用などが規制されている場合があります。本機にはGPS機能がありますので、海外旅行などで外国に持ち込む場合は、事前にGPS機能付きカメラについて持ち込み制限などがないか、大使館や旅行代理店などにご確認ください。

■ ACアダプターについて

- 節電および電池性能維持のため、内蔵電池を完全に充電したあとは、ACアダプターを電源コンセントから抜いてください。

■ microSIMカード、microSDカードについて

- microSIMカードやmicroSDカードの近くに、磁気カードや磁気でデータを記憶する機器などを置かないでください。
microSIMカードやmicroSDカード、磁気カードのデータが消失したり、機器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。
- microSIMカードやmicroSDカードの金属端子に触れないでください。
- microSIMカードやmicroSDカードを取り出すときは、電源を切ってから行ってください。
データが損失したり、microSIMカードやmicroSDカード、本機の故障の原因になります。
- microSIMカードやmicroSDカードに保存されたデータは、消失に備えてバックアップをとることをお勧めします。

- 本機の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

- microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Adobeは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- WindowsおよびWindows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac, Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- Google, Android, Google Play およびその他のマークは、Google Inc. の商標です。
- Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、パナソニック株式会社は、これらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。
- “Wi-Fi CERTIFIED™” ロゴは、“Wi-Fi Alliance®” の認証マークです。
- Wi-Fi Protected Setup™識別マークは、“Wi-Fi Alliance®” の認証マークです。
- “Wi-Fi®” は “Wi-Fi Alliance®” の登録商標です。
- “Wi-Fi Protected Setup™”、“WPA™”、“WPA2™” は “Wi-Fi Alliance®” の商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。



本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio License 及び AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされていません。

- 画像情報をMPEG-4 Visual、AVC規格に準拠して(以下、MPEG-4/AVCビデオ)を記録すること。
 - 個人的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4/AVCビデオ、または、ライセンスをうけた提供者から入手したMPEG-4/AVCビデオを再生すること。
- 詳細についてはMPEG LA, L.L.C. (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。
- 本製品は、InterDigital Technology 社からのライセンスに基づき生産・販売されています。

- 本製品にはGNU General Public License (GPL v2), GNU Lesser General Public License (LGPL) その他に基づきライセンスされるオープンソースソフトウェアが含まれています。お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPL v2 または LGPL に従い、複製、頒布及び改変することができます。

本製品の引渡から少なくとも3年間、パナソニック株式会社は以下の問い合わせ先にお問い合わせされた方に、配布に要する実費をご負担いただくことを条件として、機器による読取が可能なGPL v2/LGPL が適用されるソースコードの複製物を提供いたします。

<お問い合わせ先>

oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

また、ソースコードは以下のウェブサイト経由で入手することもできます。

<http://panasonic.net/avc/oss/index.html>

なお、ソースコードの内容等についてのご質問にはお答えしかねますので、予めご了承ください。携帯電話からのダウンロードは行えません。ダウンロードはお手持ちのパソコンをご利用ください。当該ソフトウェアに関する詳細(GPL v2/LGPL の各ライセンス文含む)は、ホーム画面 →  →  → [端末情報] → [法的情報] → [オープンソースライセンス] の手順で確認することができます。

- 本製品には、上記の他、次のソフトウェアが含まれます。
 - Apache License(v.2.0) の下で提供される Apache Software Foundation が開発したソフトウェア
 - The Free Type Project License の下で提供されるソフトウェア
 - ICU License-ICU 1.8.1 and later Copyright©1995-2011 International Business Machines Corporation and others
 - MIT-License の下で提供されるソフトウェア
 - The Independent JPEG Group によって開発されたソフトウェア
- これらのソフトウェアに関する詳細(ライセンス文含む)は、ホーム画面 →  →  → [端末情報] → [法的情報] → [オープンソースライセンス] の手順で確認することができます。

さくいん

あ行

アイコン	23
青空をさわやかに撮る	65
アカウントの同期と削除	170
アクセスポイント	34
圧縮率	104
アプリの削除	162
アプリの使い方	26
位置情報サービス	151
イルミネーションをキラキラ撮る	67
色温度設定	89
色空間	114
インテリジェント ISO	86
インプレッシブアート	73
ウェブブラウザ	145
ウェブページを検索する	145
動くペットをきちんと撮る	69
オートブラケット	98
オートホワイトバランス	88
オートレビュー	119
オールドデイズ	72
お手入れ	187
音設定	32
音量を調節する	32

か行

海外旅行などでお使いの場合	188
ガイドライン表示	119
顔認識	53, 105
拡張 ISO 感度	113
画質設定	49
画質調整	101
カスタムセット登録	62
カスタムメニュー	92
カスタムモード	62
画像横縦比	102
壁紙	22
カメラを起動する	43
画面設定	33
画面の自動回転	177
画面ロック	172
画面ロックを解除する	17
カレンダー	158
機内モードに設定する	40
逆光でふんわり撮る	64
逆光補正	53
記録画素数	103

記録可能時間(動画撮影時)	12, 15
記録可能枚数	12, 15
緊急通報をかける	129
クイックメニュー	94
クオリティ	104
クリエイティブコントロールモード	70
クロスフィルター	76
クロスプロセス	74
言語と入力	178
国際電話をかける	130
個人情報	187
子どもをかわいく撮る	65
コントラスト	101

さ行

彩度	101
サイレントモード撮影	115
サイレントモードに設定する	32
撮影メニュー	91
シーンガイドモード	63
ジオラマ	75
色調	101
システムアップデート	174
自動シーン判別	53
絞り優先 AE モード	58
シャープネス	101
写真再生	123
写真を撮る	47
シャッター音	122
シャッター方式	111
シャッター優先 AE モード	59
充電する	14
受話音量	130
ショートカット	22
初期設定	17
人物の肌をきれいに撮る	64
人物をきれいに撮る	64
スイーツをかわいく撮る	68
水準器表示	44
水面をキラキラ撮る	66
ズーム	79
スクロール	19
スケジュール	158
ステータスアイコン	23
ストレージ	177
スポーツをきれいに撮る	69
スポット測光	108

スリープモード	33	日時設定	31
セキュリティ	172	ノイズリダクション	101
設定一覧	176		
設定メニュー (カメラ機能)	121		
設定リセット (カメラ機能)	122		
セピア	73		
セルフタイマー	99		
測光モード	108		

た行

ダイナミックモノクローム	73	ハイキー	72
ダウンロード	27	ハイダイナミック	74
タッチ操作音	32	バイブレーション	32
タップ	18	バックアップ	171
縦横表示を切り換える	20	パノラマモード	77
ダブルタップ	18	番号リセット	122
端末情報	179	ピーキング	118
着信音を一時的に消す	131	ピーキング検出レベル	118
着信音を変更する	32	ピクチャジャンプを利用する	125
中央重点測光	108	ヒストグラム表示	119
超解像	109	ピンチ	19
追尾 AF	105, 106	ファイル番号	122
通知アイコン	23	ファンタジー	76
通知音	176	風景をきれいに撮る	65
通知パネル	24	フォトスタイル	100
通知 / 非通知	134	フォルダー番号	122
通話履歴	132	ブックマーク	148
露付き	187	ブッシュ番号	130
提供元不明アプリ	163	フラッシュ	80
ディスプレイ	45	ブリーチバイパス	74
データ使用量	176	フリック	18
デジタル赤目補正	112	プログラムシフト	57
デジタルズーム	79	プログラム AE モード	57
テンキーモード	29	プロフィール	135
電源を入れる・切る	16	ホーム画面	21
電卓	27	ボケ味コントロール	55, 71
電池	177	ポップ	72
電話を受ける	131	ほのぼのした雰囲気撮る	64
電話をかける	129	ホワイトバランス	87
トイフォト	74	ホワイトバランス微調整	89
トイポップ	74		
動画再生	123		
動画撮影中に写真を記録	49		
動画メニュー	92		
動画を撮影する	48		
時計	27		
ドライブモード	95		
ドラッグ	19		

な行

ナビ	152
----------	-----

は行

ハイキー	72
ハイダイナミック	74
バイブレーション	32
バックアップ	171
パノラマモード	77
番号リセット	122
ピーキング	118
ピーキング検出レベル	118
ピクチャジャンプを利用する	125
ヒストグラム表示	119
ピンチ	19
ファイル番号	122
ファンタジー	76
風景をきれいに撮る	65
フォトスタイル	100
フォルダー番号	122
ブックマーク	148
ブッシュ番号	130
フラッシュ	80
ブリーチバイパス	74
フリック	18
プログラムシフト	57
プログラム AE モード	57
プロフィール	135
ホーム画面	21
ボケ味コントロール	55, 71
ポップ	72
ほのぼのした雰囲気撮る	64
ホワイトバランス	87
ホワイトバランス微調整	89

ま行

マニュアルフォーカス	107
マニュアル露出モード	60
マルチ測光	108
メカシャッター	111
メッセージ	143
メモ	155
文字入力	28
モノクローム	73
モノクロ撮る	69

や行

夜景をアーティスティックに撮る	67
夜景を暖かく撮る	67
夜景をきれいに撮る	66
夜景を手持ちで撮る	67

夜景をバックに人物をきれいに撮る	68	iD レンジコントロール	109
ユーザー補助	179	ISO 感度	86
夕焼けを印象的に撮る	66	ISO 感度上限設定	112
夕焼けを幻想的に撮る	65	ISO 感度ステップ	113
夜空をクールに撮る	66	i.ISO(インテリジェント ISO)	86
ら行		MF 調整画面	107
リセット	171	microSD カード(別売)について	11
料理をおいしそうに撮る	68	microSD カードを入れる・取り出す	13
レトロ	72	NFC	153
連写	96	Photo Search	126
レンズフロントリング	7	PIN コード	173
連絡帳	135	PUK コード	173
ローキー	73	Q.MENU	94
ローミングを設定する	35	RAW	104
露出補正	85	SD スピードクラス	11
ロングタッチ	18	SIM カードロック設定	173
わ行		USB 接続	167
ワンポイントカラー	76	USB デザリング	168
英数字		VPN	38
4K プリ連写	50	Wi-Fi	36
4K Photo 切り出し	125	Wnn Keyboard Lab	29
AC アダプター	188	YouTube	160
AF 補助光	117		
AF/AE ロック	116		
AF/AE ロック切換	116		
Bluetooth 通信	164		
EX 光学ズーム	79		
Gmail	142		
Google アース	27		
Google 音声検索	27		
Google カレンダー	158		
Google キーボード	155		
Google 検索	27		
Google ドライブ	153		
Google ハングアウト	143		
Google マップ	152		
Google Chrome	145		
Google E メール	139		
Google Play ゲーム	27		
Google Play ストア	161		
Google Play ニューススタンド	27		
Google Play ブックス	27		
Google Play ミュージック	149		
Google Play ムービー&TV	27		
Google+	27		
GPS	151		
HDR	110		
iA ズーム	79		

パナソニック株式会社 AVC ネットワークス社

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号

© Panasonic Corporation 2015